

滋賀県土木百年表

続編

(昭和47年度～平成24年度)

平成25年3月

一般社団法人 全日本建設技術協会滋賀県支部

滋賀県建設技術協会・滋賀県特別会員支会



湖南幹線（草津市野村周辺） H22 年度撮影



日野川広域河川改修事業（仁保橋周辺） H23 年度撮影



びわ湖ホール 竣工：平成10年3月12日（平成9年度）の竣工写真



矢橋帰帆島（湖南中部浄化センター） H19年度撮影

ごあいさつ

滋賀県土木百年表（続編）の発刊おめでとうございます。

県政百年を記念して昭和48年(1973年)に編纂された土木百年年表は、滋賀県が誕生した明治5年(1872年)から、昭和46年(1971年)までの100年間にわたる県土建設の業績を取りまとめられたものです。滋賀県の近代化へ向けての社会資本整備の歴史が克明に記録されています。

続編は、近代化への100年に続く今日までの40年間の記録です。前半では、昭和47年(1972年)から25年間にわたって琵琶湖とその周辺地域で繰り広げられた国家的プロジェクト・琵琶湖総合開発事業（琵琶湖事業）の成果を中心に取りまとめられています。

琵琶湖事業では、国の補助金のかさ上げ、下流自治体の負担金や融資金など財政上の特別の措置がとられ、琵琶湖周辺の湖岸堤や流入河川改修による「治水」、上水道、工業用水道、農業用水・排水施設などによる「利水」、下水道、農業集落排水処理施設、自然公園施設などによる「環境保全」に大きな成果を上げ、琵琶湖周辺の地域振興にも大きく寄与しました。

琵琶湖事業は、水資源開発による経済的利益を下流の受益地域と上流の水源地域とで分け合うという先進的な仕組みとして、日本の水資源開発と水源地域振興のモデルともなりました。

琵琶湖事業の終盤には、平成6年(1994年)の環境政策大綱（建設省）で、「環境の創造・保全是建設行政の本来的使命と認識すべき（環境の内部目的化）」と謳われ、平成9年(1997年)の河川法改正では、従来の「治水・利水」に加え、「河川環境の整備と保全」が目的に追加されました。

滋賀県では、このような情勢変化を先取りして、平成5年(1993年)に「公共工事の環境対策の手引き」を策定、平成6年(1994年)からは「生物環境アドバイザー制度」を創設し、全国に先駆けて環境対策に取り組んできました。

続編の後半は、「環境との共生」に加えて「住民参加」という公共事業の新たな視点とプロセスにより、これまで以上に、丁寧に、かつダイナミックに展開された社会資本整備の記録です。

そして今、東日本大震災の教訓「命を守ることが最優先、防災から減災への転換」、人口減少・高齢化時代のまちづくり、社会インフラの老朽化対策など、我々は新たな課題に直面しています。

土木百年表を紐解けば、先人が様々な難題に果敢に取り組み、克服して偉大な業績を残してこられたことがよく分かります。我々も、「歴史に学び、先人に学ぶ」ことを、肝に銘じて、課題解決に向けて取り組まなければなりません。続編刊行により一層充実した土木百年表が、未来への指針として大いに活用され、新たな歴史が築かれていくことを期待しています。

結びに、続編の編纂にあたり多大なるご尽力を賜りました先輩諸氏並びに関係された皆さまに深甚より感謝を申し上げます。

平成25年3月

滋賀県土木交通部長 美濃部 博

発刊にあたって

「滋賀県土木百年表（続編）」が、関係各位のご尽力により発刊することになりましたことは、喜びにたえません。

滋賀県の県土整備については、明治 5 年（1872 年）から昭和 46 年（1971 年）までの 100 年間の記録が「滋賀県土木百年年表」として発刊されていますが、それ以降は纏まった記録が残されておられませんでした。

昭和 40 年代以降、日本が激動する社会情勢の中にあって滋賀県における社会資本整備は、本県の発展に大きく寄与してきました。しかし、近年の公共事業の縮減や団塊世代職員の退職により、次世代職員への技術伝承が大きな課題となっており、これからの公共事業の進め方を見つめ直し、現状の公共施設を適切に維持管理しながら、社会資本整備を効率的、効果的に行っていくことが求められています。

このような時に昭和 46 年以降の諸事業の取組みについて、滋賀県特別会員支会の皆様の大変なご努力により収集・整理していただいた膨大な資料を基に、滋賀県建設技術センターのご協力をいただき、「土木百年表（続編）」として発行できることは、大変意義深いものと考えます。

本編を通し、我国の交通の要衝の地として取り組まれた事業や、豊かで変化に富む自然の中で県民の安全・安心を守るための事業など、滋賀ならではの多様な事業および折々の対策等の先輩諸氏の貴い努力や英知に触れて深く感銘します。

「土木百年表（続編）」により、建設事業の進歩・発展や県土発展のため貢献してきた経過について次世代職員さらには滋賀県民に伝えることで、今後の社会資本整備を進める上での指針になると共に、滋賀県の地域発展に大きく寄与するものと考えます。

改めて、「滋賀県土木百年表（続編）」の発行に際して多大なご尽力を賜りました先輩諸氏、滋賀県建設技術協会会員の皆様など関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成 25 年 3 月

滋賀県建設技術協会会長

樋口 洋一

ごあいさつ

明治4年の廃藩置県により、翌明治5年（1872）に、「滋賀県」が誕生してから、平成25年（2013）で141年となります。

その歩みのなか、昭和30年代始めまで農業県であった滋賀県が、琵琶湖との調和ある、自然豊かな地域創りを目指し、道路や公園、下水道などの公共整備に邁進した結果、今なお人口増加をしながら発展している姿を見ると、私達技術者が進めてきた「住み良い暮らしを創造する、社会基盤整備創り」が、その発展に貢献してこられた証ではないかと考えております。

滋賀県には、明治5年から昭和46年（1971）迄の社会基盤整備創りの記録として、「滋賀県土木百年表」が、書物により残されていますが、昭和47年以降の、世紀の大事業といわれる琵琶湖総合開発事業を含めて、土木関係のまとまった記録はありませんでした。

そのため、私達が県庁職員時代に仕事の必要性から、過去の記録を探そうとしても、資料が各課に分散しており、大変苦勞したことなどから、その必要性を強く感じてきたものの、範囲が多岐に亘ることや多忙を理由に、これまで記録の整備に着手することが出来ませんでした。

そこで今回、滋賀県建設技術協会と特別会員支会が共同で、昭和47年以降平成24年までの40年間に亘る滋賀県発展の歴史や経緯を、人口統計や県民所得、年度毎の土木関係予算、事業の整備内容やその成果、災害復旧の記録、道路や下水道の整備率、滋賀県土木関係機関の組織改編などの資料を調査し、「滋賀県土木百年表・続編」として出版することになりました。

平成22年夏、当支会の会員に、これまで自分達が携わった仕事の内容を、アンケート調査することから始め、さらに県庁各課の協力を得ながら、2年の歳月をかけて資料収集を行いました。

今回の出版と併せたデータの電子化により、今後の地域整備事業の資料づくりや、維持管理作業の資料収集において、パソコンでの素速い検索が容易になり、有効に活用いただけるものと考えております。

また、今回の編纂作業等にあたり、上部団体の全日本建設技術協会において全建活性化森基金からの助成を認めていただきました。

これによって、当支会と滋賀県建設技術協会との連携が一層図られ、全建活動の目的である社会基盤整備事業の進歩発展を、書物によって広く後世に伝える事が可能となりました。その結果、会員の地位向上や、組織の団結力向上にも、つながって欲しいと願っております。

最後になりましたが、編纂に当たりご尽力いただいた、滋賀県建設技術協会、滋賀県土木交通部技術管理室、滋賀県建設技術センター、その他滋賀県関係各課、事務所、関係機関の皆様、この場を借りて心からお礼を申し上げます。

平成25年3月

滋賀県特別会員支会会長 **樋口 寛**

目 次

〔年表〕

年 度	頁	年 度	頁
昭和 47 (年)	1	平成 4 年度	50
昭和 47 年度	2	平成 5 年度	54
昭和 48 年度	4	平成 6 年度	56
昭和 49 年度	5	平成 7 年度	60
昭和 50 年度	8	平成 8 年度	62
昭和 51 年度	10	平成 9 年度	64
昭和 52 年度	11	平成 10 年度	67
昭和 53 年度	13	平成 11 年度	69
昭和 54 年度	15	平成 12 年度	70
昭和 55 年度	18	平成 13 年度	72
昭和 56 年度	21	平成 14 年度	74
昭和 57 年度	24	平成 15 年度	76
昭和 58 年度	26	平成 16 年度	78
昭和 59 年度	29	平成 17 年度	80
昭和 60 年度	31	平成 18 年度	83
昭和 61 年度	33	平成 19 年度	85
昭和 62 年度	35	平成 20 年度	87
昭和 63 年度	38	平成 21 年度	90
平成元年度	41	平成 22 年度	92
平成 2 年度	43	平成 23 年度	94
平成 3 年度	47	平成 24 年度	96

〔付録〕

歴代土木部長等一覧	98
滋賀の変遷（予算・人員・人口・市町村）	110
滋賀県の社会資本整備状況	112
滋賀県の全国比較	113

滋賀県土木百年表（続編）



昭和47年(1972年)

記 事

- 1月18日 **琵琶湖総合開発東京対策本部設置**、琵琶湖総合開発東京対策本部に調整課(庶務係、調整係)、水政課(水政係、法制係)、計画課(第1係、第2係)を置く。東京に1月19日本部事務所開設(企画部所管)。法律、事業内容等政府折衝のため、土木技術職員3名派遣。(昭和47年7月法律成立により事務所廃止)

- 1月19日 **希望が丘管理公社設立**

大宮川荒廃砂防ダム竣工

- 1月20日 大津市坂本本町比叡
重力式コンクリート、
堤高11.5m、
堤長54m、
事業費1,764.6万円



- 2月2日 **姉川大型砂防ダム完成** 伊吹町、(重力式ダム、ダム高さH=18.5m、堤長L=61.0m、コンクリート量9,400m³、貯砂量34万4,000m³)

- 3月22日 **琵琶湖流域下水道湖南中部処理区都市計画決定および下水道法事業認可**、ポンプ施設7箇所、敷地面積約63.7ha、予定処理区域面積2万87ha、管渠延長汚水約178km、雨水3.9km、計画水量34万4,000m³/日、計画処理人口約67万7,000人、事業実施期間平成25年3月31日

- 3月28日 **繊維工業指導所改築工事竣工**、長浜市三ツ矢元町、(RC造2階、延べ床面積873.19m²、総請負額5,992万円)、建築課課内設計

- 3月30日 **滋賀県建築基準条例(滋賀県条例第26号)**を公布。滋賀県建築基準条例(昭和35年滋賀県条例第23号)の全部を改訂する

- 3月31日 **県下自動車台数20万2,441台(360cc以上)を突破**

- 3月31日 **滋賀県下水道普及率2.2%**、(処理区域内人口÷行政区域内人口)×100、全国平均普及率17%

昭和47年(1972年)度

記 事

- 4月1日 **土木部に下水道課設置**、(庶務係、技術係の2係制)、計画課から独立
- 4月1日 土木事務所庶務課に**工事経理係を設置**
- 4月1日 草津土木事務所に**草津川改修工事課を設置**
- 4月1日 大津市鶴の里にBBC**びわ湖放送局が開局**
- 4月1日 **滋賀県道路公社設立**(大津市梅林1丁目関電大津営業所跡)、有料道路建設室を発展解消
- 5月2日 **国鉄湖西線高島トンネル貫通**
- 5月29日 **日本下水道事業団法(法律第41号)公布**
- 6月15日 **琵琶湖総合開発特別措置法公布**される
- 6月20日 **大津湖南都市計画大編成**(地域地区、都市施設)
- 7月2日 **東海自然歩道開通**、土山町の三重県境から大津市仰木峠までの県内コース92km
- 7月9日 ~13日 **梅雨前線による総降水量は彦根で247mmとなり、県下全域で連続雨量が300mmを越えた。24日には琵琶湖鳥居川水位は102cmとなった。被害状況は大津市山中の土砂崩れにより死者1名、軽傷3名、家屋全壊1。その他草津市北川堤防が決壊し、応急復旧活動中の草津市職員2名が軽傷、家屋(信楽町・虎姫町で半壊2、一部損壊7、近江八幡市・長浜市・水口町等で床上・床下浸水755戸)土木施設被害は、河川713ヶ所、砂防43ヶ所、道路363ヶ所、橋梁11ヶ所となった。**
- 7月11日 **奥琵琶湖パークウェイ**、豪雨で崩土・路肩崩れ通行不能
- 7月12日 **びわ町の早崎内湖干拓地完成**

- 7月15日 **台風6号の知多半島北部上陸**により、油日で降水量118mmなど南部で多く、**琵琶湖水位+83cm**になり、地建は下流淀川の洪水防止をはかるため、7月15日20時瀬田川洗堰を全閉した。夜10時に**鳥居川水位+112cm**となり、付近の河川が逆流し、**大津市稲津地区で床上浸水1戸、平津地区で1世帯、床下浸水は千町2、稲津8、平津4世帯の被害**となった。また琵琶湖周辺で浸水被害が出た、7月31日平常水位に戻る。
- 7月17日 山田草津線、**草津市山田跨線橋完成**(L=166.8m、W=13~30.0m)。渡り初め式挙行、都市計画街路事業により、東海道線複々線化工事に関連。
- 7月20日 **国道8号長浜バイパス暫定供用**、長浜市北新町・旧8号交点~下坂中町・中山東上坂線交点、(延長L=2.1km、暫定2車、L=0.6kmは4車)、昭和58年4月2日四車供用
- 8月23日 **琵琶湖総合開発計画案制定**、総事業費4,270億円
- 8月31日 **野洲川放水路工事、築堤着手**
- 9月16日 **里谷川、愛東町百済寺甲大萩で土石流発生**、連続雨量399mm、日雨量399mm、時間雨量56mm、氾濫面積2万㎡、堆積土砂量2,500m³、堆積深(最大)2.0m、(平均)0.3m、被害、全壊3棟、一部損壊1棟、道路50m
奥すべり川、愛東町百済寺甲大萩で土石流発生、連続雨量399mm、日雨量399mm、時間雨量56mm、氾濫面積1,000㎡、堆積土砂量5,000m³、堆積深(最大)1.5m、(平均)0.3m、被害、道路土砂堆積100m、橋梁破損1基、田畑1ha

- 9月27日 **多賀工業団地起工式**、開発公社が多賀町犬上川沿いに約50haを開発、野瀬川(約1.4km)、アクセス道路等を新設
- 9月 **人工島(現矢橋帰帆島)計画で地元自治会に初回説明会**を開催
- 10月2日 **ひかり号米原駅停車**実現
- 10月9日 **企業局を企業庁に改組**、総務課、計画管理課、工務第1課、工務第2課の4課制、琵琶湖総合開発事業の都市公園、自然公園、港湾、漁港事業を受託、人員34名
- 10月16日 **土木部に下水道局を設置**、計画・建設の2課

鈴鹿公園有料道路開通

三重県菟野町～土山町大河原、
延長L=11.9km、三種四級、
幅員W=7.0、
設計速度35km/hr、
事業費26億円
(うち滋賀県分13億円)
着工昭和44年4月

- 11月12日



- 12月24日 **国鉄野洲駅舎完成**

- 12月25日 **国道8号長浜バイパス暫定供用**、長浜市川崎町・中山東上坂線交点～下坂中町・大野木志賀谷長浜線交点、(延長L=3.0km、暫定2車)、昭和55年3月27日、川崎町～大戊亥町間L=2.0km四車供用、平成3年3月20日、大戊亥町～下坂中町間L=1.0km四車供用

- 1月31日 **木戸川荒廃砂防ダム竣工**、志賀町木戸、(重力式練石積み、堤高10m、堤長39m、事業費1,663.7万円)

- 2月20日 **企業庁南部工業用水道事業、事業届**、昭和52年12月27日南部・湖南統合事業変更届、昭和54年6月28日竜王町区域に追加事業変更届、2市6町(草津市、守山市、栗東町、野洲町、石部町、甲西町、水口町、竜王町)、取水地点、中主町吉川、甲西町朝国、計画取水量、琵琶湖10万m³/日、野洲川6,300m³/日、計画給水量、琵琶湖9万3,000m³/日、野洲川5,860m³/日、「南部地区」取水管SPφ1,350mm(南部上水との共同)、沈殿池2池、浄水池(RC造1,225m²)2池、送水ポンプ設備260kw×6台、配水池、PCタンクQ=1,000m³、配水管DCIPφ1,100mm～75mm、「湖南地区」取水管、ヒューム管φ900mm、沈砂池1池、沈殿池RC造2,000m³、1池、送水ポンプ設備、150kw4台、132kw2台、送水管DCIPφ800～300mm(甲賀上水との共同施設)配水池PCタンク、Q=900m³、Q=2,300m³、配水管DCIP600～250mm、ACP・DCIPφ200～100mm、総事業費172億1,676万円)

- 3月28日 **湖南中部処理区管渠工事に着手**

- 3月31日 **宇曾川中小河川改修事業琵琶総区間完成**、彦根市、(計画延長L=300m、計画高水流量530m³/s)、昭和47年着工

- 3月31日 **大浦川小規模河川改修事業琵琶総区間完成**、西浅井町大浦、(計画延長L=600m、流域面積25.6km²、超過確率1/30(暫定1/10)、計画高水流量230m³/s(暫定110m³/s)、事業効果、氾濫防止面積348ha、家屋301戸、鉄道1km)、昭和47年着工

- 県道大津能登川長浜線の**芹川に架かる池洲橋掛け替え**(橋長L=44.0m、総幅員W=18m、基礎杭に場所打杭、上部工はPCプレビーム桁)旧橋幅員はW=5mであったが、街路事業と合併し18mとなった。市道上芹橋掛け替え

昭和48年(1973年)度

記 事

- 4月1日 **河川開発室設置**、河港課利水港湾係から昇格
- 4月1日 **滋賀県庁下水道局設置**(計画指導課、建設課の2課4係制)
- 4月1日 **湖南中部流域下水道建設事務所設置**(管理係、建設係の2係制)
- 4月1日 **土木事務所に次長(事務)制敷く**、木之本土木事務所にあつては庶務課長が、工務関係は専門員が所管する

滋賀県湖東ダム建設事務所設置

- 4月1日



- 4月26日



湖南中部浄化センター工事に着手、人工島予定地に杭打ち

- 5月16日 **裁判所**、大津市京町3丁目に完成
- 8月 **県立短期大学農業部竣工**、草津市西渋川二丁目、(RC造4階、延べ床面積3,370.62㎡、総請負金額1億8,354万円)、建築課課内設計
- 10月 我が国初めての大規模な鮎の人工産卵場となる**姉川人工河川試験設備完成**
- 12月7日 県道近江八幡土山線(現国道477号)、蒲生町鈴・日野川に架かる**鈴橋橋梁整備竣工**(L=166.8m、W=7.5m、全体幅員W=8.2m、PCポステンT桁6連、C=1億3,000万円)
- 2月28日 **日野住宅工業団地第1工区竣工**、日野町大谷地区、(造成面積14万122㎡、請負額2億525万)、昭和47年12月1日着工
- 3月30日 県道大津能登川長浜線**野洲川橋梁整備工事竣工**、野洲町野洲、(橋長L=262.7m、全幅7.5m、規格三種四級、単純活荷重合成鋼桁7連、請負額1億9,100万円)、土木災害復旧工事と合併。昭和47年8月着工
- 3月30日 県道大津守山近江八幡線**幸浜橋橋梁整備工事竣工**、守山市小浜町(橋長L=326.7m、全幅7.5m、三種四級、単純活荷重合成鋼桁7連、請負額4億3,900万円)、野洲川整備工事に併せ。昭和47年4月着工
- 3月31日 県道大津能登川長浜線**鷹飼踏切除却工事竣工**、近江八幡市鷹飼町、(延長L=287.3m、全幅W=8m、三種二級、単純鋼鋼桁、ポステンT桁、請負額C=2億5,607万円)、昭和47年7月1日着工
- 3月31日 **滋賀県立整枝園、同看護宿舍工事竣工**、守山市守山町、(RC造1階ほか本館、延べ面積4,458㎡、建築請負額3億1,826万円、電気・機械設備請負額1億5,472万円)、昭和47年12月28日着工
- 3月31日 **林照寺川小規模河川改良事業琵琶湖総合開発区間完了**、新旭町饗庭、(L=500m、流域面積2.0K㎡、超過確率1/50、計画高水流量50.0m³/s、C=1億3,640万円)完了、昭和44年度から着手
- 全国**高速道路網1,000km供用**
- **喜撰川荒廃砂防事業、流路工完成**、志賀町和邇、(高さH=4m、延長L=837m、事業費1億2,537.9万円)

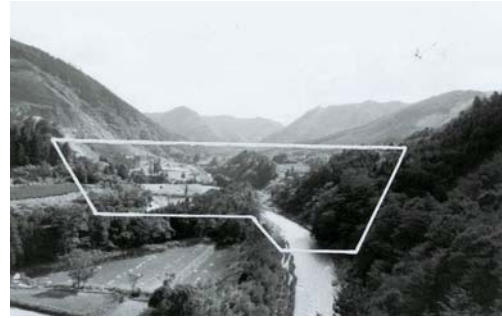
昭和49年(1974年)度

記 事

- 4月1日 滋賀県庁土木部下水道局を廃止し、**土木部下水道計画課、下水道建設課設置**(2課5係制)、湖南中部流域下水道事務所拡充(管理係、建設第1係、建設第2係)、**東北部流域下水道事務所設置**
- 4月11日 **野洲川、放水路起点より石部頭首工直上流まで直轄区間に編入**、および野洲川改修計画承認
- 4月12日 大津市途中～平間、**花折トンネル貫通**、昭和50年6月9日竣工
- 4月25日 **日野住宅工業団地第2工区造成工事竣工**、日野町大谷、(造成面積A=22万443㎡、請負額3億5,084万円)、昭和47年10月1日着工

青土ダム建設事業採択

- 4月



- 5月24日 **近江大橋、桁ドッキング**
- 6月5日 **県道大津能登川長浜線供用開始**、彦根市稲里町～日夏町、(延長L=1,910m、道路改良工事)
- 6月7日 **県道目加田湖東線供用開始**、秦荘町目加田～島川、(延長L=1,372m、道路改良工事)
- 6月21日 **大津駅前都市計画街路、地下道完成**
- 7月1日 **県道下笠大路井線供用開始**、草津市野村町～大路1丁目、(延長L=1,115m、道路改良工事)

国鉄湖西線山科～近江塩津間電化開業

L=74.1km。西大津(現・大津京)～近江今津間新快速39分。
昭和42年起工、昭和44年10月31日江若鉄道廃線(浜大津～今津間1時間35分)以来5年間。
建設費770億円

- 7月20日 17駅開業[西大津(現・大津京H20.3改称)・唐崎・叡山(現・比叡山坂本H7.3改称)・雄琴(現・おごと温泉H20.3改称)・堅田・和邇・蓬萊・志賀・近江舞子・北小松・近江高島・安曇川・新旭・近江今津・近江中庄・マキノ・永原の各駅]



- 7月20日 **滋賀県総合保健専門学院新築工事竣工**、守山市守山5、(RC造4階、延べ床面積4,194㎡、総請負金額3億6,945万円)、昭和48年7月6日着工
- 8月30日 **滋賀県警察本部庁舎新築工事竣工**、大津市京町、(RC5階、延べ床面積3,351㎡、建築請負額2億3,351万円、電気・機械設備額1億1,244万円)
- 8月30日 **滋賀県庁舎別館新築工事竣工**、大津市京町、(SRC造地下1階地上7階、延べ床面積8,885㎡、総請負金額11億6,096万円、) 、昭和47年10月24日着工。土木部県庁本館から新館に移転

記 事

■ 8月31日 一般国道365号**阿弥陀橋橋梁整備工事竣工**、高月町落川、(橋長L=175m、全幅W=9.5m、三種二級、構造、ポステンT桁橋5連、請負額C=1億9,100万円)、昭和46年11月着工

■ 9月9日 **県道福堂今線供用開始**、能登川町小川、(延長L=1,265m、道路改良工事)

■ 9月26日 **近江大橋有料道路暫定2車線開通**、大津草津線、大津市丸の内町～草津市矢橋町間L=4.5Km、橋梁部1.29Km、三種二級、幅員9.25m、3径間有鉸ラーメンPC桁1連、ポステンション単純桁24連、全体事業費43億3,000万円)、初日に3,650台、時間短縮15分



昭和46年12月28日着工

■ 10月7日 **国道307号供用開始**、日野町十禅寺～別所、(橋長L=93.1m、幅員W=9.75m、規格三種三級、構造、ポステンT桁橋3連、請負額1億3,800万円)

■ 10月9日 **宇曾川治水ダム工事起工式** 全体計画認可承認、昭和49年12月3日、定礎式、昭和52年10月21日、(構造、堤高56m、堤頂長L=192.8m、堤体積98万m³、型式、中央コア型ロックフィルダム、総貯水容量290万m³、湛水面積0.17km²、事業効果、ダムサイトの計画高水のピーク流量185m³のうち、160m³を調節する。ダムの放流方式は自然調節方式を採用、全体事業費予定額63億2,000万円)

■ 10月10日 **奥びわスポーツの森完成**、(びわ町早崎)、公園面積21ha

■ 10月29日 県庁新館の**コンピュータ始動開始**

■ 10月30日 **県道石部停車場線供用開始**、石部町石部、(延長L=1,013m、道路改良工事)

■ 11月8日 **県道春日甲南線供用開始**、甲南町竜法師～野田、(延長L=1,654m、うち草津伊賀線597m重用、道路改良工事)

■ 11月17日 **滋賀県に初の革新知事誕生**、第43代知事に武村正義氏当選

■ 11月30日 **滋賀医科大学建設敷地造成工事竣工**、都市計画道路3・4・73号線、大江3号橋架設工事、大津市南大萱町、(橋長L=46.2m、幅員12m、請負額1億449万円)、昭和48年10月18日着工

■ 12月16日 **県道黒谷勝野線供用開始**、高島町音羽～勝野、(延長L=1,586.5m、道路改良)

■ 12月25日 **国道161号小松拡幅供用開始**、高島町勝野～志賀町北小松、第13工区、高島町勝野、(延長L=1,000m、第三種一級、W=19.25m、4車線、設計速度80km/h)、昭和47年着手

■ 12月25日 **彦根八日市甲西線供用開始**、竜王町山之上～甲西町高松、(延長L=2,153m、従来の県道区域を廃止し、都計道路、山之上下田線、吉永下田線の区域を含める)

■ 12月 **国道1号水口道路一部供用開始**、水口町松尾～名坂間、(延長L=1.4km、暫定2車線)、昭和46年に着手、近江鉄道、国道307号の平面交差の解消、4車線は平成5年10月にL=1.8km供用

■ 1月17日 **主要地方道木之本浅井関ヶ原線供用開始**、長浜市東上坂町、(延長L=2,261.5m、W=4.5～15.0m)、道路改良による

■ 1月20日 **主要地方道武生木之本線供用開始**、余呉町今市～下余呉、(延長L=4,903m、W=7.2～23.0m)、舗装工事完了に伴う新道の供用

■ 1月27日 **国鉄大津駅新駅舎完成オープン**

■ 1月29日 **県道南土山甲賀線供用開始**、甲賀町神、(延長L=2,215m、W=9.5～23.0m)、道路改良による

記 事

- 2月13日 瀬田唐橋橋梁整備の入札で、県外大手建設会社が落札、**県内大型橋梁工事として初めてJVを採用**する
- 3月3日 **県道東上坂近江線供用開始**、長浜市東上坂町、(延長L=1,033.3m)、道路区域の変更
- 3月10日 **山陽新幹線岡山～博多間開業**により東京～博多間全通。**湖西線に特急運転開始**。

滋賀県成人病センター新築工事竣工

- 3月31日 本館RC造5階、
管理棟RC造2階、
延べ床面積15,654.6㎡、
総請負額13億4,751万円



- 県道中山東上坂線**今莊橋橋梁整備工事竣工**、長浜市東上坂町～浅井町今莊間、(橋長L=135.3m、全幅W=8.75m、ポステンT桁5連、請負額1億4,100万円)、土木災害復旧工事と合併により竣工。昭和46年9月着工
- 県道津彦根線(国道306号)、多賀町大君ガ畑**鞍掛トンネル竣工**(L=745m)

昭和50年(1975年)度

記 事

- 4月1日 滋賀県行政組織規定の一部を改正する規則(第18号)公布。土木部に**下水道計画課**(庶務係、計画指導係)、**下水道建設課**(建設1係、2係)設置
- 4月1日 **監理課に技術管理係設置**、技術職員を初めて配置(技術基準、進行管理、電算開発業務等)
- 4月1日 **国道365号路線認定**、石川県加賀市(国道8号交点)～三重県四日市市(国道1号交点)、滋賀県区間、余呉町中河内～伊吹町藤川、延長L=53.1km、(重用、国道303号L=600.0m)
- 4月1日 **国道367号路線認定**、京都市から福井県三方上中郡若狭町、滋賀県区間、大津市伊香立途中町～今津町杉山、距離L=40.19km、(重用、国道303号L=5.37km)
- 4月15日 **県道彦根近江八幡大津線供用開始**、守山市小浜町1360-1から幸津川町1535まで、L=1,518.5m、道路改良に伴う新道の供用
- 5月2日 **県道栗東信楽線供用開始**、栗東町御園から荒張まで、L=1,476.5m、道路改良に伴う新道の供用、重用解除、石部草津線、L=1,414.0m
- 5月20日 **環境保全センター新築工事竣工**、大津市御殿浜、(RC造3階、延べ床面積1,731.15㎡、総請負額2億8,933万円)、昭和49年7月20日着工
- 5月23日 **県道彦根八日市甲西線供用開始**、湖東町小池から小田苅まで、L=1,477.0m、道路の改良工事に伴い、従来の道路区域に本区域を加える
- 5月24日 **第26回全国植樹祭**、山東町森林センターで天皇・皇后両陛下を迎えして、お手撒き行事を、また25日には栗東町金勝山でお手植え行事を開催。天皇陛下はヒノキ、皇后陛下はもみじをお手植え
- 5月30日 **県道近江八幡員弁線供用開始**、永源寺町山上3690から山上438まで、L=1,684m、道路改良に伴う新道の供用開始
- 5月30日 **県道石原八日市線供用開始**、日野町蓮花寺から蒲生町石塔まで、L=1,590m、道路改良に伴う新道の供用開始
- 5月30日 **県道仰木雄琴線供用開始**、大津市仰木町から雄琴町まで、L=2,596.0m、道路改良に伴う新道の供用開始
- 6月2日 **八日市市行政ニュータウン完成**
- 6月9日 **国道303号供用開始**、木之本町杉野493から杉野2840-1まで、L=1,219.0m、道路改良に伴う新道の供用開始

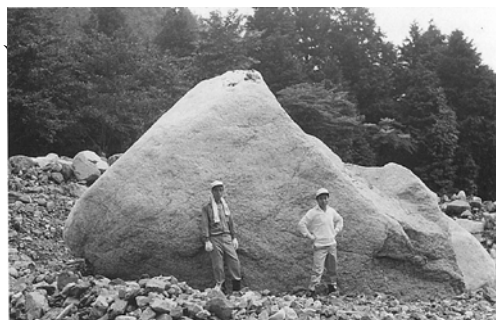
国道367号供用開始

- 6月9日 大津市途中町から葛川坂下までL=1,975.0m、道路改良に伴う新道の供用開始
区間内の**花折トンネル竣工**
(L=727m)



- 8月23日 **台風6号による姉川・高時川の出水**は、量水標が流されたため流量の観測が不能となったが、福橋地点で800m³/s以上、野寺橋地点で1,600m³/s以上と推定されている。難波橋・野寺橋付近では堤防天端付近まで水位が上昇し、危険な状態となった。高時川・左岸の馬渡橋～錦織橋間、右岸の錦織地区、姉川・野寺橋上流右岸では漏水などにより水防活動が行われた、姉川最下流の大浜地区の浸水は水深約30cmとなった。また高時川と交差する田川のカルバートでは水位がボックス天端まで上昇し閉塞する恐れがあった。

志賀町木戸川で台風6号により土石流発生、
氾濫域約9ha、国道161号通行止め、
水田280ha、畑地16ha被災



■ 8月23日



昭和50年台風6号により国道161号へ流出した土石流

■ 9月17日 **県道大津上野線供用開始**、信楽町江田から神山まで、L=1,289.0m、道路改良に伴う新道の供用開始

■ 9月30日 **長浜文化芸術会館新築工事竣工**、長浜市大島町、(RC造2階、延べ床面積2,939.50㎡、総請負額5億6,494万円)、昭和49年7月20日着工

■ 10月31日 **県道松尾寺豊郷線供用開始**、秦荘町目加田から豊郷町吉田まで、L=1,030.0m、道路改良に伴う新道の供用開始

■ 12月23日 **国道161号高島バイパス暫定供用開始**、8工区、今津町引川～新旭町饗庭、(施工延長L=3.2km、規格三種一級、基本幅員27m、暫定2車線(完成時4車線)事業費420億円)、昭和48年4月着工、今津駅周辺の交通混雑を緩和するため、バイパスにより通過、総延長高島バイパス15.3km

■ 12月24日 **県道大浦沓掛線供用開始**、西浅井町庄から山門まで、L=1,001.5m、道路改良に伴う新道の供用開始

■ 12月27日 **滋賀医科大学建設敷地造成工事竣工**、大津市南大萱、(事業内容、造成面積A=41.96km²、土量119万2,188m³、請負額7億9,430万円)、昭和49年1月9日着工

■ 1月28日 **県道菩提寺竜王線供用開始**、甲西町菩提寺330-17から菩提寺1492まで、L=1,080.0m、道路改良に伴う新道の供用開始

■ 2月9日 **国道365号供用開始**、高月町落川522-1から馬上1291まで、L=1,078m、舗装工事の完了に伴う新道の供用開始

■ 3月4日 **国道1号水口バイパス**、L=11.0km、(水口道路第1工区、延長L=5.7km)開通、水口町大野～名坂間、暫定供用、近江鉄道本線を立体交差化、(第三種一級、2車線、)昭和46年着手、4車線化は、平成5年10月26日に名坂～グリーンバイパス間L=1.8kmを、平成7年3月27日にグリーンバイパス～大野間L=3.9kmを供用

■ 3月26日 「琵琶湖総合開発計画工事差止請求」が提訴される

■ 3月26日 **県道彦根八日市甲西線供用開始**、湖東町小池153から湖東町小田苧1955-1まで、L=1,657.0m、道路改良に伴う新道の供用開始

■ 3月 **県道北船木北畑線、北川橋完成**(安曇川北流)、安曇川町北船木、(延長L=97.4m、幅員6.8m(車道6.0m)、PC単純T桁橋(4径間))、琵琶湖総合開発事業

昭和51年(1976年)度

記

事

- 4月1日 土木部と農林部の**検査室が総務部検査課として統合**。
- 4月2日 **国道307号供用開始**、信楽町牧1374-1から牧1649-3まで、L=1,174.0m、舗装工事の完了に伴い新道の供用開始
- 6月22日 **四の井川小規模河川改良工事着工**。彦根市高宮町～甲良町呉竹、(施工延長L=1.2km、流域面積A=4.5km²、超過確率1/30、高水流量74m³/s、事業内容、掘削4万3,000m³、築堤2,475m³、護岸工1万2,345m²、橋梁5橋、事業効果、氾濫防止面積65ha、家屋98戸、総事業費予定5億8,000万円)、全体認可、昭和53年3月31日
- 7月1日 **滋賀県人口100万人突破**。人口100万264人
- 9月17日 **県道長寿寺本堂線供用開始**、石部町石部字上田545-2から字平野1190-2まで、L=1,327.0m、道路改良に伴う新道の供用開始、石部草津線とL=321.0m重用
- 12月14日 国鉄**瀬田駅前の土地区画整理事業完成**
- 12月20日 **国道365号供用開始**、余呉町柳ヶ瀬字北川原から椿坂字中長まで、L=2,265.0m、道路改良に伴う新道の供用開始
- 12月20日 **滋賀県下水道普及率3.6%**、(処理区域内人口÷行政区域内人口)×100、全国平均普及率24%
- 2月2日 19日まで17日間にわたり、**異常寒波により県北部豪雪**、積雪状況、木之本129cm、今津125cm、柳ヶ瀬250cm、伊吹山645cm、死者1名(雪下ろしで転落)など、負傷多数、全壊家屋3棟、半壊5棟、一部損壊1,028棟、農林水産被害12億6,523万円、新幹線・東海道・北陸本線一部運休、湖西線・ラッセル車、ロータリー車出動
- 2月18日 **治水・治山5箇年計画閣議了解**(昭和52年度から56年度まで)、治水投資額7兆6,300億円、治山投資額1兆2,000億円
- 3月31日 **青土ダム建設事務所新築工事竣工**、水口町、(S造2階、延べ床面積314.39m²、総請負額3,000万円)、昭和51年12月2日着工
- 3月31日 **びわ田川小規模河川改良事業琵琶湖総合開発区間完成**、近江町宇賀野、(施行延長L=1.8km、流域面積2.9km²、超過確率1/50、計画高水流量60m³/s、事業効果430ha、家屋235戸、総事業費5億4,700万円)
- 3月31日 **狼川小規模河川改良工事全体認可を得る**、草津市新浜町～笠山町間、(施工延長L=3.32km、流域面積A=6.2km²、超過確率1/50、高水流量150m³/s(暫定90m³/s)、事業計画内容、掘削48万8,000m³、築堤3万7,000m³、橋梁9橋、経済効果、氾濫防止面積200ha、家屋820戸、総事業費予定10億円)
- 3月31日 県道清崎安食西線、**茂賀道踏切除却工事竣工**、彦根市賀田山～楡町間、(延長L=545m、幅員W=7.5m、規格三種二級、単純鋼鈹桁、3径間連続ラーメン、請負額4億2,400万円)、昭和48年10月25日着工
- **知内川災害復旧助成事業完了**、マキノ町蛭口～浦地先間L=6.66Km、超過確率1/20、計画降水流量370m³/s、事業費11億3,100万円。昭和47年着手
- 県道幸津川服部線、守山市服部町の野洲川に架かる**稻荷大橋竣工**(L=326.7m、総幅員7.4m、鋼橋)
- 企業庁、**野洲川1号水管工布設**、中主町吉川～堤間、(セグメント管φ3,200mm、L=318mの鞘管を加圧シールド工法により布設、鞘管内部に上工水管、鋼管φ1,000mm2本を布設し、発泡モルタルで鞘管との隙間を充填した)
- **家棟川(甲西)中小河川改修事業着工**、甲西町中央～針間、(計画延長L=2.9km、流域面積4.5km²、計画高水流量110m³/s)
- **全国の自動車保有台数3,000万台突破**
- **大谷川砂防災害関連事業**、志賀町荒川、流路工完成、(二面張り石積コンクリート、延長L=258m、事業費8,513万円)



昭和52年(1977年)度

記

事

- 4月1日 **青土ダム建設事務所開設**、水口町

八日市土木事務所に
蛇砂川改修工事課を設置する



- 4月1日

- 4月1日 長浜土木事務所に**長浜新川改修工事課を設置**する

- 4月1日 県技術職員の**市町村派遣制度が実施**、土木部からは甲西町に派遣

- 4月1日 **県道真野途中線供用開始**、大津市真野町字ミシロから真野大野町字石橋まで、
L=1,620m、道路改良に伴う新道の供用開始

- 4月20日 住宅供給公社、**古城が丘団地造成工事竣工**、水口町新城、(造成面積A=91,428㎡、請負額3億1,440万円)昭和50年12月1日着工

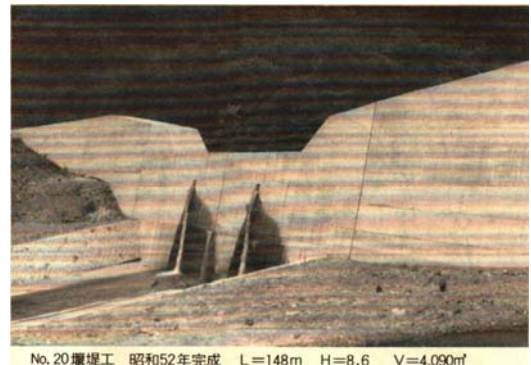
- 4月 **姉川ダム実施計画調査に着手**

- 5月2日 **国道365号供用開始**、湖北町美濃山字五反田から湖北町二俣字本堂西、L=1,795.8m、道路改良に伴う新道の供用開始

- 5月27日 **琵琶湖に赤潮が大発生**、今津で鮎1万匹死ぬ、これを機会に粉石鹼使用運動が活発化

木戸川都市対策砂防事業砂防ダム竣工
志賀町木戸、
(重力式コンクリート、堤高13.9m、
堤長148m、事業費7,262.3万円)

- 6月30日



- 7月14日 矢橋人工島建設にともなう、**沿岸漁業補償交渉が4億4,000万円**でまとまり、県と漁連で仮調印

- 8月1日 **国道8号長浜バイパスL=5.8km暫定供用**、長浜市下坂中町・大野木志賀谷長浜線交点～加田町・加田田村交差点、(延長L=0.7km、暫定2車線)、平成8年4月10日、大戌亥町～加田間L=0.7km四車供用

- 8月1日 **県道加田田村線供用開始**、長浜市加田町字坂村から田村町字鳥居前まで、
L=1,180.0m、道路改良に伴う新道の供用開始(国道8号バイパス重用45.0m)

- 8月31日 **国道365号供用開始**、湖北町郡上字東本町から浅井町田川字荘堂町まで、
L=1,559.0m、道路改良に伴う新道の供用開始

- 9月21日 **野離子川荒廃砂防工事着工** 志賀町木戸、(流域面積A=0.8km²、高水流量14.4m³/s、重力式堰堤工、堤高21.5m、堤長86m、立積12,241m³、貯砂量38,000m³、総事業費3億9,200万円)、昭和55年6月30日竣工

- 11月4日 「**第3次全国総合開発計画**」閣議決定

- 11月25日 **湖南中部浄化センター起工式**

- 12月17日 余呉川中小河川改修事業、**余呉川放水路西野トンネル貫通**、高月町西野、(トンネル延長L=282.62m、馬蹄形・インバート有り、断面積A=86.5㎡)

記 事

■ 1月13日	県道大津能登川長浜線 、野洲町久野部字円七142-2から野洲町富波字西出口996まで、L=1,260m、道路改良に伴う新道の供用開始
■ 1月18日	県道小佐治甲南線 、甲賀町小佐治市ノ木374から市ノ木1375まで、L=1,380m、道路改良に伴う新道の供用開始
■ 1月20日	琵琶湖流域下水道湖西処理区都市計画決定 、ポンプ施設2箇所、敷地面積約11.1ha
■ 3月3日	琵琶湖流域下水道湖西処理区下水道法事業認可 、ポンプ施設3箇所、敷地面積約10.7ha、予定処理区域面積約3,201ha、管渠延長約16km、計画水量5万9,000m ³ /日、計画処理人口約11万8,000人、事業実施期間平成28年3月31日
■ 3月31日	県道真野途中線 、大津市真野大野町字石橋から伊香立下在地町字川原まで、L=2,048m、道路改良に伴う新道の供用開始
■ 3月	国道303号橋梁整備工事、 新寒風川橋完成 、今津町杉山、(橋長52.7m、幅員11.0m、単純合成鋼桁橋、工事費1億1,000万円)
■	県道近江八幡守山線、守山市新庄の野洲川に架かる 新庄大橋竣工 (L=326.7m、総幅員10.5m、鋼橋)
■	百瀬川中小河川改修事業着工 、マキノ町知内～沢間、(計画延長L=6.0km、流域面積20.2km ² 、超過確率1/50、計画高水流量340m ³ /s、事業内容、築堤11万5,935m ³ 、掘削9万7,097m ³ 、護岸工5万3,895m ² 、橋梁14橋、事業効果、氾濫防止面積558ha、鉄道3km、家屋1,360戸、総事業費予定50億円)、支川生来川

昭和53年(1978年)度

記

事

- 4月1日 **道路交通情報センター設置**
- 4月1日 **滋賀県建築基準条例の一部を改正する条例**(滋賀県条例第12号)を公布
日影規制の区域を指定、昭和53年7月1日から施行
- 4月17日 **矢橋人工島埋め立て建設にともなう浚渫工事着手**、面積約73ha(当面49ha、土量260万m³)、4月20日から埋め立て工事に着手、造成工事は3年振りに再開
- 4月 **【国直轄】大戸川ダム実施計画調査に着手。大戸川ダム調査事務所設置**
- 4月 **大規模自転車道路事業着手**、近江八幡市～能登川町間26.2kmの補助。全体事業費予定19億9,000万円
- 5月29日 **国道365号**、余呉町池原字天道から柳ヶ瀬字北川原まで、L=2,946m、北陸自動車道路建設に伴う付け替え道路の供用開始
- 6月14日 **県道山賀守山甲線**、守山市欲賀町字中島から三宅町九堂まで、L=1,557.5m、道路改良に伴う新道の供用開始
- 7月17日 **大同川中小河川改修工事着工**、能登川町栗見新田～山路間、(延長、本線4.1km(2-7区間700m含む)、支川山路川L=1.3km、流域面積29.6km²、高水流量390m³/s(暫定230m³/s)、超過確率1/50(暫定1/12)、事業内容、掘削4万6,000m³、浚渫24万m³、築堤9万1,000m³、護岸工9,375m²、橋梁6橋、事業効果、氾濫防止面積590ha、家屋5,016戸、計画事業費68億5,000万円)、暫定掘削工事、平成9年3月完成
- 8月13日 企業庁、**南部上水道供給事業**、1市5町(守山市、栗東町、野洲町、中主町、石部町、甲西町)、(取水施設、導水施設、浄水施設、送水施設は南部工水との共同施設、総事業費134億900万円)
- 8月29日 琵琶湖流域下水道**湖西処理区管渠工事に着手**
- 9月1日 県道片山西阿閉線**片山トンネル貫通**、高月町片山～熊野間、(L=320m、W=9.25m(車道6.5m、歩道1.5m))、高月町琵琶湖岸の飛び地がトンネルで結ばれ陸の孤島返上と喜びの地元住民、昭和54年8月23日竣工
- 9月15日 台風18号は山口県下関市北方から東に進み、琵琶湖北部をかすめ若狭湾に達したのち、16日午前4時熱帯低気圧となった。
志賀町**野離子川、三舞谷に土石流発生**。野離子川氾濫により国道161号通行止め、また303号今津町で陥没、路肩崩壊で通行不能。16日の総雨量は朽木村荒川で125mm、志賀町北小松で92mmを記録した。土木被害は橋梁2橋、河川47箇所(大津土木管内19、今津土木管内28箇所)、砂防18(大津土木管内(18箇所)公共土木施設被害金額6億6,785万円)
- 10月9日 国道303号**寒風トンネル工事着工**、今津町杉山、(施工延長L=237m、全幅9.25m、車道幅6.0m、規格三種三級、構造トンネル巻厚45～60cm、コンクリート舗装厚20cm、請負額3億9,173万円)、昭和54年12月6日竣工
- 10月25日 161号**西大津バイパス土地収用法に基づく事業認定**建設省発表、大津市園城寺町、
- 11月12日 第44代知事に、**武村知事無投票で再選**



昭和53年土石流災害 国道161号線氾濫状況

■ 11月17日 **県道常盤木音羽線**、高島町野田字神田から字中沢まで、L=1,800m、道路改良に伴う新道の供用開始

■ 11月17日 **県道八坂高宮線**、彦根市西今町南出から竹ノ鼻町岸の前まで、L=1,101m(三津彦根線重用401m)、道路改良の施行に伴う新道の供用開始

■ 11月30日 **国道1号鈴鹿峠バイパス第1期区間供用開始**
 関町峠～土山町山中、
 施行延長L=1,845m、W=8.25m、
 第1大滝橋L=141.8m、3径間連続鋼箱桁、
 鈴鹿トンネルL=395m、W=7.5m、
 アーチ巻厚60～70cm



■ 11月 **国道161号マキノ拡幅完成**、第2工区、マキノ町野口、(延長L=0.9km、2車線)、総延長4.1km、歩行者への安全対策と、冬季の除雪余裕幅の確保

■ 1月8日 **県道八日市五個荘線**、五個荘町伊野部字浅ノ畦から山本字法寺庵まで、L=1,200m、道路改良に伴う新道の供用開始

■ 2月27日 **沖島特定環境保全公共下水道、下水道法事業認可**

■ 3月1日 **国道161号、中央線変更システムを近畿初で導入**、大津市浜大津～際川二丁目間

■ 3月1日 **国鉄米原駅西口開業**

■ 3月10日 県道大津能登川長浜線**渋川跨線橋竣工**(中仙道踏切除却工事)、草津市西渋川、(施工延長L=922m、橋長L=345.0m、総幅員10.5m、全幅8m(車道6.5m)、規格、三種二級、構造、単純鋼箱桁、3径間連続ラーメン、請負額6億2,252万円)、昭和42年9月着工、踏切の安全確保と渋滞解消

■ 3月12日 **安曇川文化芸術会館新設工事竣工**、安曇川町上小川、(RC造2階、延べ床面積2,408.21㎡、建築請負額3億4,600万円、電気・機械設備請負額1億6,920万円)、昭和53年3月18日着工

■ 3月16日 **県道荒見上野近江八幡線**、守山市新庄町字南川から服部町字上平田まで、L=1,333.9m、野洲川河川改修事業の施行に伴い新道の供用を開始する

■ 3月30日 **県道西明寺水口線**、日野町鎌掛字向代から上駒月字上野平まで、L=2,140m、道路改良に伴う新道の供用開始

■ 3月31日 **知内川小規模河川改修事業完了**、マキノ町知内・河口～蛭口、(延長2.24km、超過確率1/50(暫定1/20)、計画高水流量540m³/s(暫定380m³/s)、事業効果、氾濫防止面積356ha、家屋654戸、事業費6億4,500万円)、昭和44年8月19日認可、琵琶湖総合開発関連区間

■ 3月31日 **丹出川局部改良事業琵琶湖総合開発区間竣工**、志賀町和辻今宿、(延長L=500m、流域面積0.85km²、超過確率1/30、計画高水流量20m³/s、事業内容、築堤1,200m³、掘削8,085m³、事業効果、氾濫防止面積76.0ha、家屋30戸、総事業費6,000万円)、河積拡大、流路整正、昭和44年度着工



木戸川都市対策砂防事業竣工、
 志賀町木戸、天井川切り下げ
 流路工事、

(二面張石積、高さH=2.5m、
 延長L=1,003m、
 事業費4,965.7万円)

昭和48年着工

■ **矢倉川中小河川改修事業矢板護岸着手**、左岸東海道本線接近工事

昭和54年(1979年)度

記

事

■ 4月1日 企業庁、南部工業用水道(南部地区)一部給水開始

- 4月 **家棟川中小河川改修事業**、甲西町針、放水路切り落とし(L=1450m)完成、旧草津線トンネルは狭小で電化工事不可能なため、河川切り落としによる調整費採択、旧天井川河川敷地は駅前広場として整備

- 4月 **芹川中小河川改修事業着工**、彦根市大藪町～彦根市沼波、(計画延長L=4,142m、流域面積65.0km²、超過確率1/50、計画高水流量770m³/s、浚渫土砂は骨材として再利用)。河積拡大によりに暫定超過確率1/30(540m³/s)に対応。河川掘削、浚渫を行い天井川の安全度の向上。昭和42年11月24日全体認可

- 5月21日 県道大津能登川長浜線、草津市渋川二丁目字荒墓から西渋川二丁目六反田まで、L=922m、**渋川跨線橋(渋川陸橋)の完成**に伴い新道の供用を開始する、昭和54年3月10日竣工

- 6月2日 **野洲川放水路通水**。守山市・野洲町・中主町など10地区、(延長・放水路L=8,000m、川幅平均W=370m(堤防含む)、堤防余裕高1.5m、河床勾配1/400～1/800、計画高水流量・暫定3,500t/s、工事概要、放水路掘削619万6,000m³、築堤154万5,000m³、護岸工、高水敷きブロック1万5,520m²、低水敷きブロック1万5,520m²、河口導流堤1km、付帯水路7,400m、道路橋6橋、県施行分4橋)、事業効果、氾濫防止面積94ha、家屋1,933戸、工事費254億9,600万円(S54年現在)。昭和28年の洪水による大災害を契機に事業着手し、昭和40年3月(実工事着工昭和46年9月)工事着工以来、14年の期間を経て完成

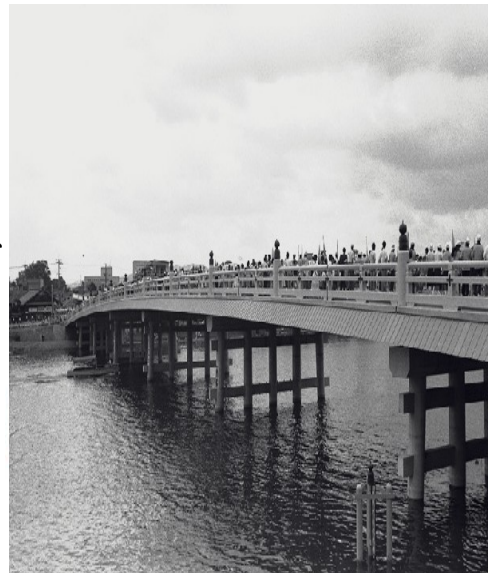
- 6月16日 **思川災害関連事業竣工式**、水口町下山、(L=1,230m、堤防含む川幅20.8m、計画高水流量130m³/s、工費2億3,000万円)、昭和51年着工。災害を契機に河川を改修し再度災害の防止

- 7月15日 県道守山中主線、**川田大橋橋梁整備工事竣工**、守山市川田町～野洲町竹生間、(施工延長L=329.5m、全幅9.5m、車道幅員6.0m、規格三種三級、構造、単純合成鋼桁7連、請負額6億4,700万円)、昭和51年2月着工

- 7月23日 県道大津信楽線、**瀬田唐橋竣工式**、大津市瀬田一丁目～唐橋町、橋長、大橋L=172m、小橋L=51.75m計223.75m、幅員12m(車道6.0m、歩道2.5m、分離帯1.0m)下部工、φ80cmのSRC構造の円柱を持つラーメン構造、上部工、活荷重単純鋼合成桁、床版厚16cm、工費17億3,000万円

唐橋の径間拡大による瀬田川の治水能力改善と、桁・床版等の老朽対策及び歩道設置による歩行者の安全確保

昭和50年3月起工
4年4カ月の工期をかけ完成



- 7月30日 県道大津能登川長浜線(米原町磯工区)竣工式、昭和47年起工、延長L=1,857m、幅員12.0m(車道6.5m)、三種二級、工事費5億8,100万円(内改良4億6,700万円、橋梁3,900万円、舗装7,500万円)。バイパスにより人家中を避け交通事故の解消を図った。

- 8月10日 **長浜総合庁舎竣工**、長浜市平方町、(RC造地下1階地上4階、延べ床面積5,105.00m²、総請負額7億8,219万円、昭和53年3月着工

- 10月1日 県道彦根環状線、彦根市小泉町竹ノ前から高宮町雨アカスまで、L=1,444m、福満跨線橋(延長L=254.5m、総幅員W=15.0m、鋼橋)完成に伴う新道の供用開始、三津彦根線167m重用

記 事

- 10月1日 **県道三津彦根線**、彦根市三津町字越川域から字八田沢地先まで、L=1,055m、道路改良(バイパス完成)に伴う新道の供用開始、現道拡幅は433m
- 10月3日 **県道片山西阿閉線**、高月町片山字浅井から高月町西柳野字九げ草まで、L=2,685m、片山トンネルの完成に伴い新道の供用開始、西阿閉東物部線824.5m重用、片山トンネル昭和54年8月23日竣工式
- 10月6日 **国道307号小原バイパス道路改良工事竣工式**、信楽町西～中野間、(延長L=2,580m、幅員11.0m、車道6.5m、自転車歩道2.0m、施設帯1.0m、規格三種二級、総工費4億5,000万円(改良3億5,000万円、舗装1億円)。狭小な現道をバイパスにより改良し、事故の減少、通過時間の短縮が図られた。昭和47年起工
- 10月12日 **県道西明寺水口線特改1、4種事業竣工**、日野町鎌掛、(L=1,618m、幅員7.0m、1億5,880万円、舗装2,810万円)、昭和48年着工
- 10月29日 琵琶湖流域下水道、**湖南中部浄化センター施設工事着工**
- 10月30日 東南部水道用水供給事業、**馬淵浄水場竣工式**、(沈殿地1,917㎡・2池、急速濾過池48.3㎡・16池、工費212億円)
- 11月1日 企業庁、**東南部(中部地区)上水道供給事業一部給水開始**(近江八幡市、安土町、五個荘町、能登川町)、昭和53年5月15日甲賀上水道供給事業と統合
- 11月9日 **国道307号**、信楽町西字北海道から中野字北垣外まで、L=2,580m、道路改良(バイパス完成)に伴う新道の供用開始、昭和54年10月6日竣工式
- 11月9日 **県道大津上野線**、信楽町西字北海道から中野字北垣外まで、L=2,580m、道路改良(バイパス完成)に伴う新道の供用開始、国道307号2,580m重用、昭和54年10月6日竣工式
- 11月9日 **県道佐生今線**、能登川町神郷字森から字鍵取まで、L=1,550m、道路改良(バイパス完成)に伴う新道の供用開始
- 11月26日 **県道山東一色線**、山東町大鹿字中野から堂谷字中道まで、L=1,843m、道路改良(バイパス完成)に伴う新道の供用開始

八日市総合庁舎移転改築工事竣工

- 11月30日 八日市市緑町、RC造4階、延べ床面積4,922.04㎡、建築請負額6億円、電気・設備請負額2億2,033万円
昭和53年10月9日着工



- 12月6日 **国道303号寒風トンネル竣工**、今津町杉山、(L=256m、W=9.25m、車道6.0m、歩道1.5m、工費3億9,200万円)昭和53年10月着工。峠道の狭小幅員と勾配区間の難所解消
- 12月22日 余呉川中小河川改修事業、**余呉川放水路西野トンネル完成**、高月町西野、(施行トンネル延長L=282.62m、馬蹄形インバート有り、取付分水路延長L=135m、トンネル幅W=10.3m、高さH=10.3m、巻厚60～100cm、上部半断面掘削工法、分岐水路幅10.3m～23.57m、コンクリート量2万4,900m³、トンネルずり等残土は片山西阿閉線埋め立て地へ処分、流域面積65.2km²、高水流量770m³/s、トンネル部超過確率1/100、河道超過確率1/50、事業効果、高月町重則、西野、熊野地区などの洪水氾濫を防ぐ、請負額C=10億3,600万円)着手以来2年半で完成、昭和55年3月27日工区竣工
- 1月8日 名神高速道路**瀬田西インター開業**(大阪方面出入りのみ)
- 2月18日 **県道安土西生来線**、安土町下豊浦から上豊浦まで、L=1,168m、**上豊浦跨線橋**(延長L=307.2m、総幅員W=8.5m、PC橋)の完成に伴う新道(バイパス)の供用を開始、2月20日供用開始

- 2月20日 **大谷川荒廃砂防ダム竣工**、志賀町荒川、(重力式コンクリート、堤高11.3m、堤長75m、事業費1億4,929.6万円)

国鉄草津線全線電化(36.7km)

- 3月3日



- 3月25日 **名坂土地区画整理事業工事竣工**、水口町名坂、(延長6.9km、全幅12m、車道6m、歩車道両側2m、規格三種三級、請負額2億3,906万円)、昭和53年8月1日着工

- 3月27日 琵琶湖流域下水道東北部(彦根長浜)処理区都市計画決定

- 3月27日 **県道栗東堅田線、琵琶湖大橋両側に自転車歩行者道路**(延長=1,350m、幅員W=1.5m(両側共))および、取付道路部(JR地下横断自転車歩行者道、L=124m、W=2.5m)の歩道整備ならびに4交差点(洲本、芝楽、荒見、八代)改良工事の完成。(昭和52年年度事業申請、昭和54年度完成、事業費13億7,000万円)

- 3月29日 **都市公園文化ゾーン事業工事竣工**、大津市南大萱町、(敷地造成3万6,200㎡、請負額1億647万円)、昭和54年12月20日着工

- 3月30日 **木戸川都市対策砂防ダム竣工**、志賀町木戸、(重力式コンクリート、堤高16m、堤長85m、事業費1億9,620.2万円)

県立図書館新築工事竣工

大津市南大萱、
RC造地下1階地上2階、
延べ床面積6,580.41㎡、
建築請負額10億2,916万円、
電気・設備請負額2億8,950万円

- 3月31日

昭和53年12月22日着工



- 3月31日 志賀町北浜、**真光寺川災害助成事業竣工**

- 3月31日 主要地方道海津今津線、**新大川橋(知内川)完成**、マキノ町知内、(橋長77.9m、幅員12.3m(11.5m)、PC単純T桁橋3径間)、琵琶湖総合開発事業

- 3月31日 県道安土西往来線、**上豊浦踏切除却事業工事竣工**、安土町西生来、(施工延長L=307.2m、総幅員8.5m、車道幅6.5m、規格三種二級、構造、単純鋼鈹桁、PC橋、3連続ラーメン、請負額5億6,500万円)

- 3月



県下湖岸緑地の完成第1号となる

曾根沼湖岸緑地開園

彦根市三津屋町、
面積32.2haうち沼20ha、
主要施設、芝生広場、駐車場広場、
園路、藤棚、四阿、便所、遊戯施設、
自転車置き場、駐車場、
昭和49～50年度は企業庁が施工

- 県道近江八幡大津線、野洲川放水路最下流に架かる、**中洲大橋完成**(橋長L=326.7m、総幅員W=12.3m、鋼橋)

- 「自転車社会をめざして」を副題とする「**バイロロジー推進基本構想**」を策定

昭和55年(1980年)度

記

事

- 4月7日 **北陸自動車道路開通**、敦賀市～米原町間、(延長L=46.6km、4車線)、新潟市～米原町の全線供用(延長487km)
- 4月 **【国直轄】高時川ダム調査事務所設置**、実施計画調査に着手
- 5月7日 西大津バイパス建設で、県収容委員会が三井寺境内地の強制収容を裁定
- 5月16日 **県道片山木之本線**、高月町片山字浅井から木之本町大音字綾戸子まで、L=5,817m、道路の供用を開始、高月町西柳野から重則間L=601.5mは未供用
県道甲賀阿山線、甲賀町大原市場字池の尻から甲南町野川(県界)まで、L=4,676m、道路の供用を開始
県道磯野木之本線、高月町磯野字八人割から木之本町千田字里ノ内まで、L=2,967m、道路の供用を開始
- 5月26日 **県道高山長浜線**、長浜市加納町字一ノ坪から川崎町字久保まで、L=2,191.4m、北陸自動車道長浜インターチェンジの進入路にかかる道路改良(現道拡幅)による供用開始、供用開始のうち、長浜市加納町字五反田から山階町字井栗までの間は4車線の供用を開始する。
- 6月5日 **宇曾川ダム完成**
湖東町平柳、秦荘町松尾寺、
ロックフィルダム形式、堤高56.0m、
堤頂長192.8m、堤体積980m³、集水面積
7.8km²、湛水面積0.17km²、総貯水容量
290万m³、有効貯水容量260万m³、
洪水調節容量235万m³、利水容量25万m³
(不特定用水)、計画高水流量185m³/s
調節量160m³/s
総事業費約63億1,980万円
計画規模1/50、昭和46年事業着手
- 6月19日 北陸自動車道路**米原インターチェンジ完成**、米原町三吉
- 6月21日 **滋賀県草津合同庁舎完成**、草津市草津三丁目、(RC造4階、延べ床面積4,454.71m²、建築請負額5億1,458万円、電気・設備請負額2億2,767万円)
- 6月30日 **野離子川大型砂防ダム竣工** 志賀町八屋戸、(重力式ダム、高さ21.5m、堤長86.0m、コンクリート量1万2,202m³、貯砂量3万8,000m³、事業費2億9,935万円)、昭和52年着工
- 6月 企業庁、**南部工業用水道(湖南地区)吉川浄水場から給水開始**
- 7月7日 **国道307号甲賀市山上バイパス道路改良工事完成**、七曲がり工区、水口町山上～甲南町塩野、(施工延長L=3,780m、全幅8m、車道幅6.5m、規格三種二級、請負額12億630万円)、屈曲した幅員狭小であった峠道の改良を行い、安全と交通容量の拡大を図った、昭和46年6月着工
- 8月15日 国道365号、浅井町内保字大池から浅井町三田字草野まで、L=540.6m、**草野川橋付け替え**(バイパス工事)に伴う工事の完成により供用開始、草野川橋梁整備工事、(橋長95m、総幅員13.3m、全幅12.5m(車道幅員6m)、規格三種三級、構造、ポステンT桁3連、請負額1億7,100万円)、昭和55年4月着工
- 8月 **姉川地区湖岸堤・管理用道路供用開始**、びわ町区間、(延長L=2,700m、全幅15m、車道6.5m、管理用道路3m、自転車道2m)
- 9月24日 **県道甲賀土山線**、甲賀町鳥居野字明宝寺から甲賀町小佐治字市ノ木まで、L=2,623m、道路改良(現道、バイパス工事)の完成により、新道の供用を開始
- 9月 **近江八幡地区湖岸堤・管理用道路工事供用開始**、近江八幡市区間、(延長L=2,400m、全幅15m、車道6.5m、管理用道路3m、自転車道2m)



国道307号日野水口有料道路(グリーンバイパス)供用開始

日野町日田～水口町水口間、

■ 10月5日

施工延長L=7.0km、三種二級、W=8.0m、
アスファルトコンクリート舗装、
CBR=12、T=37cm、橋梁2橋、
総事業費予定28億円、
経済効果、
現道に比べ時間短縮11分と、
水口町町内大型車通行規制の解消



■ 10月30日

近江富士団地(第2期)宅地造成工事竣工、野洲町南桜、(施工面積3万2,982㎡、請負額2億1,662万円)、昭和54年12月27日着工

■ 11月21日

県道下鴨大津線で豪雨のため路面陥没(延長L=16.5m、最大幅W=2.5m)、乗用車3台が10m下に転落、3人が重傷

■ 11月21日

国道303号、今津町杉山字水坂から杉山字芝ヶ谷まで、L=1,141m、道路改良(現道、バイパス工事)の完成により、新道の供用を開始

■ 12月13日

国道161号湖北バイパス一部供用開始、第7工区、今津町弘川～国道303号交差点、(延長L=500m、第三種一級、設計速度80km/h、2車線高架)、昭和48年度事業着手

■ 1月13日

雪害対策本部、県庁に初めて設置(武村知事が本部長に就任)

戦後最大の豪雪

■ 1月14日



■ 1月26日

木戸川都市対策砂防ダム竣工、志賀町木戸、(重力式コンクリート、堤高11.5m、堤長34m、事業費4,453.8万円)

■ 2月14日

琵琶湖流域下水道、**湖西浄化センター建設工事着工**

■ 3月16日

滋賀県環境影響評価に関する要綱(アセスメント)公布、施行

■ 3月16日

青土ダム本体工事 請負契約締結

■ 3月17日

湖南中部処理区下水道法の事業認可の変更(**高度処理の導入**)

■ 3月20日

琵琶湖流域下水道、**湖南中部浄化センター築造工事竣工**、草津市矢橋町・新浜町、(規模、敷地造成工事、面積73ha、ポンプ船浚渫埋め立て土30万m³、発生土利用216万m³、外部護岸H鋼矢板工事、延長L=3,374m、連絡橋梁、橋長L=306m、幅9.25m、上部工、PCT桁9径間、下部工、橋台2基、橋脚8基)竣工、請負額、ポンプ船利用造成工事36億6,124万円りんかい建設・株木建設・今井建設・西村建設4者共同企業体、護岸矢板工事17億4,424万円大成建設、橋梁工事2億6,790万円上部工・PC橋梁、下部工昭建、昭和47年12月22日着工

■ 3月28日

我が国初めての大規模な鮎の人工産卵場となる**安曇川人口河川完成**、安曇川町北船木の安曇川河口

八日市文化芸術会館新築工事竣工

- 3月31日 八日市市青葉町
SRC造2階、延べ床面積3,651.86㎡、
建築請負額5億7,232万円、
電気・設備請負額2億8776万円、
昭和54年12月23日着工



-
- 3月 **白髭神社水位低下対策の大鳥居完成**、高島町鶴川

- 県道市場野田鴨線、**船橋(安曇川)完成**、朽木村市場～宮前坊、(橋長115.0m、幅員6.7m(車道6.0m)、単純合成钣桁橋5径間)

- **大浦川荒廃砂防ダム完成**、西浅井町山門、(高さH=11m、長さL=60m、コンクリート重力式ダム)、昭和54年着手
-

昭和56年(1981年)度

事 記

- 4月1日 企業庁事務所組織改正、**南部水道事務所**(吉川浄水場、朝国浄水場)、**中部水道事務所**(馬淵浄水場、彦根浄水場)、**甲賀水道建設事務所**を設置、維持管理体制の強化を図る。人員106名

- 4月1日 道路公社は、日野水口有料道路建設事務所を廃止し、**近江大橋建設事務所**を設置

- 4月30日 **三宅団地宅地造成工事竣工**、守山市三宅町、(造成面積3万4,776㎡、請負額2億4,503万円)、昭和55年3月13日着工

野洲川旧川の南流・北流への 通水を締め切る堤防工事完成

- 5月



- 6月1日 建築基準法一部改正施行。**新耐震設計法が導入**される。

- 6月30日 国鉄東海道線**南彦根駅開業**、彦根と河瀬間

- 7月11日 湖南中部流域下水道、**湖南幹線守山ポンプ場建設工事着工**

- 7月31日 **県道四日市土山線**、土山町瀬音字北ノ後から平子字南垣外まで、L=1,605m、道路改良(バイパス及び現道工事)の完成に伴う供用開始

- 8月24日 **県道春日竜王線**、甲西町下田字中山から岡屋字大堀まで、L=1,200m、道路改良(バイパス及び現道工事)の完成に伴う供用開始

名神高速道路**竜王インターチェンジ開業** アクセス道路供用開始(7月) (竜王町道 岡屋希望ヶ丘線・現国道477号)

- 8月28日



- 8月31日 国鉄**近江八幡駅駅舎完成式**、(鉄筋コンクリート3階建て)

- 10月1日 国鉄**草津線甲西駅開業**、甲西町平松北、石部～三雲間

- 10月6日 **西大津バイパス第1期工事完成**、京都市山科～大津市近江神宮間、(延長L=5.64km、基本幅員22.75m、車道幅員14m、規格三種一級、主たる構造物、橋梁7橋、総延長465.9m、トンネル3箇所、総延長1,886m、(うち長等トンネル1,305m)、巻厚45～70cm、高架橋1橋、総延長535.1m、)、暫定二車線開通、本工事は昭和48年12月17日事業認可を得る。総事業費620億、施工区間延長11km

- 10月9日 **県道栗東信楽線**、信楽町長野字天ノ木から宇谷ノ垣まで、L=2,150.5m、道路改良(バイパス工事)の完成に伴う供用開始

- 10月13日 **第33回国体・びわこ国体秋季大会**が県内23市町・63開場で開催、18日まで

記 事

- 10月21日 **上朝宮バイパス竣工式**10月6日
国道307号、信楽町上朝宮字徳入から下朝宮字脇尻まで、(延長L=2,455m、全幅W=11m、車道6.5m、片側自歩道設置、朝宮橋L=20m、事業費 7億6,200万円)、道路改良(バイパス工事)の完成に伴う供用開始
- 10月 **近江八幡地区湖岸堤・管理用道路供用開始**、近江八幡市長命寺、(施工延長L=4,575m、全幅15m、車道6.5m、管理用道路3m、自転車道2m)
- 12月20日 県道上山田一ノ坪線、**新寿橋橋梁整備事業竣工**、湖北町丁野～八日市、(橋長L=192m、総幅員W=12.8m、全幅12m(車道幅員6m)、規格三種三級、構造、単純鋼合成鈹桁、5連、請負額5億1,800万円)、昭和54年8月着工
- 1月26日 **大山川天井川切り下げ工事竣工**、野洲町南桜、(L=3,200m、流域面積A=10.3km²、高水流量280m³/s、三面張り流路工)
- 2月3日 **湖南中部浄化センター1期工事完成**、試運転、供用開始は4月1日、管理運営は下水道公社が行う
- 2月28日 **石山南郷団地造成工事竣工**、大津市南郷六丁目、(造成面積2万7,449m²、請負額3億9,481万円)、昭和56年1月着工
- 3月5日 県道片岡栗東線、守山市勝部町字新前から字上赤目まで、L=480m、**千代踏切除却工事による跨線橋完成**に伴う供用開始、千代跨線橋(延長L=160.0m、総幅員W=11.0m、PC橋)、3月31日竣工式
- 3月10日 国道303号**新川合橋橋梁整備工事竣工**、木之本町川合、(橋長L=97.7m、総幅員W=12.0m、全幅11m、車道6.5m、規格三種二級、構造、ポステンT桁3連、請負額1億6,600万円)、昭和55年8月着工

櫛野川大型砂防ダム完成

- 3月20日 甲賀町櫛野、
重力式ダム、高さ21.5m、
堤長118.0m、
コンクリート量1万5,500m³、
貯砂量32万m³

堆砂するまでの間は水溜ダム、
昭和53年着工



- 3月24日 **県道石原八日市線**、蒲生町石堂字野田から八日市市柴原南町字深谷まで、L=1,917m、道路改良(バイパス工事)による供用開始
- 3月30日 県道近江八幡守山線**新庄大橋橋梁整備工事竣工**、守山市川辺、(橋長326.65m、全幅9.5m、車道幅員6.5m、規格三種三級、構造、単純活荷重合成鈹桁7連、請負額11億9,300万円)、昭和49年6月着工

主要地方道小浜朽木高島線 宮ノ越橋完成(安曇川)

- 3月31日 朽木村荒川
橋長85.2m、幅員9.3m
下路式ランガー桁橋
工事費2億2,762万円



記 事

- 3月31日 **境川局部改良事業琵琶湖総合開発区間完了**、今津町桂、(延長L=1.8km、流域面積6.4km²、超過確率1/50、計画高水流量150m³/s(暫定82m³/s)、現況流下能力30m³/s、事業効果、氾濫防止面積750ha、家屋1,200戸)、昭和43年6月1日認可
- 3月31日 **商工労働会館新築工事竣工**、大津市京町四丁目、(RC造地下1階地上7階、延べ床面積5,625.00m²、建築請負額9億628万円、電気・設備請負額4億769万円)、昭和56年3月19日着工
- 3月31日 滋賀県下水道普及率**4.8%**、全国平均普及率31%
- 3月31日 **(財)滋賀県下水道公社設置**(庶務係、施設運転係、水質係の3係制へ)
- 3月31日 県道片岡栗東線、**千代踏切除却事業工事竣工**、守山市阿村町、(施工延長L=480m、全幅11m、車道幅6m、規格三種三級、構造、PCホロースラブ3径間連続ラーメン)、施工業者、下部工、森本組、上部工、PC橋梁、昭和50年4月着工
- 3月 **東南部水道用水供給事業(中部工区)調整池築造工事竣工**、八日市市上平木町、(トンネル工事、配管工事、取付道路工事、敷地造成工事、事業費約10億円)、昭和54年4月着工、別途、水槽工事起工

大津市、**大津駅前30m道路完成**



- **萱尾川小規模河川一種工事着工**、大津市上田上平野町～芝原町、(施工延長L=2,460m、流域面積A=5.11km²、高水流量120m³/s、超過確率1/50、事業計画内容、掘削20万1,800m³、築堤2万730m³、橋梁11橋、経済効果、氾濫防止面積170ha、家屋1,427戸、総事業費予定22億3,700万円)
- **県道牧甲西線**、信楽町～甲西町峠越え貫通、砂利道で開通
- **砂防事業100年記念行事**

昭和57年(1982年)度

記

事

- 4月1日 **琵琶湖流域下水道湖南中部浄化センターの運転を開始** 窒素・りんを除去する全国初めての三次処理施設を備え、琵琶湖水質保全の幕開けとなる。
- 4月1日 **琵琶湖流域下水道湖南中部処理区の供用を開始** 湖南中部処理区のうち、大津市、草津市、守山市、旧栗東町、旧中主町、旧野洲町の供用を開始
- 4月1日 **主要地方道近江八幡員弁線及び大津上野線が、国道421号**(県境・永源寺町政所字豊谷から近江八幡市友定町字森下まで、L=38,450.9km) **及び422号**(国道1号・大津市石山鳥居川松原五区から県境・信楽町神山字三郷山国有林地先まで、L=35,685.0m) **に昇格**、国道307号重用L=2,455m
- 5月25日 **琵琶湖流域下水道東北部処理区下水道法事業認可**、ポンプ施設6箇所、敷地面積約64.1ha、予定処理区域面積約1万1,557ha、管渠延長約139km、計画水量12万4,000m³/日、計画処理人口約28万4,000人、事業実施期間平成28年3月31日

百瀬川砂防堰堤完成

- 5月31日 今津町深清水、コンクリート重力式、堤高20.0m、堤頂長72.0m、堤体積1万7,000m³、計画堆砂量3万6,500m³、事業費1億3,914万円



- 7月2日 **県道本巣山東線**、伊吹町上板波字宮の下から大久保字北海道まで、L=1,720m、道路改良(バイパス工事)による供用開始
- 7月7日 県道北船木北畑線、安曇川町北船木字輪ノ内から字宮尻江まで、L=427m、河川改良事業に伴う橋梁付け替え工事(北川橋、延長L=97.4m、総幅員W=6.8m、PC橋)の完成による供用開始
- 7月15日 **沖島全公共下水道の運転を開始**、近江八幡市、(特定環境保全・沖島浄化センター)
- 7月 企業庁東南部(中部地区)上水道供給事業応急給水開始、1市3町(八日市市、蒲生町、日野町、竜王町)、昭和60年2市6町本格給水開始、総事業費299億1,263万円

台風10号による大戸川災害

大津市で石居橋流出・破堤の被害

- 8月3日



昭和57年8月出水時の大戸川



- 8月30日 **県道上馬杉野尻線**、甲南町野川字樫ノ本から柑子字八王子まで、L=1,302m、道路改良事業(バイパス)の完成に伴う供用開始
- 8月30日 **県道南花沢愛知川線**、湖東町南花沢字花ノ木から字平塚まで、L=700m、道路改良事業(現道拡幅)の完成に伴う供用開始

■ 8月31日



琵琶湖汽船「はり丸」引退
(S26年から31年間就航)
ミシガン就航(4月29日)

■ 10月1日

県道上山田一の坪線、湖北町丁野字大久保から八日市字久ス田まで、L=2,261.6m、道路改良事業(バイパス)の完成に伴う供用開始

■ 10月8日

国営愛知川水利事業完工式、30年の歳月と190億円の事業費を投じた

■ 10月20日

琵琶湖研究所新築工事竣工

大津市打出浜、(RC造3階、
延べ床面積2,999.94㎡、
建築請負額5億2,195万円、
電気・機械設備請負額1億9,900万円)
昭和56年12月25日着工



■ 11月14日

新旭町区間湖岸堤・管理用道路全線完成、新旭町～安曇川町(延長L=6,800m)、開通式

■ 11月29日

国道161号湖北バイパス新設工事、第5工区供用開始、マキノ町蛭口～沢間、(延長L=1.9km、暫定2車線、百瀬川大橋L=288m)、昭和53年着工、現道の狭隘区間の安全対策と交通混雑の解消

■ 12月13日

県道郷野湖北線、浅井町野田字池ノ下から高畑字宮前まで、L=7600m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始

■ 12月13日

県道丁野虎姫長浜線、湖北町茶ノ木から虎姫町中野字上十四まで、L=1,754m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始

■ 12月15日

県道西阿閉東物部線、高月町西柳野字里ノ内から東柳野字四畝町まで、L=1,261m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始

■ 12月15日

県道片山木之本線、高月町重則字森川原から磯野字次川まで、L=1,205m、道路改良(バイパス+現道拡幅)事業の完成に伴う供用開始、県道西阿閉東物部線重用L=218m、廃道885m

■ 1月13日

びわ湖環状線促進協議会結成(於:長浜市)
61年3月 北陸本線直流化促進期成同盟会設立
H2年5月 琵琶湖環状線促進期成同盟会に改称

■ 3月17日

黒田川昭和57年災災害助成事業工事着工、山東町大鹿、北方、(施行延長1,770m、流域面積4.0km²、高水流量40m³/s、超過確率1/10、計画内容、護岸工(積みブロック工)、事業効果、耕地4,447㎡、家屋2万3,365戸、公共施設39棟、県・町道25km、事業費7億5,726万円、内訳、災害費2億9,326万円、改良費4億6,400万円)

■ 3月20日

琵琶湖流域下水道、湖西浄化センター建設工事完成、大津市苗鹿三丁目、(土木建築、沈砂池・ポンプ室躯体・エアタンク躯体、事業団発注、請負額17億2,497万円)

■ 3月31日

水口文化芸術会館竣工、水口町水口、(本館、RC造3階、延べ床面積3,721.62㎡、総請負額10億200万円)、昭和57年3月18日着工

昭和58年(1983年)度

記 事

- 4月1日 **滋賀県公園緑地事務所新設**、大津市瀬田南大萱町(文化ゾーン内)、事業内容、湖岸緑地の整備、奥びわスポーツの森の再整備開始(長浜土木、JR北陸線蓮池踏切除却事業・立体交差の残土を築山に転用)
- 4月1日 **県道仰木浜大津線**、大津市坂本本町字広芝から字真葛原まで、延長L=1,110m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始
- 4月5日 **長浜城(長浜城歴史博物館)完成**、(鉄筋コンクリート3層5階)、開館記念式
- 4月 **土木部と農林部の共通仕様書を統合**
- 6月20日～21日 **宇曾川災害復旧助成事業採択**、彦根市須越町、三津屋町、豊郷町日枝、愛知川町川久保(延長L=9,000m(新幹線直下まで)、川幅95.0～70.0m、河床勾配1/1310～1/370、流域面積64.6km²、規模1/50、流量730m³/s、事業費82億9,779万円、災害費30億3,079万円、助成費52億6,700万円)、変更で区間を安壺川合流点上流まで延長、竣工62年度
- 6月20日～21日 **出雲川災害復旧助成事業採択**、日野町村井～西大路、(延長L=2,190m、川幅7.3～4.4m、河床勾配1/120、流域面積4.2km²、規模1/10、流量45m³/s、事業費7億3,219万円、災害費3億5,719万円、助成費3億7,500万円)、竣工昭和62年度
- 6月20日～21日 **十一川災害関連事業採択**、長浜市宮司町、(延長L=580m、川幅4.2m、河床勾配1/200～1/300、流域面積1.0km²、規模1/5、流量10.0m³/s、事業費2億6,872万円、災害費1億2,093万円、関連費1億4,779万円)、昭和60年度完成
- 6月20日～21日 **余呉川災害関連事業採択**、余呉町椿坂、(延長L=980m、川幅6.9～8.6m、河床勾配1/50～1/70、流域面積4.5km²、規模1/8、流量54m³/s、事業費2億4,538万円、災害費1億3,989万円、関連費1億548万円)、昭和60年度完成
- 6月28日 **滋賀県木之本合同庁舎新築工事竣工**、木之本町黒田、(規模、RC造り2階、延べ面積2,587.09m²、請負額5億5,868万円、電気・設備請負額含む)、昭和57年10月2日着工、避雷針の長さを実物槍先の5.8倍に形成し、台座は陣笠を意味する構造で設計された。7月1日事務所移転
- 7月27日 国道161号**高島バイパス大溝橋完成**、高島町大溝、L=293m
- 7月 国道161号**高島バイパス供用開始**、第12工区、高島町勝野～打下間、(延長L=2.0km、0.8kmが2車線、1.2kmが4車線)
- 8月1日 **建設技術センター設立**(滋賀県指令第1332号)、基本財産4,000万円、出資内訳(滋賀県2,500万円、市町村1,000万円、寄付500万円)、総務・技術課、大津市浜町2-50、業務課、大津市打出浜14-15
- 8月31日 国道303号、**水坂トンネル本体竣工**、(L=798m、W=9.25(車道6.0m、歩道1.5m)、三種三級、縦断勾配、角川方面へ下り1.625%、掘削工法、杉山側169.2m(側壁導抗先進上半掘削)、中央部362.2m(底設導抗先進上半掘削)、角川側265.2m(側壁導抗先進上半掘削)、工費=18億166万円)、昭和55年12月着工
- 9月19日 都市公園設置公告、**琵琶湖湖岸(守山・中主)緑地供用開始** 守山市今浜町、幸津川町、小浜町地先及び中主町吉川地先
- 10月9日 県道彦根近江八幡線、**愛知川橋梁整備事業工事竣工**、彦根市新海町～能登川町栗見新田間、(橋長L=266m、全幅13m、車道幅6.5m、規格三種二級、規模、単純活荷重合成鈹桁、請負額7億4,100万円)、愛知川最河口の湖周道路に架かる橋梁

■ 10月11日



障害者福祉センター新築工事竣工

草津市笠山八丁目、
第1工区:RC造2階、延べ床面積2,769.54m²、
第2工区:RC造1階、延べ床面積1,416.08m²、
建築請負額6億5,160万円、
電気・設備請負額3億798万円
昭和57年10月1日着工、
建築課課内設計

県立近代美術館工事竣工

■ 10月15日

大津市南大萱町、
RC造地下1階地上2階、
延べ床面積8,552.35㎡、
建築請負額25億3,000万円、
電気・機械設備請負額9億円
昭和57年3月18日着工



■ 11月4日

国道307号歩道修景工事完成、信楽町長野、(延長L=550m、信楽焼タイル張りにより修景)

■ 11月14日

湖南中部流域下水道**湖南中部浄化センター湖底放流管敷設工事着工**

■ 11月22日

県道牧甲西線道路改良工事竣工、信楽町宮町～甲西町三雲、(施工延長L=5,204m、全幅7.0m、車道幅5.5m、三種四級、請負額8億3,000万円)、信楽町から国道1号への最短路、昭和40年6月10日着工、以来18年間

■ 12月26日

県道太田安井川線、新旭町太田字中川原から新庄字北中曾まで、延長L=1,239.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始

■ 1月20日

国道1号鈴鹿峠バイパス第2期区間供用開始、関町沓掛～峠、(施行延長L=3,096m、W=8.25m、第1坂下橋L=142.5m、W=7.5m、3径間連続鋼鈹桁、第2坂下橋L=185.0m、W=7.5m、2～3径間連続鋼鈹桁、第8坂下橋L=160.0m、W=7.5m、3径間連続鋼鈹桁)、第3期区間着工、関町～土山町山中、(L=2,540m、W=8.0m)、東京方面上り道路の整備

■ 1月24日

59豪雪。降り出した雪は1日に20～30cmの状態以降り続き湖北全域、湖西の高島郡、永源寺町に豪雪をもたらし、昭和56年の豪雪に近い積雪となり、湖西地域では、それを大幅に上回る積雪となった。また2月5日頃からは、バイカル湖付近の寒気が日本海まで南下したため、北部を中心に大雪と低温になった。

最大積雪深は今津町保坂430cm(56豪雪315cm)、余呉町中河内420cm(同655cm)、朽木村中牧380cm(同200cm)、多賀町大君が畑350cm(同170cm)、彦根市71cm(同35cm)、今津町165cm(同110cm)大津市葛川185cmに達した。1月の大雪・風雪注意報の発令回数は15回、2月は大雪警報を含め16回、3月は風雪注意報3回と多数に昇った。今回の豪雪の特徴は、低温により積雪した雪が凍結し交通に大きな影響を与えた。特に比叡山の観測所では、2月の平均気温が-4.7℃となり異常な低温の冬となった。

2月7日午後3時に土木部に道路雪害対策本部を設置したが、その後さらに雪害が広がったため2月9日午後5時に雪害対策基本法に基づき県庁に雪害対策本部を、また彦根、長浜、今津の各県事務所に雪害対策本部を設置した。住家の被害は、重軽傷者26人、全半壊7棟、一部損壊876棟、公共建物被害は21棟、その他被害284棟となった。公共土木施設災害は、道路105箇所、橋梁1橋、河川11箇所、砂防5箇所、崖崩れ20箇所などであり、被害額は1億2,770万円となった。中でも特記する内容として、大津市比叡平の市道で舗装の凍上による道路舗装災害復旧が採択された。国道161号マキノ町小荒路、303号今津町保坂から県境、海津から大浦間、307号多賀町佐目から県境、365号椿坂以北、367号大津市途中町から朽木村栃生間、県道中河内木之本線菅波以北、麻生古谷梅ノ木線全線で、なだれ及び危険・排雪作業のためそれぞれ通行止めとなった。また名神高速道路および、その他国道ではチェーン規制が引かれた。なお積雪が無くなったのは、今津3月19日、虎姫3月20日、春照3月24日であった。

■ 2月3日

県道近江八幡安土能登川自転車道線供用開始、近江八幡市舟木町から南津田町まで、L=1,405.3m、道路新設工事の完成

■ 2月17日

国道303号、**人工雪崩による法面除雪**、福井県境南側斜面2,460㎡、県境から2km東の水坂峠北側斜面425㎡の2箇所、積雪最高430cm、爆薬500kg、雷管400個を使用

■ 3月28日

県道川道唐国線、**錦織橋橋梁整備工事(下部工)着工**、びわ町錦織、(橋長L=165m、幅員7.0m、構造、橋台工2基、橋脚工2基、旧橋撤去工一式、請負額1億1,842万円)、昭和60年2月20日竣工予定

■ 3月

大同川災害復旧助成工事竣工、神崎郡能登川町小川～躰光寺～乙女浜、(施工延長L=4,060m、本川2,540m、支川1,520m、流域面積7.4km²、高水流量75m³/s、超過確率1/20、河床勾配1/500～1/400、事業内容、護岸工、矢板工、平張りブロック工、事業効果、耕地978ha、家屋2万8,175戸、公共施設125棟、国道・県道・町道など47km、事業費23億4,910万円、屈曲した河川の解消と河積の拡大を図る

■

国道477号、**家棟川に架かる野田橋完成**、中主町野田、(延長L=72.5m、総幅員W=12.8m、PC橋)

八幡堀 初期の改修



昭和59年(1984年)度

記 事

- 4月6日 **県道野洲甲西線**、甲西町岩根字十七割から朝国字八反田まで、L=1,862.4m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始
- 4月 **国道1号京滋バイパス工事開通**、草津市矢倉町付近、(施工延長L=2.2km)
- 6月1日 企業庁、**東南部(甲賀地区)上水道供給事業給水開始**、水口町6,600m³/日、甲賀町660m³/日、甲南町680m³/日、昭和49年3月28日着手以来約10年間、総事業費219億8,660万円、その後、二期工事着手して昭和63年完了

野離子川大型砂防ダム完成 志賀町八屋戸、(重力式ダム、高さH=20.5m、堤長L=92.0m、コンクリート量1万2,620m³、計画堆砂量2万9,700m³)、昭和56年着工

■ 6月



■ 6月

国道307号**虫生野跨線橋橋梁整備事業工事竣工**、水口町虫生野、(橋長236.7m、全幅10.5m、車道幅6.5m、規格、三種二級、構造、ポステンT桁9連、2連づつ連結桁、請負額5億200万円)

■ 7月2日

県道彦根近江八幡線、彦根市新海町字葎開から能登川町字栗見新田字七軒割まで、L=2,316.0m、道路改良(バイパス)事業のうち県道栗見八日市線交点までを供用開始

■ 7月19日

ふるさと滋賀の風景を守り育てる条例施行(条例第24号)

■ 8月1日

県道西明寺水口線、日野町上駒月字大堤から下駒月字上ノ平まで、L=1,270.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始

■ 8月24日

84世界湖沼環境会議が5日間の会期で、皇太子殿下御夫妻を迎え大津市民会館で開会式

■ 9月14日

県道東野虎姫線、浅井町内保字上折戸から湯次字宮ノ前まで、L=1,509.4m、道路改良(バイパス)事業の完成および浅井町道の昇格に伴う供用開始

■ 9月17日

文化ゾーン供用開始、大津市瀬田南大萱町・瀬田大江町、(面積33.7ha)、当初計画決定、昭和54年10月15日、最終計画決定、昭和61年2月17日

■ 10月6日

琵琶湖水位-55cmに低下、洗堰全閉、給水制限開始

青土ダム本体基礎工事が完了、昭和61年度完成を目指す

■ 10月24日



■ 10月

異常少雨により渇水、**淀川で取水制限開始**(最大上水20%、工水22%)翌年3月12日まで

■ 11月1日

湖西浄化センターの運転を開始、湖西流域関連公共下水道、**大津市**供用開始、事業着手、昭和54年度

■ 11月5日

東北部浄化センターの建設工事に着手

■ 12月6日

近江八幡運動公園供用開始、近江八幡市津田町、(面積13.1ha)、計画決定、昭和47年10月25日(最終決定、昭和52年3月28日)

記 事

- 12月9日 **琵琶湖水位が-92cmに低下**、明治7年の観測以来史上2位の記録
- 12月10日 **県道畑勝野線**、高島町高島字中ノ坊220-1から552-1まで、L=1,247.3m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始
- 12月17日 **県道海津今津線**、今津町南新保字堤外から今津字北ノ沼まで、L=1,045.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始、都市計画道路L=673.0m、町道L=157mを重用、県道の終点を変更する
- 12月21日 **消防学校新築工事竣工**、(管理棟RC造地下1階地上3階、延べ床面積4,423.69㎡、屋内運動場SRC造2階・訓練棟SRC造・S造10階、延べ床面積2,819.01㎡、建築請負額11億1,900万円、電気・機械設備3億3235万円)昭和58年12月28日着工
- 12月 **南川局部改良事業琵琶湖総合開発区間完了**、新旭町藁園、(延長855m、うち水資源開発公団施行820m、流域面積0.76km²、超過確率1/30、計画高水流量14.0m³/s、事業効果、氾濫防止面積80ha、家屋35戸、当初全体計画事業費見込み3億円、事業費2,860万円)、昭和55年度着手
- 1月26日 **琵琶湖水位(鳥居川水位-96cmを記録)**昭和14年の同103cmに次ぐ史上2位の渇水、2月下旬に回復
- 2月8日 **県道市場野田鴨線**、高島町武曾横山字風呂ノ本から野田字西畑まで、L=1,288.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始
- 2月15日 県道大津能登川長浜線、長浜市公園町字葭立場から南呉服町字守田まで、L=396.4m、踏切除却(バイパス)事業の完成に伴う供用開始、**蓮池跨道橋竣工**
- 3月20日 **県道草津伊賀線**、水口町岩坂字東風代から三大寺字川原まで、L=2,645.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始
- 3月30日 国鉄**東海道本線野洲川橋梁改良工事完成**、野洲町大畑～守山市立入、野洲川改修工事に関連
- 3月30日 県道大津草津線、近江大橋西詰めに、**けやきのシンボル植樹が完成**

県道大津草津線、近江大橋有料道路事業
4車線拡幅工事が完成し供用開始

- 3月30日 草津市木の川町～御倉町
大津市丸の内町から草津市矢橋町間田まで
(延長L=6.1km(橋梁部1,290m)
II期工事事業費115億円)



工業技術センター新築工事竣工

- 3月31日 栗東町上砥山、
研究室:SRC造5階、延べ床面積4,529.41㎡、
実験室:RC造1階、延べ床面積693.00㎡、
プール:RC造1階、
建築請負額9億2,613万円、
電気・機械設備請負額6億9,069万円、
昭和59年7月16日着工

- 3月31日 滋賀県下水道普及率**11.0%**、全国平均普及率34%、滋賀県下水道普及率10%を越える

■ 3月 **黒田川災害復旧助成工事竣工**

- **大岩谷大型砂防ダム完成** 志賀町、(重力式ダム、高さH=20.0m、堤長L=36.1m、コンクリート量6,008m³、計画堆砂量2万1,390m³)

- 県道近江八幡大津線、湖周道路の帰帆島南側に架かる、**帰帆南橋完成**(橋長L=255.5m、総幅員W=12.3m、PC橋)

- 県道大津守山近江八幡線、草津市橋岡町～御倉町の**新草津川に架かる子守橋完成**(橋長L=103.1m、総幅員W=11.3m、PC橋)

昭和60年(1985年)度

記 事

- 4月1日 湖南中部流域下水道事務所拡充(建設第3課を廃止し、中部支所を設置)、**(財)滋賀県下水道公社湖西事務所設置**
- 4月21日 県道大津草津線、近江大橋有料道路事業、**4車線拡幅工事が完成し供用開始**、草津市木の川町～御倉町
- 4月 **姉川ダム建設事業採択
栗栖ダム実施計画調査に着手**


姉川ダム、ダムサイト
- 4月 大津市**膳所公園なぎさ整備工事完成**
- 4月 **長浜新川広域改修事業着手**
- 5月27日 **県土地開発公社と県住宅供給公社の事務局を統合**、組織機構改革と人事異動内示を
発表
- 6月13日 **高橋川小規模河川改修工事全体認可を得る**。大津市瀬田橋本町～瀬田神領町、(延長L=1,700m、流域面積1.87km²、高水流量50m³/S、超過確率1/50、計画内容、掘削5万5,000m³、築堤5,000m³、護岸工1万4,800m²、橋梁11橋、事業効果、氾濫防止面積80ha、家屋2,691戸、予定事業費19億8,500万円)
- 6月18日 国道303号道路改良、**水坂トンネルを含む道路区間開通**、今津町保坂から杉山まで、L=2,950m(トンネル延長L=798m、道路部幅員11.5m、車道6.0m、歩道1.5m)、昭和55年12月着工
- 6月25日 **甲南町上馬杉で地すべり**、(幅150m、延長30m)住宅の柱10cm傾く、(砂防課、滋賀県の主な災害より)
- 7月15日 琵琶湖流域下水道**東北部(彦根長浜)処理区管渠工事に着手**
- 7月 企業庁、**東南部(中部地区)上水道供給事業本格給水開始**
- 8月7日 都市公園設置公告、公園の名称、**琵琶湖岸(びわ)緑地供用開始**
位置、びわ町川道および南浜地
- 8月12日 都市公園設置公告、公園の名称、**琵琶湖岸(柳川～宇曾川)緑地供用開始**
位置、彦根市三津屋町、石寺町、薩摩町および柳川町地内
- 8月12日 都市公園設置公告、公園の名称、**姉川緑地供用開始**
位置、びわ町南浜字中島地内
- 9月17日 県道川道唐国線、**錦織橋梁整備工事(上部工)竣工**、びわ町錦織、(橋長L=165m、幅員7m、構造、中央径間部、トラスランガー、側径間部、合成鈹桁、請負額2億6,239万円)
- 9月27日 **県道西浅井余呉線**、余呉町川並字椀田から下余呉字下墓まで、L=1,105.0m、道路改良(現道拡幅)事業の完成による供用開始
- 10月23日 **県道近江八幡土山線**、蒲生町上麻生字苅目から字前ノ海道まで、L=1,020.0m、道路改良(バイパス)事業の完成による供用開始
- 10月 県道中野新旭線、**広瀬橋完成**(安曇川)
(橋長167.80m、幅員10.25m(9.25m)、PC単純T桁橋5径間)
- 11月8日 **県道近江八幡安土能登川自転車道線**、安土町下豊浦字庄町から能登川町大中まで、L=4,181.0m、道路改良事業の完成による供用開始

記 事

-
- 11月11日 **県道四津川鴨線**、安曇川町横江字宮の腰から下小川字不動立まで、L=1,058.0m、土地改良事業による区域変更の供用開始

 - 11月13日 宇曽川助成事業による**県道彦根近江八幡線(現在市道)港橋掛け替え工事竣工**、彦根市三津屋町～須越町間、(橋長L=91.6km)、景観に配慮した橋梁

 - 11月19日 **畜産(畜産技術振興)センター鶏舎新築・本館棟増築工事竣工**、日野町山本、(S造1階・17棟、本館棟RC・W造2階、延べ床面積:鶏舎分3,075㎡、本館分1,143㎡、請負額:(鶏舎棟・建築請負額)1億4,300万円、(本館棟・建築請負額)1億6,170万円、電気・機械設備請負額1億459万円)、鶏舎・昭和59年11月着工、本館棟・昭和60年3月着工

 - 12月20日 **国道422号石山工区道路改良事業決まる**、大津市石山寺～寺辺町、(延長L=3,650m、幅員W=15.8m)、京滋バイパスによる交通量増加と安全対策のため、2車線と緩速車線および自転車歩道の整備

 - 12月24日 **県道磯野木之本線**、高月町東高田字コブケから唐川字上り戸まで、L=1,599.3m、道路改良(バイパス)事業の完成による供用開始

 - 12月27日 **国道8号長浜バイパス暫定供用**、近江町高溝、東上坂近江線交点～顔戸、東上坂近江線交点(延長L=0.7km)、平成8年4月10日、大戌亥町～加田間L=0.8km四車供用

 - 2月5日 **県道海津今津線**、マキノ町中庄字宮崎から今津町桂字石川まで、L=1,350.0m、道路改良事業新道の一部を供用開始

 - 3月28日 国道303号、西浅井町大浦字稲田からマキノ町野口字八代まで、L=3,582.3m、道路改良(バイパス)事業の完成による供用開始、**大浦川に架かる新栄橋完成**(延長L=102.4m、総幅員W=11.5m、鋼橋)、**奥琵琶トンネル工区**(延長L=1,185mW=9.25m)を含む

 - 3月31日 **平田川小規模河川改修事業琵琶総区間竣工**、彦根市中藪町～平田町、(計画延長L=2.13km、流域面積4.4km²、超過確率1/50、計画高水流量95m³/s)、琵琶湖総合開発事業区間1.7km、全体計画認可、昭和49年3月

 - 3月31日 **守山駅西口地区市街地再開発事業完成**、守山市梅田町、(面積約0.41ha、用途地域・商業地域、容積率600%、建坪率80%、建築面積2,226㎡、延べ床面積1万9,881㎡、住戸数108戸)、昭和57年11月12日市街地再開発事業決定 組合施工、セルバ守山

 - 3月 国道307号**野洲川水口大橋完成**、水口町水口～北内貴、(延長L=243.0m、全体幅員w=11.5m、PCポストテンション桁方式)

 - **天川ダム本体工事**(工所用道路建設着工)
-

昭和61年(1986年)度

記

事

- 4月1日 滋賀県訓令第10号 **滋賀県琵琶湖水政対策本部設置規程**
本部員は本庁の部長の職にある者をもって充てる。専門部員は別表に掲げる職にある者をもって充てる、土木部は次長、技監、監理、道路、河港、河川開発、都市計画、砂防、下水道計画・建設、住宅の各課長
- 4月1日 **湖西流域下水道事務所を湖南中部流域下水道事務所に統合**(湖西担当の建設第3課設置)
- 4月1日 **近江八幡市公共下水道供用開始**(湖南中部処理区)、昭和49年事業着手
- 4月 **北川ダム実施計画調査に着手**
- 6月3日 **武村知事辞表提出、衆議院選挙出馬を正式に表明**
- 6月25日 道路公団が有料道路として建設してきた**湖西道路完成**、志賀町荒川・志賀インターチェンジ～大津市雄琴・仰木雄琴インターチェンジ間、(延長13km)、仰木雄琴ICで開通式
- 6月 湖南中部流域下水道、**湖南中部浄化センター竣工**
- 6月 **第4回土砂災害防止月間推進の集い全国大会を大津市で開催**、木戸川現場を視察
- 7月9日 13日の朝方まで**断続的に雨が降り続き**、その総雨量は、大津134mm、蒲生209mm、近江八幡185mm、信楽167mm等であった。中でも湖南、甲賀、湖東地方では時間雨量50mmに達する程の激しい雨となり、**黒橋川、南砂川、大日川で溢水**し、家屋の浸水、田畑の冠水などの被害が生じた。また**野洲町で橋脚が傾く**
- 7月9日～12日 **黒橋川災害復旧助成事業採択**、近江八幡市多賀町、鷹飼町、西本郷町、(延長L=2,020m、本川1,800m、支川220m、川幅9.9～7.0m、河床勾配1/650～1/500、流域面積2.4km²、規模1/5、流量30m³/s、事業費23億4,348万円、災害費8億2,048万円、助成費15億2,300万円)、竣工昭和64年度
- 7月9日～12日 **黒田川上流災害関連事業採択**、山東町夫馬・朝日、(延長L=1,150m、川幅8.0m、河床勾配1/250、流域面積2.8km²、規模1/10、流量33m³/s、事業費4億1,816万円、災害費2億2,915万円、関連費1億8,901万円)、竣工63年度
- 7月20日 知事選挙、**第46代知事に稲葉稔氏**当選

婦人センター(男女共同参画センター)新築工事竣工

- 7月31日 近江八幡市鷹飼町、RC造2階、延べ床面積3,832.85m²、建築請負額7億2,800万円、電気・機械設備請負額3億3,500万円)、昭和60年10月11日着工



- 8月10日 

道の日制定を記念して、滋賀県では**日本の道100選に唐橋が選定**
全国で53路線選定

- 8月18日 **県道四日市土山線**(大河原北土山線)、土山町鮎河字大野から青土字石神まで、L=1,750.0m、青土ダム建設に伴う新道の供用開始

記 事

■ 10月6日	県道近江八幡土山線 、日野町蔵王字谷から字小柴山南蔵王谷まで、L=1,933.2m、蔵王ダム建設に伴う付け替え道路の供用開始
■ 10月13日	障害防止事業天川ダム工事本体発注 今津町上弘部、(重力式、ダム高さH=35.3m、堤長L=105.0m、堤体積3万7,000m ³ 、請負額21億2,300万円(6年債務、最終年工事費)、平成3年工期
■ 10月21日	国道8号長浜バイパス全線開通 、長浜市加田町・加田田村線交差点、～近江町顔戸、(延長L=2.4km、暫定2車線)、長浜市～近江町間の長浜バイパス(施行延長L=8.2km、幅員W=28.5m)
■ 10月31日	県道四日市土山線 (大河原北土山線)、土山町鮎河字モタレから字辻垣外まで、L=1,263.9m、道路改良(バイパス)工事に伴う供用開始
■ 10月	主要地方道海津今津線、百瀬川橋(百瀬川)完成 、マキノ町知内、(橋長72.0m、幅員13.3m(12.5m)、PC単純T桁橋3径間、琵琶湖総合開発事業
■ 11月27日	琵琶湖水位-81cmまで低下 、近畿地建は淀川からの取水量を上水道20%、工業用水22%をカットする、第2次取水制限を28日から実施することを決めた
■ 11月28日	国鉄分割民営化関連8法が成立
■ 12月11日	琵琶湖水位-88cm を記録
■ 12月12日	近畿地建は第3次取水制限を見直し、 取水量を更に1日あたり4%減らす ことを決めた
■ 12月15日	県道海津今津線 、マキノ町西浜字松尾から中庄字宮崎まで、L=2,398.0m、道路改良(バイパス)事業に伴う新道の一部を供用開始
■ 3月20日	北川荒廃砂防事業 志賀町北小松、砂防ダム竣工、(重力式コンクリート、堤高14m、堤長55.6m、事業費1億2,142.7万円)
■ 3月27日	県道甲賀土山線 、甲賀町岩室字中野から土山町前野字垂井まで、L=330.0m、 岩室橋 (橋梁L=206.4m、全幅9.5m(車道6.0m、歩道2.5m、路肩1.0m)、三種三級、設計荷重、20t、支間長L=34.34m、径間数6、型式PCポステンT桁、下部工、橋台工・橋脚工とも逆T型、事業費3億2,380万円)架設工事の完成による供用開始
■ 3月28日	87世界古城博覧会が、常陸宮妃殿下華子様を迎え、彦根城一帯で開幕 、5月31日(65日間にわたる会期)閉幕、84万2,890人の入場者数
■ 3月31日	大規模自転車道路完成、 よし笛ロード (L=26.2km)
■ 3月	逢坂地区急傾斜地崩壊対策工事完成 (大津市逢坂2丁目)L=102m、H=5.5～10m
■	滋賀県河港課、 土木事務所に河川情報センター端末導入
■	御呂戸川局部改良工事 、住宅宅地関連公共事業により完成
■	小山川局部改良工事 、住宅宅地関連公共事業により完成、大津市田上太子町～関津町、(計画延長L=800m、流域面積1.55km ² 、超過確率1/50、計画高水流量40m ³ /s)、着工昭和58年度

昭和62年(1987年)度

記

事

- 4月1日 **大津港建設事務所を土木部内に新設**
- 4月1日 **道路公社は近江大橋建設事務所を廃止し、途中トンネル有料道路建設事務所を設置**
- 4月1日 **国鉄が115年の歴史の幕を閉じ、分割・民営化された、6旅客鉄道会社と11の民間会社(JRグループ)が再スタート**
- 4月1日 **奥びわスポーツの森供用開始**、旧湖北町早崎、旧びわ町下八木、(面積21.3ha)、計画決定、昭和59年1月23日
- 4月1日 **湖西流域関連公共下水道、志賀町供用開始**、事業着手、昭和59年度
- 4月1日 **敦賀柳ヶ瀬線、柳ヶ瀬トンネル供用開始**、敦賀市刀根～余呉町柳ヶ瀬、(延長L=1,377m、有効幅員2.75m、待避所25m×2箇所(w=5.5m)、高さ4.7m(高さ制限規制3.5m)、縦断勾配、敦賀側へ下り2.5%、ナトリウム灯59灯、非常電話7台など、工事費2億3,400万円、昭和61年3月28日県道認定)
- 4月1日 **設計便覧、植栽編作成**
- 4月1日 **県道近江八幡土山線**、蒲生町鈴字丁田から上麻生字苺田まで、L=1,092.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始
- 4月1日 **県道柳川能登川線**、能登川町小川字北堀川から躰光寺字地藏まで、L=1,276.9m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始
- 4月21日 **県道矢橋小島線**、草津市御倉町字襖から木川町字文田まで、L=1,089.0m、近江大橋(有料道路)4車線拡幅改築工事の竣工に伴い、改築部分の供用を開始する
- 5月 **水防月間制定**(昭和61年の台風10号を契機に制定)
- 6月8日 **県道川道唐国線**、びわ町錦織字堂前から唐国字打坪池まで、(延長L=360.0m、錦織橋梁整備上部工、(橋長L=165m、総幅員W=10.5m、幅員7m、構造、中央径間部、トラスランガー、側径間部、合成鉄桁))、**錦織橋橋梁整備事業の完成**に伴う供用開始、請負額2億6,239万円
- 6月30日 **第4次全国総合開発計画策定**(閣議決定)
- 6月 **森と湖に親しむ旬間(7月21～31日)創設**
- 6月 **高規格幹線道路網(14,000km)が決定**

信楽高原鐵道
第3セクターにより
信楽町長野～貴生川間
14.7kmで**営業開始**

- 7月13日



- 7月14日 **梅雨前線**が日本海側に停滞し14日から降り出した雨は16日には小康したが、17日から20日まで雨は降り続き、19日には局地的に時間雨量が20mmを越える激しい雨となり、警戒水位を突破する河川が続出し、小河川では各所で溢水氾濫し、**近江八幡市・八日市市**等で床上浸水13箇所、床下浸水766箇所を記録した。**公共土木施設災害は道路55箇所、橋梁5橋、河川93箇所、砂防2箇所、崖崩れ8箇所発生**し、被害額は17億711万円となった。

- 7月14日 **酒人川河川局部改良事業認可**、水口町酒人、(延長L=1,485m、流域面積A=1.47km²、超過確率1/30、高水流量27m³/s(現況流量1.74~2.67m³/s)、事業計画内容、掘削2万3,400m³、護岸1,485m、床固工3箇所、道路橋8箇所、事業効果、氾濫防止面積35ha、家屋80戸、総事業費見込み5億円)

- 7月14日～21日 **和迩川災害復旧助成事業採択**、和迩南浜、今宿、(延長L=2,260m、川幅16.2~22.6m、河床勾配1/100~1/230、流域面積15.2km²、規模1/30、流量220m³/s、当初決定事業費16億6,101万円、災害費5億3,301万円、助成費11億2,800万円)、竣工平成2年度

- 7月14日～21日 **県道大津南郷宇治線災害関連事業**、大津市外畑町、(延長177m、全幅7.0m、車道幅員5.5m、設計速度30km、事業費2億160万円、災害費1億3,754万円、関連費6406万円)、道路法線の是正、視距の改良、竣工平成元年度

- 8月3日 **「日本の道100選」に県道・大津草津線(湖岸道路)の7.7km**(大津市浜大津1丁目～草津市橋岡、近江大橋を含む)が選ばれた

- 8月8日 大規模自転車道路**「びわこよし笛ロード」竣工式**、近江八幡市から～能登川町～安土町に至る全長26.2km、幅員3.5m～8.40m、舗装幅3.00m、開通イベントには、**稲葉知事と中野浩一選手が自転車愛好家の先頭を走った。**

- 9月4日 **国道306号、多賀町大君ヶ畑字落岩380-1地先、L=235.0m、道路改良(洞門工)事業の完成**による供用開始

- 10月4日 **夕照庵開設**、大津市瀬田南大萱、(木造平屋、数寄屋造り、延べ床面積200.46m²、茶亭4.5畳、集会室(8畳、6畳広間)、休憩所(立礼席)、付属屋(受付、便所)、事業費(路地等外構共)約9,000万円)、昭和61年9月着工

- 11月8日 **「抱きしめてBIWAKO」**が実施され、琵琶湖岸で26万人が手をつなぎ輪を作った

**文化産業交流会館
(仮称カルチャーセンター)新築工事竣工**

- 11月9日 米原町下多良、SRC造5階、延べ床面積1万533.33m²、建築請負額22億500万円、電気・機械設備請負額10億5,500万円、昭和61年3月20日着工



- 11月24日 **国道161号高島バイパス供用開始**、10工区、新旭町旭～安曇川町青柳間、(延長L=2.5km、2車線、安曇川大橋L=265m完成)

- 11月24日 **大津港整備事業がスタート**、総事業費予定65億円、昭和75年度完成予定

- 11月28日 **大津市の「なぎさ公園」が昭和72年度完成を目指して起工式**、総事業費予定96億5,000万円

小児保健医療センター新築工事竣工

- 11月 守山市守山5丁目、RC造地下1階地上3階、延べ床面積9,411.20m²、総請負額30億9,087万円、昭和61年9月着工



- 12月9日 建設省が「ふるさとの川モデル事業」に、長命寺川の近江八幡市円山～浅小井間約3kmを指定した

- 1月25日 県道上馬杉上野線、甲賀町毛枚字西長谷から上野字畑岡まで、L=1,687.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始

- 2月5日 JRが京都～米原間の愛称を琵琶湖線と正式に決定

- 2月 東海道新幹線(仮称)栗東駅設置促進協議会設立(会長:栗東町長)

- 3月12日 草津文化芸術会館新築工事竣工、草津市野路町、(S・RC造4階、延べ床面積3,683.45㎡、建築請負額7億2,885万円、電気・機械設備請負額4億4,418万円)、昭和62年3月着工

- 3月25日 県道彦根近江八幡線、彦根市薩摩町字中須賀から柳川町字大正まで、L=1,800.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始

大津信楽線法面崩落事故

大津市桐生町、
 通行中の自動車が
 巻き込まれ2人が死亡、

- 3月30日 以降裁判となる



- 3月31日 芹川中小河川改修事業竣工、彦根市長曾根～芹町、(延長L=4.0km、超過確率1/50、計画高水流量770m³/s(暫定1/30)、琵琶湖総合開発事業区間

- 3月31日 新保川局部改良事業琵琶湖総合開発区間完了、マキノ町新保、(延長L=500m、流域面積1.98km²、超過確率1/30、計画高水流量40m³/s、当初計画事業費見込み2億1,000万円、事業費1億3,860万円)、昭和56年着工

青土ダム完成

土山町青土、
 ロックフィルダム、堤高43.5m、
 堤頂長360.0m、堤体積660m³、
 集水面積54.3km²、
 湛水面積0.62km²、

- 3月 総貯水容量730万m³、
 有効貯水容量660万m³、
 洪水調節容量410万m³、
 利水容量250万m³
 (既得取水、上水道、工業用水)、
 計画高水流量1,200m³/s、
 調節量420m³/s



- 大橋川砂防流路工完成、甲賀町大原上田、(延長L=2,540m、)、昭和56年着工

昭和63年(1988年)度

記

事

- 4月1日 **野洲川整備公社設立**(滋賀県指令第78号)、守山市吉身三丁目11-43、野洲川廃川敷地等の平地化事業の促進及び環境整備の促進、基本財産5,000万円

国道367号**途中トンネル有料道路供用開始**
大津市途中町西山～途中町坊出、

- 4月5日 延長L=0.5km、
三種二級、W=9.0
トンネル部 7.5m、
設計速度50km/h、
事業費15億円
昭和60年11月 着工

途中大橋
延長L=148.5m、
総幅員W=9.5m、鋼橋
昭和62年完成



- 4月 **土木設計積算オンラインを本稼働**
- 4月 **設計便覧、砂防編(第2版)作成**
- 4月 **【国直轄】高時川調査事務所を高時川ダム工事事務所に名称変更、建設事業に着手**
- 5月27日 **第2次急傾斜地崩壊対策事業五箇年計画**(閣議決定)、昭和63年～平成4年、総額5,000億円
- 5月 **第10次道路整備五箇年計画**、閣議決定、(昭和63年～平成4年)、総事業費53兆円、うち地方単独13兆9,000億円
- 5月 **「積雪寒冷特別地域道路交通確保五箇年計画」**閣議決定
- 5月 **「奥地等産業開発道路整備計画」**閣議決定
- 6月6日 **建設業法改正(法律第69号)施行**
- 6月7日～13日 **高時川災害関連事業採択**、余呉町中河内、(延長L=822m、川幅8.8m、河床勾配1/70、流域面積4.75km²、規模1/10、流量52m³/s、当初決定事業費2億2,422万円、災害費1億4,007万円、関連費8,415万円)、竣工平成元年度、県内初の逆T型床固工の施工
- 7月4日 建設省の「手作り郷土賞」に**信楽町の“炎の美通り”“みよで公園”**と**安土町の“錠の浜”**など3地域が選定された
- 7月13日 瀬田川川底から**奈良時代の瀬田橋橋脚遺構**が出土
- 7月26日 **国道161号小松拡幅供用開始**、高島町鶴川～志賀町北小松間、(延長L=1.0km、暫定2車線)
- 8月29日 **国道1号、京滋バイパス開通**、大津市瀬田大江町～京都府久御山町、(施工延長L=21.3km、)、バイパス測道部L=2.4kmを滋賀国道事務所が、中間部L=17.2kmを日本道路公団が昭和59年以来施行、宇治市槇島～京都府久御山町森地先L=4.4kmを京都国道事務所が施行、名神瀬田東インターチェンジも併せて開通。
- 8月29日 **県道大津能登川長浜線**、大津市瀬田神領町字念仏谷から南大萱町字石拾まで、L=1,760.3m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始、山手橋(橋長L=140.9m、総幅員W=8.5m、鋼橋)、道路公団費用負担で完成
- 9月28日 **滋賀空港の建設予定地に「蒲生日野地区」を決定**と、稲葉知事が議会で表明
- 10月1日 湖南中部流域関連**公共下水道、甲西町供用開始**、事業着手、昭和54年度
- 11月1日 **財団法人「滋賀県公園・緑地センター」**を7市19町が設立

- 11月28日 JR東海道新幹線新駅問題で、県は「栗東駅」「湖東駅」の二候補のうち「栗東駅」を優先的に設置すると関係市町長に説明

- 11月30日 **大谷川荒廃砂防事業** 志賀町荒川、砂防ダム竣工、(重力式コンクリート、堤高14.5m、堤長111m、事業費3億2,000万円)

- 11月 **県道北船木勝野線、新金丸橋(金丸川)完成**、安曇川町南船木、(橋長140.0m、幅員14.30m(13.5m)、単純合成鋼桁橋、琵琶湖総合開発事業)

- 12月4日 **湖西線に「小野駅」が新設され開業した**

- 12月5日 **琵琶湖大橋有料道路改築工事の供用開始**
県道栗東大津線(琵琶湖大橋有料道路)、栗東町林字赤橋から守山市今浜町字五番まで、工事改築による、完了日、昭和63年12月3日

- 12月28日 **県道山東本巣線**、伊吹町小泉字中川原から大久保字北海道まで、L=1,140.0m、供用開始

- 1月7日 **天皇陛下崩御**

- 2月10日 **国道・県道など1,450箇所の案内標識整備三箇年計画**がまとまり公表

- 3月7日 **泉川(2工区)小規模河川改修工事着工**、水口町酒人、(計画延長1,311m、流域面積4.1km²、超過確率1/50(暫定1/20)、計画高水流量110m³/s(暫定50m³/s)、総事業費予定7億2,000万円)、野洲川への放水路工事

- 3月8日 「琵琶湖総合開発計画工事差止請求」の判決で、滋賀県等被告側の全面勝訴

- 3月10日 県は「奥琵琶湖パークウェイ」の通行料金を4月1日から無料にするとことを正式に決定

- 3月15日 **県道北船木勝野線**、安曇川町下小川字浄願寺から字井池まで、L=266.5m、**加茂橋**(延長L=96.6m、総幅員W=14.3m、3径間連続非合成鋼桁教)の架け替えによる供用開始、琵琶湖総合開発事業

- 3月22日 **滋賀県総合教育センター新館新築工事竣工**、野洲町北桜、(RC造4階、延べ床面積3,626.17m²、総請負額9億7,978万円)、昭和63年7月着工

道路公団が有料道路として建設してきた**湖西道路暫定供用開始**、

- 3月23日 大津市仰木・仰木雄琴インターチェンジ
～大津市木の岡町・坂本北インターチェンジ間、
延長L=3.7km)完成、
湖西道路の公団区間
(志賀町荒川～大津市坂本三丁目)
16.7kmが全線開通、着工以来15年ぶり



- 3月31日 **神奈川局局部改良事業琵琶湖総合開発区間完了**、新旭町太田、(施行延長950m、他に水資源開発公団施行990m、流域面積0.80km²、超過確率1/30、計画高水流量14.0m³/s(現況流下能力5.0m³/s)、事業内容、掘削9,380m³、矢板護岸、事業効果、氾濫防止面積134ha、家屋70戸、事業費2億1,340万円)、昭和54年着工

- 3月31日 **金丸川局局部改良事業完了**、安曇川町南船木、四津川、(施行延長L=1.6km、計画高水流量50m³/s)、昭和60年着工、琵琶湖総合開発事業区間は農林部で施行

- 3月31日 **多羅川局局部改良事業琵琶湖総合開発区間竣工**、大津市石山寺、(延長L=1.4km、流域面積2.7km²、超過確率1/50、高水流量60m³/s(現況流下能力20m³/s)、事業内容、掘削2万9,940m³、護岸1,511.8m²、道路橋3橋、全体計画事業費2億1,418万円)、昭和41年7月15日認可

記 事

-
- 3月31日 滋賀県下水道普及率**20.4%**、全国平均普及率40%、滋賀県下水道普及率20%を越えるが、未だ全国平均の半分

 - **野離子川緑の砂防ゾーン創出事業着工**、志賀町八屋戸、平成10年竣工

 - 県道杉谷嵯峨線、**矢川橋橋梁整備工事竣工**、甲南町深川市場、(橋梁延長L=99.4m、総幅員W=10.7m、PC橋)

 - **草津駅前A地区市街地再開発事業工事完了**、組合施工、1.24ha、Lty932
-

平成元年(1989年)度

記

事

■ 4月1日 道路課に**第二名神自動車道促進担当を新設**

■ 4月1日 **北川ダム建設事業採択**

北川ダム建設事務所を新設(4人)
今津町天神山

■ 4月1日



■ 4月1日 大型間接税・**消費税3%が始まる**

■ 4月1日 湖南中部流域関連**公共下水道、安土町供用開始**、事業着手、昭和54年度

■ 4月1日 **県道石部草津線**、石部町石部字宝来坂から丸山まで、L=820.0m、道路改良(現道拡幅)事業の完成に伴う供用開始
県道水口甲南線、水口町水口字兼ヶ尻から字下真海まで、L=235.5m、水口橋(延長L=235.5m、総幅員W=5.7m、PC橋)橋梁整備(現道拡幅)事業の完成による供用開始

■ 4月1日 **県道高山長浜線**、浅井町北之郷字北山から法楽寺字野極まで、L=2,371.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始

■ 4月1日 **奥琵琶湖パークウェイを無料開放**

■ 4月11日 **龍谷大学の理工学部・社会学部新設開校**、大津市瀬田大江町

■ 4月15日 湖南中部流域関連**公共下水道、八日市市供用開始**、事業着手、昭和52年

■ 4月 **近江鉄道「水口城南駅」、「水口松尾駅」開業**

■ 5月13日 **滋賀県庁の土曜閉庁(毎月第2・第4土曜日)がスタート**した、医療、文化、体育施設を除く172機関

■ 5月 **【国直轄】大戸川ダム建設事業採択**、大戸川ダム調査事務所を大戸川ダム工事事務所に名称変更

■ 6月2日 第75代・47人目の**総理大臣に宇野宗佑氏が就任**、滋賀県初の総理誕生

■ 6月 **立体道路建設制度の創設**

■ 7月26日 **日本の都市公園100選に、湖岸緑地(守山市)、金亀公園(彦根市)が指定**される

■ 7月31日 **盛越川都市対策砂防事業**、大津市上別保若葉台、砂防ダム竣工(重力式コンクリート、堤高11m、堤長65m、事業費1億1,867.9万円)

■ 7月 **湖東・大阪線(仮称)鉄道建設期成同盟会設立(3市14町)**。
(平成7年8月にびわこ京阪奈線(仮称)鉄道建設期成同盟会に改称)

■ 10月16日 **国道307号**、水口町北内貴字東矢田野から虫生野中央まで、L=1,298.0m、道路改良(バイパス+現道拡幅)事業の完成に伴う供用開始

■ 11月10日 **県道大津能登川長浜線**、彦根市日夏町字下不動から甘呂町字十ノ坪まで、L=1,436m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始

■ 11月21日 **立命館大学理工学部草津市移転が本決まりとなり、三者(大学、県、草津市)が調印**した、草津市野路町の約34ha、平成6年4月開校予定

■ 12月6日 **国道421号**、永源寺町紅葉尾字山口から字持丸まで、L=1,244.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始

記 事

■ 12月8日	草津保健所・草津総合庁舎別館(福祉課)新築工事竣工 、草津市草津3丁目、(RC造3階、延べ床面積2,393.54㎡、総請負額6億5,876万円)、昭和63年12月着工
■ 12月15日	県道雨降野今在家八日市線 、湖東町池庄字薬師から字南野まで、L=1,050.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始 県道彦根八日市甲西線 、甲良町尼子字里尻から在士字南平まで、L=1,235.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始
■ 1月12日	高島都市計画下水道(琵琶湖流域下水道高島処理区) 都市計画決定 、ポンプ施設4箇所、敷地面積7.5ha
■ 2月7日	県道石原八日市線 、八日市市芝原町字玉緒から字芦田まで、L=1,138.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始
■ 2月14日	志賀町特定環境保全公共下水道事業認可
■ 2月	平均気温が7.0度で、 4年連続の暖冬
■ 3月5日	県道彦根近江八幡線 、能登川町栗見新田字中ノ葎1460-4から1534まで、L=218.0m、大同川に架かる 中の湖橋 (新・水車橋延長L=135.4m、総幅員W=13.8m(幅員12.5m)、鋼橋)橋梁整備事業の完成に伴う供用開始
■ 3月12日	国道1号京滋バイパス(本線部分) 、草津市草津4丁目～大津市石山寺間、(延長L=5.7km、)、四車供用開始(併設側道部L=2.4kmを除く)、昭和48年着手
■ 3月22日	陶芸の森新築工事竣工 、信楽町勅旨、(陶芸館:RC造2階、延べ床面積2,334.45㎡、総請負額9億4,418万円、創作研修館:RC造1階、延べ床面積2,852.43㎡、総請負額10億8,306万円)、平成元年3月着工
■ 3月31日	滋賀県下水道普及率 23.5% 全国平均普及率42%
■ 3月	県道北船木勝野線、新北川橋(安曇川北流)完成 、安曇川町北船木、(橋長106.44m、幅員14.3m(13.5m)、単純合成鈹桁橋4径間)、琵琶湖総合開発事業
■ 3月	【国直轄】高時川ダム、水源地域対策特別措置法に基づくダム指定
■ 3月	近江鉄道線「大学前(びわこ学院大)駅」開業

平成2年(1990年)度

記

事

- 4月1日 **高島流域下水道事務所設置**
- 4月1日 **地方バスの運行維持に対する県単独補助創設**
- 4月6日 **滋賀文教短期大学開校、八日市市布施町**
- 4月1日～9月30日 **「国際花と緑の博覧会」にスポットガーデン出展、大阪鶴見緑地、(一区画、50㎡、4月～6月は浮御堂、7月～9月は瀬田の唐橋を表したモニュメント設置**
- 6月24日 **第12回知事選挙、第47代県知事に稲葉稔氏再選**
- 6月28日 **滋賀県総合交通ネットワーク構想策定(目標:21世紀初頭展望)**
- 6月30日 **ミシガン州立大学連合日本センター棟新築工事竣工、彦根市松原町、(RC造2階、延べ床面積2,651.28㎡、総請負額17億2,396万円)、平成元年9月着工**
- 7月～10月 琵琶湖総合開発事業に位置づけされた**「大津放水路」計画の事業化**に向け、本格的な技術検討が開始され、**事業申請**が行われる
- 8月6日 **建設省は第2名神高速道路の計画原案を県に提示した、三重県亀山市～京都府宇治田原町、(総延長L=54km、本線幅員36.5m)、平成4年着工予定**
- 8月9日 **国道306号、多賀町佐目字東谷から大君ヶ畑字落岩まで、L=1,790.0m、(佐目トンネル、施行延長L=1,052m、W=8.0m)、道路改良事業の完成による供用開始、長さ県内第3位**
- 9月1日 琵琶湖流域下水道**高島処理区下水道法事業認可**

9月12日グアム島の南海上で発生した熱帯低気圧は、北西に進み13日9時には**台風19号**となった、16日には沖縄の南東で急速に発達して**大型で猛烈な強さ**になった。沖縄近海を通過した後、進路を北東に変え次第に加速し、19日20時過ぎ和歌山県白浜町の南に上陸(この時の中心気圧は945hpa)した。この後本州を縦断し、20日15時には三陸沖で熱帯低気圧に変わった。上陸時の中心気圧が950hpa以下の台風は、1971(昭和46)年の台風23号以来となった。

9月19日20時頃より雨足が強くなり、**県下全域で暴風圏**に入った、比良、鈴鹿山系を中心に、時間雨量20～80mmの強い雨が連続して降り、最大時間雨量は、大津市(山中)で50mm、土山町(土山)で80mm、日野町(熊野)で58mm、永源寺(政所)で62.5mm、多賀町(霜ヶ原)で69mm、山東町(柏原)で56mmを記録した。**最大24時間雨量も、朽木村(針畑)373mm、大津市(葛川)328mm、土山町(土山)398mm、永源寺町(政所)426mm、多賀町(霜ヶ畑)362mm**と近年無い豪雨を記録した。

県下河川で19日20時頃より各地で増水し、真野川・真野川橋2.00m(警戒水位1.50m)、草津川旭橋1.58m(警戒水位0.80m)、野洲川水口橋1.47m(警戒水位1.35m)、杣川北杣橋下流左岸3.74m(警戒水位3.00m)、日野川増田橋2.41m(警戒水位2.25m)、日野川桐原橋6.70m(警戒水位3.00m)、愛知川紅葉橋3.01m(警戒水位1.50m)、芹川旭橋2.17m(警戒水位1.30m)、天野川・天の川橋左岸2.50m(警戒水位1.50m)、姉川難波橋右岸3.91m(警戒水位2.70m)、高時川川合2.75m(警戒水位2.70m)、安曇川船橋2.30m(警戒水位1.70m)、安曇川常安橋3.20m(警戒水位1.50m)など**軒並み通報水位、警戒水位を遙かに超える異常な水位上昇**となった。

水防本部では、沿川市町村に対し、水防警報を発令し、水防団の出動を促した。市町長は水防活動を実施すると共に沿川住民に対し避難命令を発令した。この台風による大雨で愛知川ダムが予備放流水位に達したので、操作規則に基づき放流したため愛知川の水位は大幅に上昇し、9月20日1時30分頃に能登川町今地先、県道大津能登川長浜線の**八幡橋下流約50mの左岸が決壊**、また、30分後には約5km下流の同町**栗見新田地先の愛知川橋付近の左岸が決壊**した。

- 9月15日～20日



また、死者が出るなどの甚大な被害をもたらした。県消防防災課のまとめによると被害総額は222億8,304万円に達し、天災による被害額としては過去最高となった。住家被害は、一部破壊174棟、**床上浸水180棟、床下浸水1,428棟**、公共建物44棟、その他422棟に昇った。田畑の被害は、流失・埋没185.64ha、冠水3,160.32ha、その他被害は学校141箇所、病院1箇所に昇った。

公共施設被害は、道路470箇所、橋梁21橋、河川321箇所、砂防8箇所、崖崩れ515箇所、鉄道不通4箇所、水道321箇所、電話297箇所、電気1,093箇所に昇った。うち土木施設の被害額は104億9,489万円。



大杉川(多賀町)

愛知川災害復旧助成事業採択

能登川町栗見出在家～栗見新田、彦根市新海町、

■ 9月19日～
20日

延長L=2,300m、川幅260.4m、河床勾配1/900、流域面積245.1km²、規模1/50、流量2,400m³/s、当初決定事業費50億2,131万円、災害費12億7,731万円、助成費37億4,400万円
竣工平成6年度



■ 9月19日～
20日

日野川災害復旧助成事業採択、近江八幡市佐波江町、近江八幡市野村町、中主町、(延長L=2,820m、川幅168.7～181.5m、河床勾配1/1,200～1/1,500、流域面積207.1km²、規模1/50、流量1,700m³/s、当初決定事業費62億4,159万円、災害費15億159万円、助成費47億4,000万円)、竣工平成6年度

和南川砂防堰堤工事完成、

永源寺町甲津畑、(重力式ダム、堤長L=64.5m、ダム高さH=16.0m)、昭和63年着工

■ 9月30日



■ 10月22日

県道大津信楽線、大津市上田上芝原町字羽野から平野町字里の内まで、L=1,170.0m、**萱尾川河川改修工事に伴う新道の供用開始**
県道南郷桐生草津線、大津市上田上中野町字前田から平野町字大塚まで、L=1,580.0m、重用、大津信楽線、L=970.0m、**萱尾川河川改修工事に伴う新道の供用開始**

- 10月 **姉川ダム付け替え道路(山東本巣線)全線にわたって着工**、トンネル2箇所、橋梁4橋、併せて寺の移転完了

- 11月30日 **台風28号、最も遅い襲来の記録**、大型で並の強さの台風は14時頃白浜町の南に上陸、18時には温帯低気圧に変わり日本海に抜けた。滋賀県も30日午後から暴風域に入り風が強くなった。29日から30日にかけての降水量は土山で163mm、他の地域でも50～100mmに達した。土木関係の被害は甲賀郡で、道路4箇所、河川5箇所、崖崩れ2箇所ですべて被害額は753万円となった。

- 12月1日 **八日市土木事務所に、災害河川改修工事課**を新たに設ける

- 12月4日 **余呉湖護岸工事完成**、余呉町川並、(東南岸約2km、大小の自然石を敷き詰め幅10mの石垣風護岸)、北西岸と合わせ、湖周辺6.2kmの約2/3が石積み護岸になった

- 12月19日 **琵琶湖リゾートネックレス構想が国土庁により承認**された、琵琶湖周辺6市21町の7重点整備地区、10年計画総事業費5,100億円を見込む

- 12月25日 **県道大野木志賀谷長浜線**、山東町北方字東良から菅江字縄地まで、L=1,609.6m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始

県道矢橋小島線(現、県道草津守山線)、

- 12月26日 草津市木川町字文田から野村町字西田河内まで L=930.0m 道路改良
バイパスおよび**砂川大橋**
橋長L=426.1m、総幅員W=10.7m、PC橋
事業の完成に伴う新道の供用開始



- 1月15日 湖北地方の山間部で新たに30cmの積雪、**余呉町中河内では5年振りに2mを越す大雪**

- 1月19日 **県道北船木勝野線**、安曇川町北船木字水尾から南舟木字田東まで、L=1,780.0m、道路改良(橋梁およびバイパス)事業の完成に伴う一部供用開始、**船木大橋(安曇川南流)完成**、(橋長L=180.8m、幅員14.3m(13.5m)、3径間連続非合成鋼桁橋(2連))

- 2月19日 **長浜市元浜町などの「北国街道」沿いの街並み**が県風景条例に基づく**近隣景観形成協定**として認定、延長約500m

- 2月21日 **近江高等技術専門学校新築工事竣工**、近江町岩脇、(本館棟:RC造・S造3階、実習棟:S造1階建て、延べ床面積5,070.17㎡、総請負額14億3,725万円、建築科実習棟:RC造3階、延べ床面積997.56㎡、総請負額2億3,229万円)、平成2年3月着工

- 3月11日 **県道六地藏草津線**、栗東町六地藏字南田から手原一丁目627-3まで、L=1,815.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う供用開始

JR東海道線
草津～守山間に**栗東駅**が新設開業

- 3月16日 栗東町縹、駅舎は全面ガラス張りの橋上駅、プラットホームは上下2本、全長245m、総事業費8億2,000万円
県内東海道線の20番目の駅



- 3月16日 **近江鉄道「京セラ前駅」新設開業**、蒲生町川合

■ 3月29日	道路公社公告、琵琶湖大橋有料道路改築工事の完了公告 県道栗東大津線(琵琶湖大橋有料道路)、守山市今浜町字五番地先、(延長L=172.8m、守山料金所)、工事完了の日、平成3年3月29日、供用開始、平成3年4月1日
■ 3月31日	愛知川中小河川改修事業琵琶総区間(L=2.0km)完成 、彦根市新海浜、(延長L=26.2km、流域面積245.1km ² 、超過確率1/100(暫定1/50)、計画高水流量2,800m ³ /s(暫定1,875m ³ /s)、事業効果、氾濫防止面積8,500ha、鉄道4.5km、家屋1万2,500戸)、全体計画、永源寺町高野、山上まで、全体事業費当初見込み額245億円、昭和25年度着工
■ 3月31日	滋賀県 下水道普及率28.2% 、全国平均普及率44%
■ 3月	琵琶湖総合開発事業工業用水 水位低下対策全て完了
■ 3月	第5次交通安全施設等整備事業五箇年計画(H3~7)策定 、総事業費3兆9,520億円、うち地方単独1兆9,370億円
■ 3月	【国直轄】大戸川ダム、特定多目的ダム法に基づく基本計画告示
■ 3月	国道161号高島バイパス供用開始 、11工区、高島町鴨～勝野間、(延長L=1.5km、2車線)、
■	草津川砂防学習ゾーン・モデル事業着手 、平成6年竣工
■	中の池川河川局部改良事業住宅宅地関連公共事業着手 、野洲町富波甲、(延長L=750m、流域面積A=0.51km ² 、超過確率1/12、高水流量7.0m ³ /s、事業計画内容、掘削7,810m ³ 、護岸906m、橋梁6橋、事業効果、氾濫防止面積12ha、家屋31戸、総事業費見込み5億9,400万円)

平成3年(1991年)度

記 事

- 4月1日 土木部監理課企画管理係を昇格し、**技術管理室設置**(室に企画管理係と土木電算チーム設置)
- 4月1日 **大津、八日市、彦根土木事務所に技術次長制度**(技術専門員から昇格)布かれる
- 4月1日 **下水道技術センターを新設**、総務課、技術課(3事務所)を設置(市町村への派遣から技術援助に切り替え)
- 4月1日 **東北部浄化センターの運転を開始**
- 4月1日 東北部流域関連**公共下水道、彦根市、長浜市供用開始**、事業着手、昭和56年度、58年度

信楽町の県立陶芸の森で
世界陶芸祭開幕

- 4月20日



- 5月14日 信楽発貴生川行き4両編成の**信楽高原鐵道**が、世界陶芸祭に向かう満員の乗客を乗せた三両編成の**JR気動車と信楽町黄瀬で正面衝突**、乗客・乗員の**死者42人、重軽傷者628人の大惨事**となった。滋賀県は弔意を表して15日以降の陶芸祭を会期を12日残して中止した。
- 5月15日 **国道1号鈴鹿トンネル改築工事竣工**、三重県関町峠～土山町山中、(延長276m)、名阪国道工事事務所が施工
- 5月～年度末 **大津放水路計画の事業化のための大規模な水理模型実験**が行われ、ドロップシャフト等の基本構造が決定される
- 7月9日 建設省の第6回**手づくり郷土賞**に**近江八幡市新町2丁目の「近江商人通り」と守山市勝部町の「たちばな川」**が選ばれた
- 7月25日 滋賀県と地域振興整備事業団が開発する、**びわ湖中核工業団地の起工式**が多賀町四手で終わった。(開発面積75.6ha、うち52.9haが工場用地(14区画)、事業費約110億円、平成7年末完成予定、県内5番目の大型工業団地)
- 8月 **瀬田川浚渫工事竣工**、大津市南郷、(洗堰～上流5km区間、川幅50.00m、深さ約2m、掘削土砂など78万8,110m³)、着工昭和57年度
- 9月14日 **JR北陸本線米原～長浜間7.7km直流電化完成**、京阪神方面からの新快速電車が運行
- 9月17日 稲葉知事が記者会見で昨年の**台風19号愛知川ダム放流**について、永源寺ダムは利水ダムのため洪水調節は難しいとしながらも、**ダム操作規則の運用によって、ダム水位を下げる事が出来る(防災対策が可能)**と明かした
- 10月 **第1回湖岸保全研究会**の開催(国交省土木研究所海岸研究室の宇多室長を迎え、琵琶湖の侵食対策について議論を開始)、以後、平成12年度まで研究会は継続して実施され、琵琶湖の侵食対策が軌道に乗る
- 11月29日 「**第5次都市公園等整備五箇年計画**」閣議決定、総事業費5兆円、うち地方単独1兆9,500億円
- 11月29日 「**第5次総合交通安全施設等整備事業五箇年計画**」閣議決定、総事業費3兆9,520億円、うち地方単独1兆9,370億円

■ 11月29日 「**第7次下水道整備五箇年計画**」閣議決定、総事業費16兆5,000億円、うち地方単独4兆5,300億円

■ 12月1日 **竜王町公共下水道供用開始**(湖南中部処理区)

■ 12月3日 **国土開発幹線自動車道建設審議会**が、第2東名・名神(490km)など21路線を整備計画路線に昇格した、**第2名神は亀山市～城陽市間68kmで1993年(平成5年)着工見込み**

■ 12月21日 **北川ダム建設事務所新築工事竣工**、朽木村市場、(鉄骨ALC2階建て、延べ床面積585.72㎡、1階、294.37㎡、書類保管庫、採取コア保管庫、食堂、宿直室、2階、279.95㎡、事務所、電算室、会議室等、請負額1億1,618万円)、平成3年3月着工

■ 1月29日 JR琵琶湖線の瀬田～草津間5.1kmの中間点に設置される**新駅(南草津駅)が1994年(平成6年)秋開業**と決まった、新駅建設費は約30億円、JRも駅舎建設費の一部を負担

■ 1月30日 水資源開発公団が建設してきた大津市大萱～守山市木の浜間14.7kmの湖岸堤・管理用道路が完成、湖辺7区間の**湖岸堤・管理用道路は着工以来17年間で全線完成**、(延長約L=50.4km、幅員W=15.0m(車道6.5m))

■ 2月5日 **県道草津伊賀線(三雲トンネルを含む)開通**、甲西町三雲字堂之上から岩坂字東風代まで、L=2,490.0m(うち三雲トンネルL=900m、幅員9.0m監査歩廊含む(車道6.5m)、三種二級、設計速度50km/h、内空断面積46.353㎡、掘削工法NATM(上部半断面先進工法)、工事費、22億5,000万円)、道路改良(バイパス)事業の完成による新道の供用開始、1970年(昭和45年)着工以来22年目に全面開通、トンネル上部に古墳時代の横穴式石室がある

政府が**琵琶湖総合開発特別措置法**の1992年(平成4年)からの**5箇年間延長**を、閣議で決定

長浜ドーム新築工事竣工

■ 3月3日 長浜市田村町、S造・RC造2階、延べ床面積1万5,122.92㎡、総請負額51億6,030万円
平成元年12月着工



■ 3月3日



大津合同庁舎新築工事竣工

大津市松本1丁目、SRC造地下1階地上7階、延べ床面積1万1,186.86㎡、総請負額41億991万円
平成2年7月着工

■ 3月9日

彦根球場新築工事竣工、彦根市松原町、(S造・RC造2階、延べ床面積1万170.15㎡、総請負額25億6,563万円)、平成3年3月着工

■ 3月31日

長沢川小規模河川河川改修事業琵琶湖総合開発区間完成、大津市瀬田大萱～大將軍、(延長L=2.0km、流域面積2.25km²、超過確率宇1/100、計画高水流量60m³/s、事業内容、築堤2万740m³、護岸1,650m、事業効果、氾濫防止面積70ha、家屋80戸、全体計画事業費2億5,000万円)、昭和45年着工、昭和46年6月8日認可

- 3月31日 **安曇川中小河川改修事業琵琶湖総合開発区間完了**、安曇川町北船木・南船木、(施行延長L=2,800m、南流1,300m、北流1,500m、流域面積342.3km²、超過確率1/100、計画高水流量2,100m³/s、事業費30億2,900万円)、全体計画延長、左岸L=8,293m、右岸6,668m、安曇川町常盤木まで、昭和32年度着手、昭和38年12月5日認可
- 3月31日 **葉山川中小河川改修琵琶湖総合開発区間事業完成**、草津市下笠～小柿、(延長L=6.6km、流域面積23.37km²、超過確率1/50(暫定1/15)、計画高水流量320m³/s(暫定200m³/s)事業効果、氾濫防止面積700ha、家屋5,400戸、鉄道7.9km)放水路、河積拡大、流路整正、支川、伊佐々川、中の井川、全体計画延長L=8,400m、栗東町上鉤まで、全体計画事業費見込み額17億8,000万円、昭和43年3月7日認可、昭和39年度着工
- 3月31日 **守山川中小河川改修事業琵琶湖総合開発区間完成**、(延長L=2.5km、流域面積8.52km²、超過確率1/50、計画高水流量155m³/s(暫定))
- 3月31日 **和田内川小規模河川改修事業琵琶湖総合開発区間完成**、高島町萩の浜～高島町宮野、(延長L=2,400m、流域面積6.69km²、超過確率1/17、計画高水流量100m³/s、事業費15億2,280万円)、昭和53年着工
- 3月31日 **藤の木川小規模河川改修事業琵琶湖総合開発区間完成**、大津市下阪本、(延長L=1,290m、流域面積1.61km²、超過確率1/50、計画高水流量40m³/s、事業内容、掘削4万3,705m³、護岸2,219m²、床固め15基、橋梁10箇所、全体計画事業費19億8,000万円)、昭和41年度河川局部改良事業着工
- 3月31日 **琵琶湖開発事業に関する水利権(40m³/s)が下流利水者に対して認可**され、平成4年4月1日から新規水供給(概ね27m³/s)が開始された
- 3月31日 **建設省が瀬田川洗堰の操作規則を制定**。洪水時のゲート開閉の運用方法や、琵琶湖の常時満水位を基準水位プラス30cmとすること、また供給可能な最低水位をマイナス1.5mとするなどと規定。これにより大阪・兵庫は計最大毎秒40トン of 新規水供給を受けることになった。これまで操作規則の無かった洗堰は、88年目にルールが決まった。(建設省訓令第1号)、4月1日施行
- 3月31日 **滋賀県下水道普及率30.5%** 全国平均普及率45%滋賀県下水道普及率30%を越える

平成4年(1992年)度

記 事

- 4月1日 土木部内に公共工事環境対策のため**環境管理監を配置**、併せて**環境対策チームを設置**、公共工事の環境対策の手引き「工事編」案、「みず編」案の作成を行う
- 4月1日 **びわ町公共下水道供用開始**(東北部処理区)
- 4月1日 滋賀県訓令第10号
空港整備推進本部に空港整備局を置く、整備局に空港整備課および空港整備事務所を置く
土木部長を「土木部長 空港整備を担当する理事」に改める
八日市土木事務所長を「八日市土木事務所長、空港整備事務所長」に改める
- 4月1日 **草津川、大津放水路を指定区間外区間として直轄管理に編入**、併せて放水路事業の確かな実施と施行を図るため直轄施行に変更
- 4月17日 **国道1号土山拡幅供用開始**、土山町山中～土山町北土山間、(延長K=4.9km、全線4車線、田村橋拡幅を含む)、鈴鹿峠の坂道を拡幅、昭和42事業着手、当初3車線化で進めていたが、昭和46年から全体計画の4車で施行

栗栖ダム建設事業採択

- 4月



栗栖ダム、ダムサイト

- 4月 **設計便覧、土木工事共通編(第2版)作成**
- 4月 **【国直轄】丹生ダムの建設に関する基本計画の告示**
- 5月15日 **びわ湖子供の国新築工事竣工**、安曇川町北船木、(S造・RC造2階、地下1階、延べ床面積5,542.53㎡、総請負額24億8,333万円)、平成2年12月着工
- 5月22日 大津市木の岡町の琵琶湖畔で23年間野ざらしになっていた、**11階建て、高さ36.4mのホテルが爆破解体**された。爆破はビルに仕掛けられた2,600本、計260キロのダイナマイトで、10秒足らずで終了。
- 5月25日 **国道307号**、愛東町妹字宮村から八日市市寺町字里ノ西まで、L=742.0m、道路改良(現道拡幅及び春日橋(延長L=162.8m、総幅員W=12.0m、鋼橋)架け替え、)事業完成に伴う新道の供用開始
- 5月28日 **「第11次道路整備五箇年計画」**閣議決定、総事業費76兆円、うち地方単独25兆2,000億円
- 6月1日 湖南中部流域関連**公共下水道、能登川町供用開始**、事業着手、昭和61年度
- 6月26日 **社団法人滋賀県土木施工管理技士会設立**
- 6月 **業務委託必携(測量・土質調査・設計)作成**
- 8月1日 **滋賀県職員の完全週休2日制がスタート**した、土曜閉庁になったのは340機関のうち221機関、本庁や県事務所など185機関は完全閉庁
- 8月1日 湖南中部流域関連**公共下水道、石部町供用開始**、事業着手、昭和60年

- 8月1日 滋賀の河川や琵琶湖の取り組みを一般県民に知ってもらうため、「びわこ文化講演会(びわこルネッサンス)」が外輪船ミシガン上で大々的に開催される

- 8月5日にマーシャル諸島で発生した熱帯低気圧は、西北西に進み、6日15時に同海域で**台風11号**となった。15日には父島東海上で進路を北北西変え、18日21時前に中型の弱い勢力で宮崎県と大分県付近に上陸したのち、その後も進路を北北西に取り、19日2時半頃宇部市付近に再上陸後、山口県沖で熱帯低気圧となった。
- 8月18日～20日 滋賀県では、18日早朝から雨が降り始め、湖東や南部の山間部を中心に雨量が多く、18日から20日にかけての降水量は土山284mm、荒川226mm、信楽222mmであった、中でも**大津市葛川では総雨量647.5mm、最大24時間雨量451mm、最大時間雨量39mm**というこの地域では近年無い大雨を記録した。
土木関係被害は、道路45箇所、橋梁1橋、河川42箇所、砂防2箇所、崖崩れ8箇所の被害金額9億2,809万円となった。

安曇川は19日の夕方から増水し、16時00分には中村橋では3.30m(警戒水位3.00)となった為、水防団が出動し、水防活動が行われた。被害状況は20日11時半頃、大津市葛川坂下町の足尾谷の通称促谷の南側斜面が高さ300m、幅50mに渡って崩れ土石流が発生した。約1万m3の土砂は130m流れ下り、ふもとの国道367号を厚さ5mも埋めたうえ、隣接する安曇川にも流れ込んだ。**大津土木事務所などは、鉄砲水が発生する恐れがあると住民に緊急避難を呼びかけ、**4地区69世帯116人が市民センターに避難した。****



- 8月18日～20日



斜面ザンクワリ
大津北部で土砂崩れ
大津市の北部山間地・島無線も通じない地区で、川地区で20日、通称・足時、陸の孤島化する懸き谷山(標高580m)の斜面が崩れ、土砂が国道367号をかき、国道わきの安曇川に流れ込んだ。同川の増水、鉄砲水の恐れがあるため、付近の住民が夕方まで近くの学校などに避難した。電話線が切断され、

- 8月20日 **今津土木では県から、安曇川で鉄砲水の恐れがあるとの連絡で、道路パトロール車など2台で下流安曇川から待避するよう拡声器で呼びかけた**

- 8月21日 **琵琶湖総合開発の変更(平成8年までの延長、総事業費1兆8,635億円)を、内閣総理大臣が決定**

- 8月 **第8次治水事業五箇年計画(H4~8)策定、17兆5,000億円、うち地方単独2兆6,000億円**

- 9月1日 **湖南中部流域関連公共下水道、水口町供用開始、事業着手、昭和59年度**

- 10月19日 **県道北船木勝野線、安曇川町南舟木字田東から四津川字柿ノ木まで、L=1,000.0m、供用開始**

- 10月27日 **高島浄化センター建設工事に着手**

- 11月20日 **ふるさと農道(雪野山トンネルを含む)が完成、近江八幡市、八日市市、竜王町、蒲生町にまたがる道路で蒲生野歴史街道整備事業で建設、(延長2.5km、トンネル延長L=507m)、事業費32億8,000万円**

県道栗東志那中線

栗東町荻原字南代から
霊仙寺字堂田まで、
L=753.0m、



緊急地方道路整備事業（踏切除却）
⑤栗東志那中線（石原踏切）（栗東町）

■ 11月20日

石原跨線橋

延長L=185.7m、
総幅員W=8.0m、
PC橋

竣工に伴う供用開始

■ 2月8日

県道山松尾線、水口町山字西村2851、2852合併地先から松尾字出口まで、
L=1,900.0m、道路改良（バイパス）事業の完成による新道の供用開始

■ 2月17日

県道近江八幡蒲生線（現、土山蒲生近江八幡線）、蒲生町川合字大屋から市子殿字茶屋前まで、L=370.0m、**川合橋（橋長L=120.9m、総幅員W=11.5m、PC橋）架け替え**に伴う供用開始

■ 2月19日

心行路川砂防堰堤完了（H=10.5m L=41.5m H3～H4）

■ 2月22日

県道四津川鴨線、高島町鴨字傍示から字塚町まで、L=640.0m、**藤樹橋（橋長L=93.5m、総幅員W=8.7m（全幅7.5m）、単純合成鉄桁橋、3径間）架橋**に伴う供用開始

■ 3月10日

余呉湖水質浄化のため、間欠式空気揚水筒装置2基設置、（直径50cm、長さ6mのステンレス製筒4本の構造）、湖底13mの最深部に設置し空気による湖水循環を起こして浄化

■ 3月12日

滋賀県立武道館新築工事竣工、大津市におの浜4丁目、（RC造5階、延べ床面積1万691.97㎡、総請負額49億4,983万円）、平成3年7月着工

■ 3月13日

大津港旅客ターミナルが新装完成、（鉄筋2階建て延べ面積3,000㎡）、着工、平成4年7月、大型船接岸が出来る棧橋も完成

■ 3月15日

県道栗見八日市線、能登川町栗見出在家字四ノ割から福堂字北聖野まで、
L=1,360.0m、道路改良（バイパス）事業の完成による新道の供用開始、重用、彦根近江八幡線L=550.0m

■ 3月19日

県道徳原内池線、日野町下駒月字野添から深山口字田中まで、L=2,083.0m、道路改良（バイパスおよび現道拡幅）事業の完成による供用開始

■ 3月25日

山王谷川砂防堰堤完成、高島町勝野、（コンクリート重力式、提高14.5m、提頂長97.0m、提体積8,406m³、計画堆砂量1万4,150m³、事業費3億8,579万円）

■ 3月26日

県道大津能登川長浜線、近江八幡市加茂町字南代785-1から加茂町3775まで、
L=1,270.0m、道路改良（バイパス）事業の完成による新道の供用開始

■ 3月28日

成安造形大学開学、大津市仰木町

■ 3月28日～
29日

冬季の季節風（北西風）による波浪で琵琶湖の北湖東岸に大規模な侵食災害が発生（風浪災）。守山なぎさ公園、マイアミ浜、新海浜、さいかち浜など5カ所、土木研究所の宇多室長の指導に基づき対策検討、突堤と養浜を基本とした災害復旧が行われる

■ 3月31日

新しい淡海文化の創造への取り組みの一つとして、（人と自然にやさしい建設工事）の実現を目標に、平成4年度に「**公共工事の環境対策の手引き**」として「**工事編**」（案）、「**みず編**」（案）を作成した

■ 3月31日

滋賀県下水道普及率**33.9%** 全国平均普及率47%

■ 3月

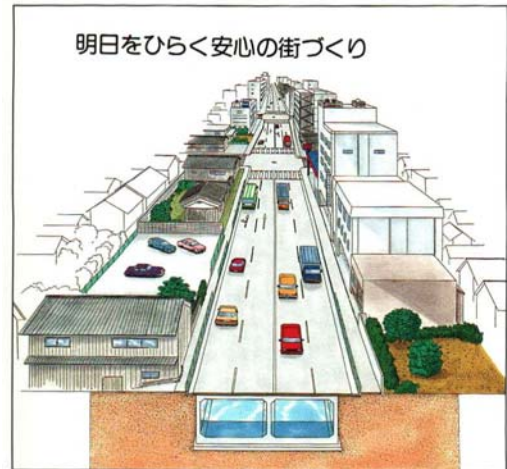
国道1号逢坂山防災工事完成、大津市逢坂1丁目～大谷町、通行規制区間解消のため、登坂車線を含む3車線供用

常世川中小河川改修事業全体認可を得る
大津市中央4丁目・琵琶湖岸～逢坂間、
(施工延長L=1.0km、流域面積A=2.5km²、
超過確率1/100、高水流量60m³/s、

事業内容

掘削4,600m³、護岸工1,370m、
2連ボックスカルバート、延長L=450m、
事業効果 氾濫防止面積A=37.5ha、
家屋2,850戸、
総事業費予定32億5,500万円)
全体計画に基づいて、昭和44年6月に
開削水路(矢板工)延長L=80m、
ボックスカルバート延長L=150mを
小規模河川改良事業として着工済み

常世川中小河川改修事業



滋賀県土木部

大津土木事務所

平成5年(1993年)度

記

事

- 4月1日 **道路課舗装保全係を改編し、交通安全施設係を設ける**
- 4月1日 **河港課に新たに河川環境係を設置し、河川防災係と災害係は統合して防災係とする**
- 4月1日 **都市計画課の街路区画整理係は、街路係と区画整理係に分離する**
- 4月1日 **木之本、今津土木事務所に技術次長を配置**
- 4月1日 **国道昇格477号(三重県四日市市～大阪府池田市間197km)、県内区間L=65.7km**
- 5月28日 **第3次急傾斜地崩壊対策事業五箇年計画(閣議決定)、平成5年～9年、総額総額5,800億円**
- 5月31日 水資源開発公団が行った琵琶湖開発事業に(社)土木学会から「土木学会技術賞」が送られた、1973年度から91年度迄の総事業費は3,500億円
- 5月 **「積雪寒冷特別地域道路交通確保五箇年計画」閣議決定**
- 5月 **「奥地等産業開発道路整備計画」閣議決定**
- 6月10日 **ラムサール条約登録湿地として、琵琶湖周辺の6市15町、6万5,602haが指定された**
- 6月15日 **国道161号高島バイパス、安曇川町青柳～鴨地先(小浜朽木高島線交点)間L=1.4kmの暫定供用を最後に測道も含め全線開通、今津町引川～高島町打下間、(延長L=15.3km)、**
- 6月16日 滋賀県琵琶湖におけるマリーナ指導要綱を定める(告示第350号)
- 6月23日 **滋賀県立水環境科学館開館**
- 6月 **設計便覧、道路編(第2版)作成**
- 8月5日 **【国直轄】高時川に建設省が計画している「丹生ダム」の損失補償基準妥結調印式が県庁で行われ、近畿地建と地元代表が調印した、堤高145m、総貯水量1億5,000万m³の近畿最大の多目的ダム、総事業費1,100億円、家屋移転42戸、地権者163人**
- 8月11日 高島郡内6町村で「琵琶湖・若狭湾リゾートライン鉄道建設促進期成同盟会」(会長:今津町長)設立
(14年6月新線の名称を「琵琶湖若狭湾快速鉄道」に変更)
(高島市発足に伴い現在は「琵琶湖若狭湾快速鉄道建設促進協議会」(会長:前今津町長))
- 9月1日～5日 **台風13号の南風に伴う風浪により湖西岸で大規模な侵食災害が発生(風浪災害)、萩の浜、近江舞子浜、外ヶ浜など4カ所が被災、東岸に引き続き災害申請し、突堤と養浜による災害復旧が行われる**
- 9月28日 **(財)琵琶湖・淀川水質保全機構設立、三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・京都市・大阪市・神戸市で組織する財団法人を設立し、河川・湖沼水の水質浄化技術及びこれに関連する技術の開発などを支援することにした**
- 10月15日 **県道丁野虎姫長浜線、虎姫町五村字内畑から大井字甲津まで、L=635.0m、新大井橋(橋長L=202.2m、総幅員W=10.8m、PC橋)竣工に伴う、バイパスおよび橋梁の供用開始**
- 11月1日 **県道彦根近江八幡線、彦根市八坂町字頭無から字宮西まで、L=354.0m、犬上川橋(延長L=162.0m、総幅員W=14.3m、鋼橋)、災害復旧事業の完了に伴う供用開始**
- 11月2日 県は、琵琶湖博物館の入札で制限付き一般競争入札を導入することを決定。県下初の一般競争入札
- 11月11日 **大川荒廃砂防事業、志賀町木戸、砂防ダム竣工、(重力式コンクリート、堤高14.5m、堤長78m、事業費2億1,838.1万円)**

記 事

-
- 11月19日 **第2名神高速道路(亀山市～城陽市間68km)に建設大臣が施行命令**、県内区間は51km、開通見込みは10年後を予定
-
- 2月4日 **県道泉日野線**、日野町中山字庄部から三十坪字野辺まで、L=3,360.0m、道路改良(現道拡幅)事業および**明治橋竣工(延長L=125.2m、総幅員W=10.8m、鋼橋)**に伴う供用開始
-
- 2月9日 **ヨシ群落保全審議会**は、ヨシ群落保全条例の対象地区に、新たに保全地域として、**守山市木浜の琵琶湖岸1箇所と、彦根市曾根沼、湖北町野田沼、今津町貫川内湖など5箇所を追加指定するよう知事に答申**した。昨年、保護地区、保全地域、普通地域で計229haが指定済み
-
- 3月30日 **国道367号道路改築事業**バイパスルート(1工区)一部供用開始、大津市葛川坂下町字アシビ谷から葛川中村町字イヤチドリまで、L=2,788.0m、W=8.0m(車道6.0m)、規格、三種三級、設計速度40km/h、坂下トンネル、(伊勢橋(橋長L=70.0m、総幅員W=9.2m、鋼橋)ほか2橋、昭和63年度着工
-
- **四手川大型砂防ダム完成** 多賀町四手、(重力式ダム、ダム高さH=21.0m、堤長L=110.0m、コンクリート量1万8,600m³)、堆砂までの間は水溜ダム、平成2年着工
-

平成6年(1994年)度

記 事

- 4月1日 **道路課、第2名神自動車道促進担当が高速道路対策室に昇格**
- 4月1日 **【水公団】丹生ダムについて、水資源開発公団(現水資源機構)が事業を継承**
- 4月1日 **滋賀県生物環境アドバイザー制度を創設し、試行も行う。
「公共工事の環境対策の手引き」の「みち編」(案)、「まち編」(案)の運用開始**
- 4月1日 **建設技術センターで設計積算・施工管理業務の受託、市町派遣研修生の受け入れを開始**
- 4月1日 **県道大津守山志賀自転車道線、志賀町荒川字栄から北小松字宮ノ南まで、
L=4,828.0m、供用開始**
- 4月20日 **県道世継宇賀野線、近江町世継字中瀬から飯字久田二まで、L=2,060.0m、母の郷跨線橋竣工(延長L=279.6m、総幅員W=10.8m、PC橋)に伴い新道の供用開始、重用、大津能登川長浜線他1路線、L=350.5m**
- 4月28日 **国道306号、多賀町大君ヶ畑字柳谷から字奥山、L=1,562.5m、(彦根市～三重県津市間延長96km)の滋賀県内分約22.7km(彦根工区3,508m、多賀佐目工区8,928m、大君ヶ畑工区5,930m、鞍掛工区4,352m)のうち、大君ヶ畑工区で残っていたL=1,562.5m、W=8.0m(車道6.0m)が完成、昭和35年着工以来34年振りに**全線が完成**、総事業費県内分106億円**
- 4月28日 **県道大津能登川長浜線、草津市野路町字アイツリ谷から岡本町字南平まで、
L=2,247.1m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う新道の供用開始**
- 4月 **西の湖河川環境整備事業着工、近江八幡市・安土町常楽寺、(低質改善対策・低泥浚渫、面積、73万3,000㎡、V=14万7,000m³、全体事業費、約20億円)**
- 6月1日 **湖南中部流域関連公共下水道、蒲生町供用開始、事業着手、昭和62年度**
- 6月26日 **第13回知事選挙、第48代県知事に稲葉稔氏(64才)再選**
- 6月 **一般土木工事等工事必携作成**
- 7月1日 **武村正義氏大蔵大臣に就任**

- 7月26日 **国道477号、琵琶湖大橋四車線化工事供用開始、大津市真野二丁目～守山市水保町、(橋梁部、橋長1,400.4m、三種二級、橋格1等橋(TL-20)、全幅11.5m(車道6.5m、自歩道3.0m)、最急縦断勾配5.0%、上部工型式、航路部、.3径間連続鋼床版箱桁・1連、一般部、5径間連続非合成鉄桁・5連、単純プレテンPC桁・1連、下部工型式、ラーメン橋脚・12基、壁式橋脚・11基、張り出し式橋脚・5基、逆T式橋台・2基、基礎工型式、井筒型鋼管矢板基礎(φ800～φ1,100)26基、鋼管杭基礎(φ1,200)4基、道路部、四種一級、大津側取付道路、915.7m、守山側取付道路、668.0m、全幅員、24.0m(車道3.25m+3.25m、自歩道2.75m、植樹帯1.25m)×2+中央帯2.0m)、旧琵琶湖大橋(L=1,350m)は1964年完成、新橋は大津側で桁下空間を駐車場に利用するため40m延長すると共に、守山側では軟弱地盤対策のため10m延長して橋台を設置。また基礎については、旧橋の多柱式鋼管杭基礎を、耐震設計指針の変更により、フーチング寸法を旧橋と同じにするため、鋼管矢板井筒基礎に変更した。また上部工旧橋の単純合成鉄桁を、走行性、耐震性および経済性を考慮し、5径間連続非合成鉄桁に変更した。また航路部中央に展望所としてバルコニーを設けた。料金所、関連公共事業、草津守山線L=0.9km、車道W=6.5×2、自歩道W=2.0m両側、大津能登川長浜線L=1.8km、W=6.5m、自歩道W=2.0m(両側)、橋梁、**近江富士大橋L=417.2mも新設**、平成元年7月21日事業着手**

この30年間で交通量が10倍以上に激増したため1989(平成元)年7月21日から事業着手、以来7年間事業費は約274億円



■ 8月1日 **国道477号、近江八幡市野村町字村ノ内から字野ヶ崎まで、L=1,300.0m、野村橋(橋長L=166.0m、総幅員W=10.8m、PC橋)の完成**に伴う供用開始、重用、大津守山近江八幡線L=1,112m

■ 9月4日 **南草津駅が完成、開業**、草津市野路町、橋上駅舎で京滋初の乗降客用エレベーター3基を設置、東海道線の県内駅では21番目

■ 9月13日 **琵琶湖水位マイナス121cm**となり、県は8月9日に設置した「渇水対策本部」を改組し「**異常渇水対策本部**」とした

**琵琶湖水位が
観測史上最低の
-123cmを記録**

■ 9月15日



■ 9月16日 **殿田川(大津市)災害関連事業採択**、大津市大萱七丁目、(延長L=388.5m、川幅10.1m、河床勾配1/800、流域面積1.1km²、規模1/10、流量17.0m³/s、当初決定事業費2億3,021万円、災害費1億1,727万円、関連費1億1,294万円)

■ 9月16日 **殿田川(草津市)災害関連事業採択**、草津市新浜町、(延長L=385.0m、川幅10.1m、河床勾配1/800、流域面積1.1km²、規模1/10、流量17.0m³/s、当初決定事業費2億2,382万円、災害費1億1,090万円、関連費1億1,292万円)

■ 9月16日～17日 南海上の前線を伴った低気圧に、太平洋からの暖湿流が入り、近畿では大気の状態が不安定となり**16日から17日にかけて大雨**となった。16日早朝より、最大時間雨量は土山町(土山)で52mm、日野町(日野)で47mm、水口町(水口)で42mmを記録したのを始め、湖西地方のマキノ町(マキノ)においても45.5mmを記録した。最大24時間雨量でも、土山で181mm、日野で161mm、水口で179mm、マキノで111mmの雨を記録し、総雨量では、前記名観測所で153mmから258mmを記録する豪雨となった。出水状況は、大戸川旭橋最高水位2.35m(警戒水位2.30m)、日野川桐原橋最高水位3.49m(警戒水位3.00m)となった。住家被害は、**床上浸水(長浜市42、八日市市10、日野町5、栗東町1)は計58棟**に上った。土木関係被害は、道路17箇所、河川17箇所、崖崩れ1箇所、被害金額は13億8,550万円に上った。今回の**降雨により、琵琶湖水位はマイナス91cmとなり、先月27日以来のマイナス1.0m以下に回復**

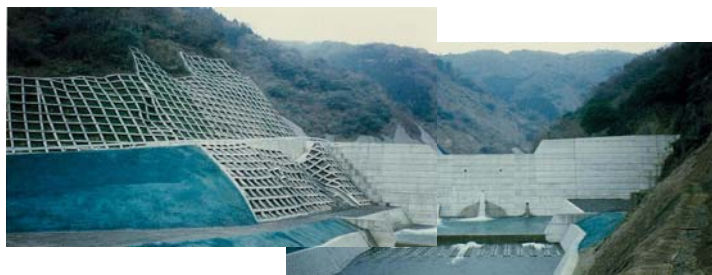
■ 9月28日～30日 グラム島南西海上で発生した**台風26号**は、27日南大東島の近海に達し、29日まで大型で強い勢力を保った後、29日19時半和歌山県南部に上陸した。上陸後は近畿地方から北陸地方を通り、30日3時には日本海に抜けた。滋賀県では、**29日夕方から夜半にかけ、1時間20～50mmを超える豪雨**となり、連続降水量は春照278mm、霜ヶ原276mm、土山204mmを記録した。出水状況は、野洲川、杣川、日野川、愛知川、姉川では警戒水位を超え水位が上昇したため水防警報を発令し水防団が警戒にあたった。その他、佐久良川、犬上川など多くの川で警戒水位を超えた。この様ななか永源寺町を流れる**蛇砂川で、天井川部分の堤防が決壊**したのを始め、日野町の佐久良川、能登川町の愛知川、彦根市の犬上川など多くの河川で河岸が決壊して大きな被害を受けた。道路においても、多賀町の国道306号では、大規模な法面崩壊が起きるなど各所で大きな被害が発生した。**住家被害は、半壊3棟、一部損壊248棟、床上浸水(長浜市、山東町)5棟、床下浸水282棟**など。土木関係被害は、道路215箇所、橋梁5橋、河川177箇所、砂防3箇所、被害金額は33億8,781万円に昇った。また今回の降雨で、琵琶湖水位はマイナス55cmまで上昇

■ 9月28日 **高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律(ハートビル法)が施行される。**

- 9月29日～30日 **佐久良川災害関連事業採択**、日野町中之郷、(延長L=695m、川幅20.3m(27.0)、河床勾配1/300、流域面積11.5km²、規模1/20、流量130m³/s、当初決定事業費4億6,537万円、災害費2億2,850万円、関連費2億3,687万円)、竣工平成8年度
- 9月29日～30日 **上矢倉川(彦根市)災害関連事業採択**、彦根市荘巖寺町、(延長L=1,212.0m、川幅8.8～6.6m、河床勾配1/150～1/75、流域面積3.56km²、規模1/10、流量45m³/s、当初決定事業費3億8,686万円、災害費2億1,044万円、関連費1億7,642万円)
- 10月 **姉川ダム請負契約締結**
- 10月 **【国直轄】大戸川ダム損失補償基準妥結調印**
- 1月13日～15日 **冬型の気圧配置が強まり、14日には大雪**となった。15日の積雪深は柳ヶ瀬82cm、今津61cm、春照36cm、彦根46cm、近江八幡50cm、蒲生35cm、土山20cmとなった。13日5時半に発表された強風・風雪注意報は大雪警報・雪崩注意報などに連日更新され16日まで継続された。
- 1月17日 **兵庫県南部地震(阪神大震災)**、5時46分に淡路島北部を震源とするM7.2の地震が発生した。神戸と洲本で震度7、彦根、京都、豊岡で震度5を観測したほか、東北地方南部から九州にかけて有感となった。震度7は昭和23年の福井地震を契機に制定された震度であるが、制定後震度7が観測されたのは今回が初めて。被害は極めて甚大で、平成12年1月現在の自治省消防庁の調べによると、人的被害は、**死者6,432人、負傷者4万3,782人**にのぼり、**全壊家屋10万4,900棟、半壊家屋14万4255棟**におよび、**今世紀の地震災害としては、大正12年(1923年)の関東大震災に次ぐ物**となった。滋賀県内では、負傷者9人の他、鉄道や道路の一時不通、断水、停電、ガス漏れ等の被害があった。
- 1月17日 **兵庫県南部地震緊急対策本部設置**(閣議決定)
- 1月19日 **UNEP国際環境技術センター滋賀新築工事竣工**、草津市下物町、(RC造、地下1階地上2階、延べ床面積3,017.69m²、建築請負額14億6,379万円、電気・機械設備請負額4億5,320万円)、平成5年7月着工
- 1月21日～2月6日 阪神淡路大震災による**被災建築物の応急危険度判定業務**のため、建築職員を被災地へ派遣。のべ88名
- 1月30日～2月1日 能登半島上空の低気圧が東進して上空に寒気が入り、強い冬型の気圧配置となり**2月1日にかけて大雪**となった。柳ヶ瀬122cm、今津62cm、虎姫80cm、春照80cm、彦根41cmなど北部中心の雪となった。**名神高速道路彦根～竜王間通行止め、北陸自動車道路木之本～敦賀間通行止め**となった。
- 2月8日 **県道山東本巣線**、伊吹町曲谷字安場から字中窪まで、L=1,000m、姉川ダム建設工事に伴う県道付け替え(バイパス)工事の完成による供用開始
- 2月25日 **国道161号西大津バイパス供用開始**、大津市下阪本2丁目～南志賀1丁目間、(延長L=3.0km、4車線)、南志賀1丁目穴太廃寺遺跡が見つかり、掘り割り構造から低高架構造に変更し施行
- 3月1日 **「阪神・淡路大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」**公布
- 3月3日 **【水公団】丹生ダムが水源地域対策特別措置法に基づき地域指定**される
- 3月17日 **滋賀県個人情報保護条例**公布

百瀬川砂防堰堤工事完成

- 3月20日 今津町深清水
コンクリート重力式、
ダム高さH=20.0m、
堤長75.0m、
コンクリート量1万9,321m³、
計画堆砂量16万7,900m³、
事業費8億1,808万円
平成3年着手



滋賀県立大学新築工事竣工

彦根市八坂町、
管理棟：

RC造・SRC造・S造3階
延べ床面積2万1,430.66㎡
総請負額88億3,133万円
平成3年10月着工

人間文化学部棟：

RC造3階
延べ床面積3,476.27㎡
総請負額14億9,113万円
平成5年10月着工

工学部棟：

第1工区：RC造3階、延べ床面積5,041.64㎡
第2工区：RC造3階、延べ面積3,633.59㎡、
総請負額33億7,681万円、平成6年1月着工

環境科学部棟(第1期)：

RC造3階、延べ床面積4,060.24㎡、総請負額31億9,889万円、平成5年10月着工、

体育館：

S造・RC造2階、延べ床面積3,917.31㎡、総請負額11億7,578万円、平成6年3月着工



■ 3月21日

**北川第一ダム建設事業に関する
基本協定書を締結**



■ 3月22日

■ 3月27日 **国道1号水口道路1工区4車線供用開始**、土山町大野～水口町水口(307号交差点)、
(延長L=3,900m)

■ 3月31日 **白鳥川中小河川改修事業総区間完成**、近江八幡市牧町～千僧供町、(延長
L=6.3km、流域面積33.1km²、超過確率1/50(暫定1/12)、計画高水流量420m³/s(暫定
150m³/s)、全体計画事業内容、築堤10万2,000m³、護岸3,631m²、床固工5基、道路橋
26橋、事業効果、氾濫防止面積2,450ha、家屋2,010戸、全体計画延長L=8,440m、事業
費見込額C=14億3,000万円)

■ 3月31日 **八日市土木事務所の災害河川改修工事課を廃止**(愛知川・日野川災害助成事業の完
成による)

■ 3月31日 **滋賀県下水道普及率39.3%** 全国平均普及率51%

■ 3月31日 **近江大橋有料道路改築工事の完了公告**、近江大橋二期工事完成
路線名、県道草津守山線(近江大橋有料道路)
工事の区間、草津市矢橋町字名林から草津市御倉町字素足まで
種類、改築、完了の日、平成7年3月31日、供用開始、平成7年4月1日

■ **杉川砂防流路工完成**、甲賀町、(延長L=2,620m、)、昭和62年着工

平成7年(1995年)度

記 事

- 4月1日 湖南中部流域関連**公共下水道、日野町供用開始**、事業着手、昭和60年度
- 4月1日 東北部流域関連**公共下水道、米原町、多賀町供用開始**、事業着手、昭和63年度
- 4月1日 **阪神淡路大震災による災害復旧事業支援のため、土木技術職員を兵庫県、西宮市、芦屋市に長期派遣**(H9年度末まで)。のべ5名
- 4月1日 **開発許可制度の市町への権限移譲拡大**(大津市、市街化調整区域内)
- 5月8日 **県道山東本巢線**、伊吹町曲谷字石ノ取から字向手まで、L=2,615.0m、姉川ダム建設工事による県道付け替え(バイパス)工事の完了に伴う供用開始、**寺越トンネルL=606m、堂屋敷トンネルL=465m**、両トンネル共通、車道2車線、W=5.50m、自歩道W=1.50m、監査歩廊W=0.75m、高さH=6.10m、**寺谷大橋(橋長L=107.0m、総幅員W=9.8m、PC橋、電熱による消雪装置)**
- 5月11日～15日 四国沖に発生した低気圧が近畿地方南岸をゆっくり東進したため、12日は日降水量で、荒川、土山が200mmを超え、11日から15日までの**総雨量は今津293mm、荒川395mm、彦根221mm、近江八幡247mm、大津263mm、信楽280mm、土山353mm**となった。出水状況は、日野川仁保橋最高水位3.48m(警戒水位2.5m)、大戸川旭橋最高水位3.03m(警戒水位2.3m)、日野川安吉橋最高水位3.75m(警戒水位3.0m)、日野川桐原橋最高水位4.20m(警戒水位3.0m)となり、日野川他4河川で水防警報を発令し、**県・市町村を始め地元水防団が警戒にあたった**。また小河川は溢水し家屋の浸水や低地の浸水など発生した。住家被害は**床下浸水39棟**、田畑の被害は、**流失・埋没2.6ha、冠水79.3ha**にあがった。土木関係被害は、**道路101箇所、河川159箇所、港湾1箇所、砂防1箇所、崖崩れ47箇所**にのぼり、**被害金額は22億7,408万円**となった。
- 5月15日～26日 **平成4年の洗堰操作規則制定以後、6月15日以前に行った、初の全開放流**。琵琶湖水位B.S.L+93cm
- 5月16日 5月の**観測史上第1位の降雨(349mm)**により、**琵琶湖水位は、+93cm**を記録
- 5月22日 **国道161号湖北バイパス暫定供用開始**、今津町日置前～弘川間、(延長L=1.5km、暫定2車線・高架)
- 6月 **大津放水路起工式**、大津市石山寺～竜が丘、(延長L=4.7km、流域面積9.6km²、計画高水流量290m³/s、計画規模1/100)、
- 8月19日 **SL北びわこ号(北陸本線米原～木ノ本駅間)運行開始**
- 8月21日 **県道野洲中主線**、野洲町中北字光堂から中主町西河原字下曾根まで、L=2,048.0m、**新童子川橋(橋長L=54.5m、総幅員W=15.3m、PC橋)**、道路改良(バイパス)事業の完成による新道の供用開始
- 8月 **【水公団】丹生ダムの、水源地対策特別措置法に基づく水源地域整備計画が決定**
- 8月 **湖東・大阪線(仮称)鉄道建設期成同盟会設立**(3市14町)。
- 9月1日 **県道大津能登川長浜線**、野洲町野洲字登り橋から市三宅字七ノ井まで、L=1,640.4m、**近江富士大橋(橋長L=417.2m、総幅員W=12.8m、PC橋)**の完成に伴う新道の供用開始

道の駅「マーガレットステーション」開駅 愛東町

- 10月15日



都市公園設置公告

- 12月11日
 1. 名称、琵琶湖湖岸(新海他5カ所)緑地
 2. 位置、彦根市新海町地先他5カ所
 3. 供用開始の期日、平成7年12月11日

- 12月20日 **大津駅前市街地再開発事業事業認可**、大津市逢坂一丁目、(面積0.6ha、組合施行)施工期間、平成7～11年

- 1月22日 **国道422号**、信楽町宮尻字林ノ垣外から字上ノ垣内まで、L=1,140.0m、道路改良(バイパス)事業の完成による**新道の供用開始**

防災エキスパート制度発足

- 1月

これまで公共土木施設の整備、管理等に長年携わり、一定のノウハウを持った人達に被災した公共土木施設等のスピーディーな被害情報の収集などにボランティアとして協力してもらう制度

- 3月2日 **県道山東本業線、融雪による道路法面崩壊災害**、伊吹町甲賀、H15m×W25m、崩壊土量2,500m³

- 2月29日～
3月2日 **県道山東本業線災害関連事業採択**、伊吹町甲賀、(延長120.0m、全幅7.0m(車道5.5m)、崩土取り除き2,500m³、アンカー工391本、フリーフレーム工4, 060m²、当初決定事業費3億8,359万円、災害費1億9,036万円、関連費1億9,322万円)、竣工平成9年度

- 3月26日 **国道8号佐和山トンネル開通**、彦根市佐和山町、(延長L=250m、幅4.0m、高さ2.5m、自転車歩道用、カラー舗装)

- 3月29日 **滋賀県環境基本条例の公布**、平成8年7月1日から施行、7月1日をびわ湖の日として定める(第8条)

- 3月31日 **甲南町公共下水道供用開始**(湖南中部処理区)

- 3月31日 **浅井町・虎姫町・湖北町公共下水道供用開始**(東北部処理区)

- 3月31日 **余呉川中小河川改修事業琵琶総区間完成**、高月町西野～木之本町大音、(延長L=7.4km、2工区5.7km、1工区1.7km、2工区・計画高水流量770m³/s(暫定)、1工区・計画高水流量280m³/s))

琵琶湖博物館新築工事竣工

- 3月31日

草津市下物町、
本館棟:RC造地下1階地上2階、
延べ床面積1万7,517.01m²
水族館棟:S造・RC造2階、
延べ床面積6,824.32m²

総請負額134億5,597万円
平成6年1月着工



- 3月31日 **滋賀県下水道普及率43.0%**全国平均普及率54% 滋賀県下水道普及率40%を超える

- **国道421号永源寺ダム湖上橋ルート案を、農林省永源寺第2ダムと共同で計画策定**

平成8年(1996年)度

記

事

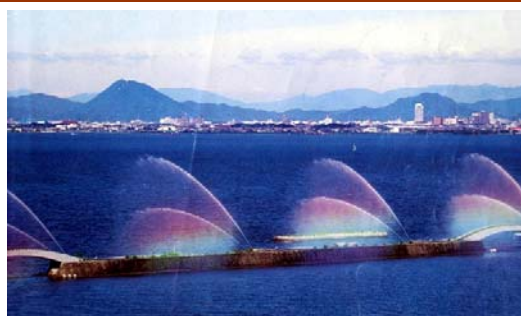
- 4月1日 設計積算オンラインシステムから**分散型設計積算システムに移行**
パーソナルコンピュータによるクライアントサーバーシステムを各事務所毎に構築
- 4月1日 **琵琶湖大橋有料道路事業4車線拡幅工事完成**、国道477号、守山市水保町字北川1335から1350まで、延長L=205.0m、県道大津能登川長浜線、守山市播磨田町字八代から字五ノ坪まで、延長L=93.0m、いずれも4月1日午前9時供用開始
- 4月1日 一般国道161号、**西大津バイパス**、第16工区(坂本高架橋)供用開始(大津市坂本7丁目～同市穴太2丁目)延長(本線1,860m 測道200m) **暫定2車線、本区間の完成により西大津バイパスは全区間を完成させ全線の供用が開始された。**北陸と京阪神を結ぶ最短ルートとして、重要な道路であり、湖西地域から京都市山科への大幅な時間短縮が図られ、地域の活性化と観光交通に大きな役割を果たすとともに、湖西道路と名神高速道路が直結し、大きな経済効果が見込まれる。滋賀国道工事事務所により昭和45年9月着手以来26年に渉る期間により完成
- 4月26日 滋賀県建設工事**請負契約約款の改正**、昭和58年滋賀県告示第228号の全部を改正
- 8月20日 **天神川支大倉川荒廃砂防事業**、大津市仰木、砂防ダム完成、(重力式コンクリート、堤高10m、堤長51.5m、事業費1億2,801.5万円)、平成7年着工
- 8月 **新幹線駅設置位置をJR草津線との交差場所付近に決定**
- 10月8日 「道の駅」**びわ湖大橋米プラザオープン**
大津市今堅田三丁目、RC造・SRC造2階、延べ床面積2,085㎡、駐車台数159台、総事業費9億6,210万円
近江米普及啓発施設、レストラン、水質自動測定局を併設、平成7年10月着工、平成8年8月25日竣工
- 10月9日 **滋賀県立ヨットハーバー多目的艇庫新築工事竣工**、大津市柳が崎、(S造3階、延べ床面積5,339.02㎡、総請負額9億2,545万円)、平成7年10月着工
- 10月18日 **県道栗東志那中線**、草津市志那中町字繰貫から字南芦荻まで、延長L=1,147.0m、道路改良(バイパス+現道拡幅)事業の完成による新道の供用開始
- 10月28日 **国道8号塩津バイパス2工区完成**、西浅井町塩津浜～木之本町飯浦間、(延長L=1.5km、第三種二級、W=17.0m、設計速度60km/h、**藤ヶ崎トンネルL=980m**を含む)、昭和59年度事業着手、平成2年8月工事着手、琵琶湖総合開発事業として位置づけられ、また本区間は急カーブが多く、降雨時には落石・崩土等があり、異常気象時には交通規制を行わなければならない区間であり、通行時の安全性、快適性等の機能向上が図られた。
- 11月2日 **国道161号西大津バイパス全線暫定供用開始**L=11.0km、大津市日吉台～穴太2丁目間、(延長L=2.4km、両側側道)側道供用開始
- 11月30日 **大谷川荒廃砂防事業**、志賀町荒川、砂防ダム竣工、(重力式コンクリート、堤高14.5m、堤長99m、事業費2億6,773.8万円)
- 12月2日 **国道367号(1工区)**、大津市葛川坂下町字逆口から字アシビ谷まで、延長L=1,384.0m(旧道延長L=1,800m)、全幅8.0m(車道6.0m)、三種三級、**牛の鼻トンネル302m、行者山トンネル180m、平橋29m、壽萬平橋48m、月の木橋68m、四條谷橋49m、坂下橋66m**、構造物延長742m(供用延長の53%を占める)、事業費33億円)、道路改良(バイパス)事業の完了に伴う新道の供用開始
- 12月11日 **国道365号(黒田バイパス)**、余呉町坂口字森ノ前から木之本町黒田字篠田まで、延長L=2,300.0m、幅員W=11.0m、余呉町地先:3.25×2、歩道2.0m、木之本町地先:3.25×2、歩道2.0m×2、**JRを跨ぐ余呉大橋**(橋長L=174.0m、総幅員W=11.5m、鋼3径間連続桁橋L=102.8m+鋼単純箱桁橋L=70.8m、総工費11億5,400万円)完成、道路改良(バイパス及び橋梁)事業の完了に伴う供用開始、総事業費35億2,700万円



- 12月16日 **県道東上坂近江線、長浜市布勢町字久保田から近江町顔戸字大須戸まで、延長L=1,793.0m、道路改良(バイパス)事業の完了に伴う新道の供用開始**
- 12月20日 **名神高速道路、栗東IC～瀬田東IC間6車線化完成、日本道路公団施行**
- 12月 **【水公団】丹生ダムの水没家屋等の移転が完了(全40戸移転)**
- 3月18日 **姉川ダム、堤体コンクリート打設開始**
- 3月19日 **滋賀県砂防ボランティア協会設立**
- 3月31日 **土山町が単独公共下水道(土山町オー・デュ・ブル)の運転を開始、事業着手、平成2年度**
- 3月31日 **琵琶湖総合開発特別措置法の法期限到来**
- 3月31日 **石田川小規模河川改修事業総区間完成、今津町浜分～弘川、(施行延長L=2.2km、流域面積58.0km²、計画高水量690m³/s(300m³/s)、超過確率1/50(暫定1/10)、事業費22億1,700万円)、昭和55年着手、長期計画、計画施行延長6,460m、以降障害防止事業で実施**
- 3月31日 **鴨川中小河川改修事業総区間完成、安曇川町下小川～鴨、(施行延長L=4,300m、流域面積50km²、超過確率1/50(暫定1/10)、計画洪水流量730m³/s(暫定370m³/s)、事業費53億5,700万円)、昭和48年着手、以降広域基幹河川改修事業で実施中。基本(長期)計画、施行延長、鴨川本線L=7,600m、八田川L=2,820m、青井川L=640m、中の川L=200m**
- 3月31日 **百瀬川中小河川改修事業総区間完成、マキノ町知内～沢、(施行延長L=2,200m、流域面積20.2km²、超過確率1/50(暫定1/10)、計画洪水流量310m³/s(暫定180m³/s)、事業費32億6,300万円)、昭和52年着手、以降広域基幹河川改修事業で実施中**
- 3月31日 **滋賀県下水道普及率46.7% 全国平均普及率55%**
- 3月 **ノンストップ自動料金収受システム(ETC)の試験運用開始(小田原厚木道路小田原料金所)**
- 3月 **野離子川第2ダム完成 (水と緑豊かな溪流砂防事業～砂防樹林帯の創出)**
- **全国治水大会を滋賀県で開催**
- **第2名神高速道路起工式**

大津港に噴水(噴水高さ30m)設置

大津港沖合180mの防波堤に沿って設置(延長450m)放射噴水66本(3本×22基)、直上噴水 2本、高さ 40m、夜間照明(緑、橙、白)、びわこ花噴水と命名



情報基盤緊急整備事業着手(砂防)

本事業は、雨量や水位等のデータを収集・伝達するシステムや河川水位の予測による洪水に関する予警報システムの構築を図り、ソフト的な危機管理体制の充実を図る。

日野川広域基幹河川改修事業A着工、近江八幡市野村町、野洲市比留田町～近江八幡市安養寺町、竹町、(計画延長L=7.38km、川幅176.7m、河床勾配1/1000、流域面積207.1km²、確率1/50(全体計画1/100)、計画高水流量1,700m³/s(全体計画1,900m³/s)、事業費288億円、全体計画延長L=25km、日野町増田まで、事業内容、堤防16.76km、低水護岸36.08km、高水護岸25.022km、事業効果、氾濫防止面積75.28km²、家屋4万4,862戸、鉄道5.2km、事業費736億円)

「技術者のための環境必携」を作成、平成9年度に印刷

平成9年(1997年)度

記

事

■ 4月1日	琵琶湖環境部が設置されて、土木部所属の下水道計画課、下水道建設課が移設される
■ 4月1日	上記にともない、下水道公社、下水道技術センターは、土木部から琵琶湖環境部に所管替え
■ 4月1日	県庁各部に総括企画員(現企画員)を配置
■ 4月1日	(財)滋賀県下水道公社高島事務所設置(5人)
■ 4月1日	道路公社、大津港駐車場供用開始、大津市浜大津5丁目、(駐車台数151台、敷地面積6,427㎡、総事業費15億円)、平成7年9月着工
■ 4月1日	琵琶湖流域下水道高島浄化センターの運転を開始
■ 4月1日	湖南中部流域関連公共下水道、五個荘町供用開始、事業着手、昭和62年度
■ 4月1日	東北部流域関連公共下水道、近江町、高月町、愛知川町、秦荘町、豊郷町供用開始
■ 4月1日	高島流域関連公共下水道、今津町供用開始、事業着手、平成元年度
■ 4月4日	「公共工事コスト縮減対策に関する行動指針」閣議決定
■ 4月9日	国道8号長浜バイパス全線4車線供用開始、長浜市川崎町～加田町、(延長L=5.8km)、下坂中～加田町(L=750m)を最後に完成
■ 4月	赤野井湾河川浄化事業着工、守山市、流入河川対策(植生浄化・一時貯留施設等)、低質改善対策(浚渫)。
■ 4月	彦根多景地区自然再生事業着手、彦根市、砂浜再生
■ 6月4日	河川法の一部を改正する法律公布、河川環境の整備と保全を目的に加えた改正がなされた。また、改正後は新たに、河川整備の基本となるべき方針を決めた河川整備基本方針と、具体的な河川整備内容を決めた河川整備計画を策定することとなった。
■ 7月2日	県道中河内木之本線、余呉町下丹生字野尻から木之本町大見字里ノ内まで、延長L=1,320.0m、道路改良(現道拡幅)事業の完了に伴う供用開始
■ 7月16日	県道小浜朽木高島線、高島町鴨字藪ヶ原から字芝辻まで、延長L=212.5m、鴨川に架かる天皇橋(橋長L=141.9m、幅員11.25m(10.25m)、3径間連続非合成桁橋)完成、事業費6億4,000万円
■ 7月31日	斧研川砂防堰堤完成、マキノ町牧野、(重力式・鋼製透過(格子)型、ダム高さH=14.5m、堤長L=60.0m、コンクリート量2,298m ³ 、計画堆砂量1万3,510m ³ 、事業費2億2,560万円、)
■ 8月4日～5日	前線により大気の状態が不安定となり、局地的に雷を伴う強い雨が降った。4日夕刻から5日日中にかけて県西部の大津市を中心に、多いところで総雨量225mm(8月4日19時～5日16時)に達する降雨となった。日降水量は南小松、近江八幡、蒲生で100mmを超えた。5日は特に大津市域で1時間30～90mm、9時から12時の3時間に50～180mmの猛烈な雨が降った。この集中豪雨により、同市市街地を流れる10数本の小河川で溢水し、特に雄琴川では氾濫により避難しようとしたお年寄りが亡くなられた他、合わせて床上浸水が42棟、床下浸水553棟発生した。また山沿いの住宅周辺でも数カ所崖崩れが発生し、多くの住民が公民館等に避難した。土砂流出は、約8,000m ³ の土砂が人家、市道300m、県道200m、農道1km、耕地2.0ha、自衛隊滋賀里訓練場1.6haに流出した。特に雄琴川は工事中であったため、住民から人災だとして県の責任が問われる事態となり、裁判の提訴も予想されたが、京大教授に、出水解析、工事の妥当性などの検討を依頼し、これに基づき1年間かけ住民への説明を行い理解を得た。 県道石部草津線の草津市山寺町地先で路肩欠損のため5日15時から片側通行規制、ほか国道161号など9路線11区間で冠水や雨量が基準値を越えたため通行止めや、片側通行の規制が行われた。 鉄道でも、湖西線、草津線では3本が運休したほか時速15kmの最徐行運転が実施された。 土木関係被害、道路10箇所、河川23箇所、崖崩れ2箇所、被害金額1億4,630万円

- 10月1日 朽木村が**単独公共下水道(特環・朽木浄化センター)の運転を開始**

- 10月 **赤野井湾、浮舟、中間水路の3水域の水質改善を行うため、県を中心に「琵琶湖水質保全対策行動計画」を策定**

- 11月5日 **国道307号、多賀町敏満寺字南裏から甲良町金屋字森まで、延長L=689.0m、道路改良(福寿橋、橋長L=158.0m、総幅員W=12.0m、PC橋、架け替え)事業の完成に伴う供用開始**

- 11月7日 **姉川ダム定礎式、**

- 11月12日 **鈴鹿公園有料道路無料開放**

- 12月9日 **主要地方道小浜朽木高島線、朽木村荒川字惣田から字深田まで、延長L=412.0m、荒川橋(安曇川)架け替え工事の完成に伴う供用開始、(橋長L=158.5m、幅員10.25m～10.75m(車道6.0m、歩道3.0m)、三種三級、設計速度40km/h、設計荷重TL-25t、B荷重、斜角75°、3径間連続RC床版鋼箱桁橋、逆T式橋台2基、場所打杭φ1500、壁式橋脚2基、簡易ウエル、事業費12億4,500万円)、平成7年度橋梁下部工着手、上部工、平成8年9月19日着手**

- 12月19日 **県道湖北長浜線(世継相撲線)、都市計画街路事業の完了に伴う供用開始、長浜市相撲町字角田六町から公園町字葎立場まで、延長L=1,704.0m、幅員4車線(車道3.25m×4車線、中央帯2.0m、植樹帯1.0m×2、歩道両側3.0m)、四種一級、設計速度50km/h、盛土15万4,000m³、被覆石護岸8,100m²、擬石張ブロック6,800m²、車道舗装、一部透水性舗装3万1,000m²、歩道舗装、透水性カラー舗装、植樹、中木・ヒバ、低木・ツツジ類1万1,500本、照明灯、ナトリウム灯、2灯式・18基、事業費22億8,300万円、平成3年度着工**

- 12月22日 **北川第一ダム建設事業に伴う損失補償基準にかかる協定書を締結**

- 1月30日 **公共工事コスト縮減対策に関する滋賀県行動計画策定**

- 2月4日 **国道303号、木之本町金居原字オゲツラ489-2から498-4まで、延長L=173.0m、道路改良(金居原トンネル)事業に伴う供用開始**

- 2月17日 **降雪により斜面崩壊、びわ町早崎、竹生島、高さ20m、幅10m、面積200m²、店舗一部損壊**

- 2月28日 **びわ湖モーターボート競走場(第1期)竣工、大津市茶が崎、(S造・SRC造地下1階地上5階、延べ床面積1万2,848m²、総請負額62億2,131万円)、競艇を開催しながら施工を行うため、建物全体の約4分の1が完成、平成8年3月着工**

びわ湖ホール竣工

- 3月12日 大津市打出浜、SRC造・RC造一部S造
地下2階地上4階、
延べ床面積2万8,944.37m²、
建築請負額151億8,866万円、
電気・機械設備69億4,995万円、
客席椅子設置工事4億1,104万円
平成7年3月13日着工



- 3月23日 **建設技術センター竣工、草津市野路町、(本館棟:RC造2階、延べ床面積1,425.91m²、試験棟:RC造1階、延べ床面積462.00m²、総請負額8億6,777万円)、平成9年3月着工**

県道彦根近江八幡線道路改良事業工区完了、能登川町栗見新田から近江八幡市長命寺町迄、(延長L=8,730m、大中工区6,630m、長命寺工区2,100m、W=6.5(16.0)m、三種二級、設計速度60km/h、総事業費51億円、大中工区・約41億円、長命寺工区・約10億円)、うち栗見新田から大中迄のL=1,574mは平成4年に供用済み。

本線は彦根市外町から能登川を經由し長命寺に至る26kmであり、特に本区間の琵琶湖側は幅員4~5mと狭小で、観光シーズンは一方通行規制が敷かれ、また近江八幡市白王町から長命寺迄のL=7.1kmは異常気象時の通行規制区間に指定されていたが、琵琶湖総合開発湖岸道路と位置づけられ早期の完成が図られた。大中工区(島町~栗見新田)、全幅W=16.0m、車道8.0m、歩道両側3.5m×2、路肩・両側0.5×2、長命寺工区(長命寺~北津田~島町)、全幅W=13.5m、車道7.5m、長命寺川側、自転車歩道3.5m、山側、歩道1.5m、路肩・両側0.5m、長命寺川側構造、矢板護岸の上に1割5分の張りブロック工、舗装構成、車道、路床工t=100cm、下層路盤工t=20cm、上層路盤工t=10cm、基層t=10cm、表層t=5cm、歩道、フィルター層t=5cm、下層路盤工t=10cm、表層工t=3cm

■ 3月23日

水口総合庁舎竣工

水口町水口、
本館棟:RC造地下1階地上4階
延べ床面積6,889.21㎡
保健福祉棟:RC造地上2階
延べ床面積1,748.98㎡
別棟:S造地上1階
延べ床面積1,201.09㎡
職員会館:RC造地上2階
延べ床面積422.91㎡
総工費38億5,841万円
平成8年10月着工

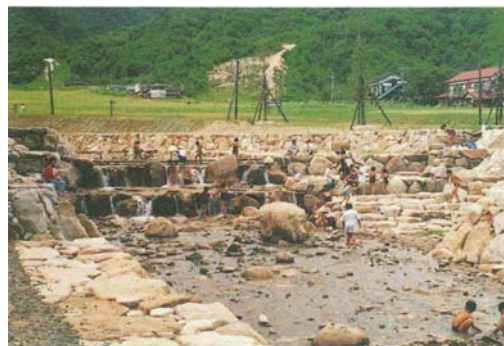
■ 3月25日



斧研川水と緑の砂防モデル事業 流路工完成

マキノ町牧野
施行延長L=1,039.4m
事業費6,966万円

■ 3月25日



■ 3月31日 **滋賀県下水道普及率50.5%** 全国平均普及率56% 滋賀県下水道普及率50%を越える

■ 3月 **JR東海道本線河瀬駅橋上化完成**

■ 3月 **【国直轄】大戸川ダム、水没地の大鳥居地区移転完了**

■ **石田川障害防止事業着手、今津町弘川**

■ **浜大津駅前B地区市街地再開発事業工事完了**、組合施工、1.24ha、明日都浜大津

平成10年(1998年)度

記

事

- 4月1日 (財)建設技術センターに(財)滋賀県下水道技術センターを統合

- 4月1日 今年度から、「建設省所管公共事業の再評価実施要領」に基づき再評価システムを導入、平成10年度は、県24事業、市町村46事業、計70事業の再評価を行う

建設技術センターを草津市野路町(現在地)に移転

▶ 本館棟



▶ 試験棟



- 4月8日

- 5月1日 東北部流域関連特定環境保全公共下水道、甲良町供用開始、事業着手、平成2年度

- 5月15日 国道421号、永源寺町山上字青野4760から5071まで、延長L=1,240.0m、道路改良(現道拡幅)事業の完成に伴う供用開始

- 5月29日 第4次急傾斜地崩壊対策事業五箇年計画、平成10年～14年、閣議決定、公共・5,900億円、災害関連・地方単独・3,200億円、調整費・2,800億円、合計1兆1,900億円

- 5月29日 新道路整備五箇年計画、平成10年度～14年度、閣議決定、一般・29兆2,000億円、有料・17兆円、地方単独・26兆8,000億円、調整費・5兆円、合計78兆円

- 7月12日 第49代知事に国松善次氏当選

- 7月17日 県道春日竜王線、甲西町下田字雷古から字中山まで、延長L=1,406.0m、道路改良(バイパス)事業に伴う、新道の供用開始

- 9月21日～23日 9月17日ルソン島西の海上で発生した台風7号は、21日15時には中型で強い勢力となり南大東島の北の海上に進み、22日13時過ぎに御坊市付近に上陸した。台風は近畿地方(15時頃滋賀県)を通過して18時過ぎに富山湾に向かった。沖の鳥島の北の海上で発生した熱帯低気圧が20日15時に台風8号となり、21日16時前に小型の弱い勢力で田辺市付近に上陸し、同日21時に滋賀県北部で弱い熱帯低気圧になった。
滋賀県では台風7号の影響から、22日昼頃から夕方にかけて雨が激しく降り、14時までの1時間に、春照で29mm、土山で26mm、15時までの1時間に、春照で31mm、霜ヶ原で26mm、17時までの1時間で、柳ヶ瀬で44mm、今津で34mmを記録した。21日から23日までの連続雨量は、春照214mm、霜ヶ原195mm、土山187mm、信楽137mm、荒川136mmとなった。出水状況は、野洲川・水口橋1.54m(警戒水位1.35m)、姉川・難波橋4.37m(警戒水位2.70m)、石田川・岸脇2.79m(警戒水位1.80m)など。
被害状況、死者3人、重傷2人、軽傷20人床上浸水(びわ町)1棟、床下浸水26棟(朽木村13棟、今津町5棟、新旭町3棟など)
土木関係被害、道路120箇所、河川63箇所、砂防5箇所、崖崩れ6箇所、公共土木施設被害金額3億355万円

- 10月21日 県道近江八幡守山線、中主町西河原字上甲田から守山市服部町字社田まで、延長L=1,194.5m、道路改良(バイパス)事業に伴う、新道の供用開始
県道幸津川服部線、守山市服部町字下キビタ2037地先、延長L=74.5m、道路改良(現道拡幅)事業の完成に伴う供用開始

- 12月4日 県道石原八日市線、日野町石原字向山後から野出字元禄谷まで、延長L=1,961.0m、道路改良(現道拡幅)事業の完成に伴う供用開始

ピアザ淡海新築工事竣工

大津市におの浜1丁目、SRC造地下1階地上10階建て、延べ床面積2万6,399㎡、総工費124億4,300万円

■ 12月15日

県民交流施設、旅券発給施設、自治研修施設、共済宿泊施設の4施設からなる複合施設、地階が87台収容の駐車場施設、平成8年10月着工



■ 12月21日 **県道敏満寺野口線**、甲良町榑崎字長丁から金屋字川狭まで、延長L=1,263.6m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う新道の供用開始

■ 1月13日 **県道伊香立浜大津線**、大津市伊香立向在地町字上生保野から南庄町字山守りまで、延長L=1,740.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う新道の供用開始

彦根児童相談所・民設母子寮新築工事竣工

彦根市小泉町、彦根児童相談所:RC造2階、延べ床面積1,297.42㎡、総請負額費6億1,398万円、民設母子寮:RC造3階、延べ床面積2,111.47㎡、総工費6億3,336万円
平成10年3月着工

■ 2月28日



■ 3月1日 **国道161号マキノ拡幅全線暫定供用開始**、マキノ町野口～海津、(延長L=4.1km)

■ 3月31日 高島流域関連**公共下水道**、マキノ町、新旭町供用開始、事業着手、平成3年度 2年度

■ 3月31日 滋賀県下水道普及率**55.0%** 全国平均普及率58%

■ 3月31日 **大津港建設事務所は、工事完成にともない廃止**

大津港 整備概成

全体事業費16,627百万円、大津市浜大津5丁目地先、S62.11月大津港整備工事着工 (S62.4.30公有水面埋立免許取得)

■ 3月

・全体面積 約78,500㎡(内埋立面積63,722㎡)
・泊地15ha(-4.0m)、防波堤915m、護岸・岸壁644m、浮棧橋(延長80~20m)計6基、シンボル緑地14,100㎡、修景緑地19,200㎡、マリーナ施設200隻収容、びわこ花噴水

■ 3月

総務庁の平成10年度住宅・土地統計調査によれば、**滋賀県での持ち家率は73.9%**(全国平均60.3%)で**全国第7位**、また平均住宅規模は120.1㎡(全国平均93.5㎡)と全国第13位と発表された

■ **国道303号八草トンネル貫通**、木之本町金居原～岐阜県揖斐川町

■ **起シ又川ダム大型砂防ダム完成**、伊吹町曲谷、(重力式ダム、ダム高さH=20.0m、提長L=78.0m、コンクリート量1万6,800m³)、堆砂するまでの間は水溜ダム、平成7年着工

■ **大津駅南地区市街地再開発事業工事完了**、組合施工、0.6ha、プエルタ大津

平成11年(1999年)度

記

事

- 4月1日 **道路公社は副理事長制を敷くとともに、土地開発公社および住宅供給公社と事務局の共通管理部門の一元化を行う。**総務部(2課)および工務部1課から総務部(2課)および道路部(2課)とする。管理事務所は、5事務所から4事務所へ

北川第一ダム建設事業 工事用道路工事に着手

- 4月



- 4月 **守山地区自然再生事業着工**、守山市木浜町、自然素材緩傾斜護岸設置、砂浜とヨシ原の創出

- 6月9日 **県道小荒路牧野沢線、マキノ町沢字高川から字七反田まで、生来橋(百瀬川)完成**、(橋長56.6m、総幅員11.7m(全幅10.5m)、PC2径間ポステン連結連続桁、工事費2億9,800万円)

- 6月27日 **梅雨前線が日本海からの南下による大雨**、日降水量、南小松94mm、大津79mmなど、**栗東町で床上浸水2棟、草津市など床下浸水91棟**、土木関係被害は道路32箇所、河川11箇所、崖崩れ8箇所、公共土木施設の被害額は6,873万円

- 6月 **【国直轄】大戸川ダム付け替え県道「大津信楽線」工事着手**

- 7月2日 **県道牧甲西線**、信楽町宮町字中井出から字岡出まで、延長L=1,260.0m、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う新道の供用開始

- 7月16日 **国土交通省設置法の公布(法律第100号)**
(目的) この法律は、国土交通省の設置並びに任務及びこれを達成するため必要となる明確な範囲の所掌事務を定めるとともに、その所掌する行政事務を能率的に遂行するため必要な組織を定めることを目的とする。

- 8月13日 **国家公務員倫理法の公布(法律第129号)** 職員が遵守すべき職務に係る倫理原則
・国民全体の奉仕者であることを自覚し、公正な職務執行に当たらなければならない。
・職務や地位を私的利益のために用いてはならない。
・国民の疑惑や不信を招くような行為をしてはならない。
・この法律は、平成十二年四月一日から施行する。

- 8月 **東海道新幹線(仮称)びわこ栗東駅設置促進協議会会長に知事が就任**

- 11月11日 滋賀県人事委員会告示第7号
参事級の職への昇任選考試験に関する実施要項

- 11月19日 **国道8号米原バイパスL=10.3km**、第6工区供用開始、長浜市加田町～近江町顔戸、(延長L=1,980m、第三種一級、W=26.25m、設計速度80km/h、4車線)

- 12月～ **近江大橋上部工耐震補強工事**が11年度から2年かけて実施される、立命館大学で性能実験を繰り返しながら全国的にも珍しい合成樹脂接着剤を使った落橋防止装置が開発され実用化された

- 3月24日 **山寺川市街地排水浄化事業認可**

- 3月31日 滋賀県下水道普及率**58.8%**、全国平均普及率60%

平成12年(2000年)度

記

事

- 4月1日 **土木部監理課に、警察本部から初の警視級警察官が参事として出向**

- 4月1日 **道路現況調査**、一般国道(指定区間外)、8路線、416.693km、改良率91.7%、舗装率99.8%、木橋なし。主要地方道、52路線、710.219km、改良率80.8%、舗装率97.8%、木橋1橋(5m)、一般県道216路線、1,275.569km、改良率67.8%、舗装率97.2%、木橋なし、計、276路線、2,402.482km、改良率75.7%、舗装率97.8%、木橋1橋(5m)

- 4月19日 **県道藺生 日置前線**、今津町藺生字中芝原から梅原字夢まで、延長L=1,053.0m、**梅原新橋**(石田川)の完成に伴う供用開始、(橋長85.0m、幅員12.75m(11.75m)、PC2径間連結ポステンT桁橋、事業費3億7,000万円)

県立アイスアリーナ(びわこアリーナ)新築工事竣工

大津市瀬田南大萱町、RC造・S造2階、延べ面積7,752㎡、総請負額費27億2,475万円、冬季・アイスリンク(60m×30m公式リンク、夏季・体育館、約2000席、平成10年10月9日着工

- 4月27日



- 4月

平湖・柳平湖河川浄化事業着手、草津市志那町地先、平成10～11年度において行政や学識経験者、地元関係者からなる「平湖・柳平湖保全整備検討委員会」を設置し、内湖の水質浄化や保全と周辺整備等を含む基本計画を策定した。この計画に基づき平成13年度から底泥の浚渫を中心に水質浄化事業を進める。

- 6月23日

県道今浜水保線、守山市水保町字中内から字上ノ川内まで、延長L=1,139.0m、道路法24条工事完了に伴う道路の供用開始

- 7月12日

県道川合千田線、木之本町古橋字与シロから石道字西池田まで延長L=1,146.0m、供用開始

- 8月11日

県道大津能登川長浜線、彦根市彦富町字上シタ原から字五位田まで延長L=31.5m、彦根市彦富町字アシワラから出路町字末ノ宮まで延長L=1,368.0m、道路改良(バイパス)事業の完了に伴う供用開始

- 9月20日

細川砂防ダム完成 栗東町荒張、(重力式ダム、ダム高さH=9.5m、堤長L=64.5m、) 堆砂するまでの間は水溜ダム

- 11月

交通バリアフリー法施行(現・バリアフリー新法:18年12月新法施行)以降、計画的に順次県内主要駅等のバリアフリー化を推進

☆24. 3末のBF状況

- ①整備済駅/県内総駅 59/125駅(47.2%)
- ②5千人以上/対象駅 27/30駅(90.0%)
- ③3千人以上/対象駅 31/41駅(75.6%)

- 12月1日

びわこ空港整備計画について、当時の知事が県議会において「立ち止まって考える」旨表明

☆平成17年2月「財プロ」において空港整備計画凍結を公表

記 事

-
- 12月20日 **国道307号裏白バイパス供用開始**、信楽町下朝宮～宇治田原町奥山田、(施行延長L=2,500m、裏白トンネルL=518m(224m+シェルター19m+275m)、上部半断面掘削、ロックボルト工法、湯ノ谷橋L=60m、πラーメン橋、一般部幅員11.5m(車道6.5m、歩道片側3.0m)、工事費28億3,324万円、用地補償費2億2,393万円、測量試験費3億2,243万円)、平成4年度工事着手

 - 12月22日 **国道307号**、信楽町下朝宮字水口ケ谷から宮尻字石堂まで、延長L=2,460.0m、道路改良(バイパス)事業の完了に伴う新道の供用開始

 - 12月25日 **国道303号**、西浅井町岩熊字下山神から八田部字杉谷まで、延長L=1,520.0m、**岩熊拡幅下り線開通**、**新岩熊トンネル**L=796.0m

 - 1月1日 東北部流域関連公共下水道、**山東町供用開始**、事業着手、平成2年度

 - 1月6日 中央省庁等改革基本法(平成10年法律第03号)に基づいて、**建設省は国土交通省に再編された**

 - 2月1日 国土交通省近畿地方整備局が「**淀川水系流域委員会**」を設置

 - 3月21日 **県道大津信楽線**、大津市上田上大鳥居町字上ノ宮山から信楽町黄瀬字角千まで、延長L=1.860.0m、**五本松橋**(橋長L=72.0、総幅員W=13.0m、鋼橋)、ダム付け替え道路法24条工事の完了による供用開始

 - 3月28日 **滋賀県地域振興局設置条例**の公布(条例第4号)本条例により、4月1日から6県事務所が地域振興局体制となり、大津土木事務所以外の7土木事務所は建設管理部として統合される

 - 3月31日 東北部流域関連公共下水道、**伊吹町供用開始**、事業着手、平成2年度

 - 3月31日 高島流域関連公共下水道、**高島町供用開始**、事業着手、平成3年度

 - 3月31日 **滋賀県下水道普及率64.5%** 全国平均普及率62% また琵琶湖流域下水道事業着手以来29年で全国平均を上回る。全国第9位

 - **国道8号野洲・栗東バイパス都市計画決定**(野洲郡野洲町小篠原～栗太郡栗東町手原)諸元:計画延長4.7 km 幅員39.6m 構造規格3種1級 4車線 設計速度80m/h

 - **公共工事にともなう環境配慮指針策定**
-

平成13年(2001年)度

記 事

滋賀県行政組織規則の一部改正施行(規則第72号)、土木部が組織・名称変更により**土木交通部**となり、企画県民部から交通政策課を編入、また土木事務所が新しく設置された**地域振興局**のなかの**建設管理部**に所管換えされた。

- 4月1日 大津土木事務所は従来通り監理課に所属し、大津土木以外の7事務所は、湖南、甲賀、東近江、湖東、湖北(旧木之本土木も含む)、湖西の地域振興局に属することになり、名称は建設管理部となった。所長、次長は、部長、副部長に名称変更、東近江建設管理部と長浜建設管理部のみ技監で建設管理部長事務取扱となった。

土木事務所が、地域振興局に統合され建設管理部となり、庶務課は総務経理課に、新たに計画調整課を設置、計画調整担当と、甲賀、東近江、湖東、湖北・木之本、湖西建設管理部は計画調整課の中に、ダム管理担当を配置、管理課は管理建築課となり、管理担当と建築指導担当の2担当制に、河川砂防課の、湖南地域振興局には河川環境担当を、東近江地域振興局には蛇砂川改修工事担当を、湖西地域振興局河川砂防課には砂防・特定施設担当とした。

- 4月1日

国道1号水口道路第3工区暫定供用開始、水口町泉～岩根、(延長L=1,700m、第三種二級、全幅W=25.0m、暫定2車、設計速度80km/h、朝国立体交差暫定供用)、朝国立体交差の供用により、土山方面から栗東方面への朝の旅行速度が18km向上、また16分の時間短縮、それに伴う渋滞約1.5kmが解消

- 4月22日

国道303号八草トンネル開通式

木之本町金居原～岐阜県揖斐川町
延長L=3,025m
滋賀県側1,441m、岐阜県側1,584m
内空断面: 54.208m²
縦断勾配: 岐阜側へ上り2.8%
曲線半径: 滋賀県抗口付近
L=200m、R=800m
非常駐車帯6箇所

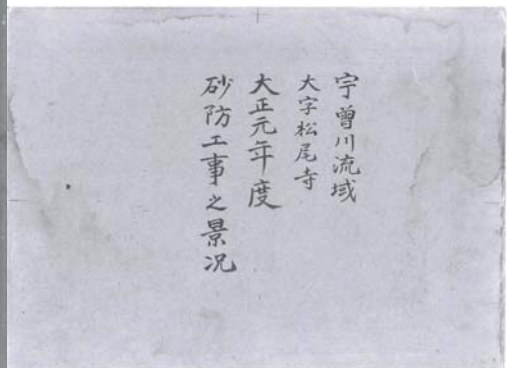
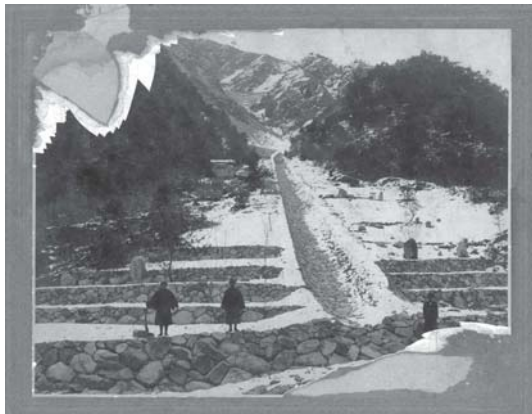
- 4月26日



掘削工法、補助ベンチ付全断面工法、一部上半先進工法
トンネルの開通により峠越えに20分程かかっていたものが僅か3分に短縮され、安全で快適に通行できるようになった。
平成9年度着手

宇曾川流路工、秦荘町松尾寺、(石張り流路工、全長135m、右支川61m)、明治44年(1911)から大正元年にかけ施工、文化庁から国の**登録有形文化財**に指定される

- 5月



- 7月12日 **国道161号志賀バイパス**L=6.4km、志賀町北小松～荒川、(延長L=3,000m、第3種第1級、暫定2車線、志賀町荒川～北比良)暫定供用開始

- 7月 **【国直轄】大戸川ダム、水源地域対策特別措置法に基づく水源地域整備計画決定**

- 7月 **水防法改正の施行**、(日野川、野洲川、愛知川、姉川、高時川、安曇川、大戸川)で浸水想定区域図、洪水予測システムの整備、市町への河川情報端末の整備を平成20年度までに行う予定

- 10月1日 **栗東市誕生**、栗東町が人口増により市制

- 11月 **姉川ダム試験湛水開始**

- 12月10日 **国道161号湖北バイパス**、マキノ町大沼～今津町日置前間、(施工延長L=2.6km、バイパス部暫定2車線)開通、本工事でマキノ町西浜・海津今津線交点～今津町日置前・国道303号交点間L=8.3kmが完成

- 12月 JR東海から「**新駅正式協議受け入れ**」回答

- 1月18日 **琵琶湖流域下水道30周年記念式典**

- 2月 **姉川ダム試験湛水完了**

- 3月20日 **草津川放水路**(平成13年度補正予算、債務負担行為補正追加)
滋賀県土地開発公社事業費費用負担、平成14～23年度まで、74億円
滋賀県土地開発公社事業資金借入債務保証、平成14～24年度まで、74億円

- 3月25日 **県道大野木志賀谷長浜線**、山東町菅江字栃ノ谷から長浜市鳥羽上町字水打まで、新横山トンネル開通(延長639m、トンネルL=356m)3月26日午後3時供用開始

姉川ダム完成

- 3月31日 伊吹町曲谷
構造:重力式コンクリート、
規模:提高80.5m、提頂長225.0m、
提体積30万7,500m³、
掘削22万3,200m³、
集水面積28.3km²、
湛水面積0.33km²、
総貯水容量760万m³、
有効貯水容量650万m³、
洪水調節容量470万m³、



利水容量(不特定用水)180万m³、
計画高水流量590m³/s、
調節量330m³/s、
常用洪水吐き、一面ベルマウスによる自然調節方式、
非常用洪水吐き、自由越流型(ハロルド形状)、
補助事業費385億円、周辺整備事業費57億円)、
昭和46年予備調査開始以来31年間の期間で完成

- 3月31日 **滋賀県下水道普及率69.5% 全国平均普及率63.5%**

- **県道山田草津線**道路改良工事、草津市北山田町・木川町、(延長L=1,288m、)完成

- **県道中河内木之本線**上丹生BP工事、余呉町上丹生、(施工延長L=1,565m、)完成

- **国道421号石樽峠道路**・黄和田工区改築工事着工、永源寺町黄和田、
延長L=2,885m、幅員W=9.0m

- **都市公園「びわこ地球市民の森」**で植樹開始

平成14年(2002年)度

記

事

-
- 4月25日 **びわこ栗東新駅設置の基本協定書等調印**(県、栗東市、促進協議会、JR東海)、栗東市下鈎地先、駅の設備、2面5線、工事費約250億円(促進協議会試算)、仮線工法による施行

 - 5月30日 **建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律**(建設リサイクル法)完全施行

 - 6月14日 **草津川一級河川変更**、上流、大津市上田上桐生町国有林地先のオランダ堰堤、下流、琵琶湖への流入点、全長1万1,270m(指定区間外5,580m、指定区間5,690m)、**草津川放水路を草津川と名称変更(試験通水)** 当初指定、昭和40年3月24日

 - 6月20日 **蓮池川支流通常砂防事業**、大津市滋賀里、砂防ダム竣工、(重力式コンクリート、堤高8.5m、堤長26m、事業費1億106.2万円)

 - 7月7日 **滋賀県知事選挙、第50代知事に國松善次氏再選**

 - 7月12日 都市公園設置公告
1. 名称、**びわこ地球市民の森**
2. 位置、守山市今浜町地内
3. 使用開始の期日、平成14年7月12日

 - 7月27日 昭和57年工事着手以来20年の歳月を賭け、**草津川放水路完成通水**。国道1号と宮町橋の間にて。(放水路延長L=5.5km、流域面積48.3km²、流下能力、基準地点800m³/s、(昭和28年台風13号の1.7倍の降雨でも安全、13号台風では堤防が破堤し、浸水家屋は床上641戸、床下2,741戸に及んだ、旧川の流下能力、約150~170m³/s)、計画規模1/80、川幅、河口部100m、中流部80m、上流部40~60m、旧川の川幅40~50m、天井川切り下げ高さ(背後地から)5~6m、護岸工11.0km、橋梁19橋、床固め工1基、全体事業費823億円)、残事業、護岸工、側道、橋梁工、11億円

 - 8月12日 **県道山東本巢線**、山東町小田字黒土から伊吹町伊吹字金撞まで、延長L=644.9m、道路改良(バイパス)事業完成に伴う供用開始

 - 10月9日 **甲賀市(旧信楽町)が下水道法の事業認可を受け、単独公共下水道事業着手**

 - 11月11日 **国道303号**、木之本町金居原字アソ谷から字小谷口まで、延長L=1,713.0m、金居原バイパス供用開始(計画延長5,140m、幅員9.0m)、平成6年度着工

 - 11月30日 **県道小浜朽木高島線**、朽木村野尻字四ツ谷から荒川字狐塚、延長L=1,057.0m、幅員10.25m(車道6.0m、歩道2.0m)、事業費16億円、供用開始、うち**三線橋(安曇川)**、橋長L=170.0m、幅員11.25m(10.25m)工事費9億4,000万円、道路改良(バイパス及び橋梁)事業の完了に伴う新道の供用開始

 - 12月9日 **県道木之本余呉線**、余呉町上丹生字鳥居前から下丹生字津子野まで、延長L=1,704.0m、供用開始
県道中河内木之本線、余呉町上丹生字鳥居前から下丹生字東里まで、延長L=1,070.0m、供用開始

 - 1月31日 **県道中野新旭線**、安曇川町下古賀字南川原から新旭町安井川字淵ノ坂まで、延長L=2,533.0m、道路改良(バイパスおよび現道拡幅)事業の完了に伴う供用開始

 - 2月 **芹谷ダム ダムサイト変更**(芹川本川の河川環境保全ため支川水谷川へ)

 - 3月26日 **県道彦根米原線**、米原町磯字クセ町から入江字丸葎まで、延長L=2,075.8m、道路改良(バイパス)事業の完了に伴う供用開始

 - 3月31日 **高島流域下水道事務所は廃止**。次年度より琵琶湖環境部下水道建設課に高島処理区担当を設置

 - 3月31日 **滋賀県下水道普及率72.6%**。全国平均普及率65.2% 県下普及率7割を越える。

 - 3月 **余呉湖ダム貯水池水質保全事業竣工**、余呉町、事業費約1億5,000万円
低層(深層)曝気施設設置。平成12年度着手
-

-
- 3月 **県道彦根米原線供用開始**、米原市磯～梅が原栄間(L=2,080m)、道路改良(バイパス)事業の完成に伴う新道の供用開始

 - 3月 JR東海道本線**能登川駅橋上化完成**

 - **国道365号椿坂道路改築工事着工**、余呉町椿坂、(延長L=3,250m、幅員W=10.0m)
-

平成15年(2003年)度

記

事

-
- 4月1日 土木交通部河港課に、**河川適正利用対策班設置**

 - 4月1日 **草津川麿川敷地の県管理(南部振興局建設管理部)開始**

 - 4月11日 **平成川一級河川指定**(延長3,240m)、下流端 和南川への流入点
上流端 左岸:永源寺町甲津畑字長谷1858、右岸:同町甲津畑字長谷1840

 - 6月1日 **JR米原駅発 はるか号運行開始**

 - 6月11日 **県道柑子塩野線**、甲南町杉谷字平石から塩野字坂ノ谷まで、延長L=1,281.5m、道路改良(バイパス)事業の完了に伴う供用開始、(重用)甲南阿山線L=288.5m

 - 6月25日 **県道余呉湖線**、木之本町飯浦字阪尻から川並字サキまで、延長L=2,323.0m、道路改良(現道拡幅)事業の完了に伴う供用開始

 - 7月4日 滋賀県琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例第12条第1項の規定による**航行規制水域の指定**(告示第374号)

 - 8月6日 **県道甲南阿山線**、甲南町杉谷字向井から字岩尾まで、延長L=1,009.0m
甲南町杉谷字岩尾から字持林まで延長L=615.1m。道路改良(現道拡幅+バイパス)事業の完了に伴う供用開始

 - 8月 **近畿地方整備局事業評価監視委員会(再評価)**

 - 9月1日 **山寺川市街地排水浄化対策施設(伯母川ビオ・パーク)供用開始**

 - 9月 **猪谷通常砂防事業完成**
土山町山女原、
重力式、ダム高さH=17.0m、堤長L=100.0m、
コンクリート量1万270m³
堆砂までの間は水溜ダム、
平成12年着手、
鈴鹿国定公園内の工事であるのでアドバイザーにより指導
-
- 完成した猪谷土石流対策ダム(土山町山女原)
-
- 10月10日 **大津市の古都指定**、全国10番目の古都として政令指定された
-
- 10月24日 **芹谷ダム、ダム事業に関する基本協定締結**、県庁(地元対策委員会・知事)
-
- 10月26日 **JR長浜駅～永原駅間直流化工事着工**(起工式)
-
- 11月7日 **(財)野洲川整備公社、解散のための精算終了**
-
- 12月1日 **余呉川管理事務所改築工事竣工**、余呉町下余呉、(RC造2階、延べ床面積346.96㎡、総請負額費1億1,366万円)、平成14年10月10日着工
-
- 12月25日 第1回国土開発幹線自動車道建設会議で、**第二名神高速道路(大津市～城陽市25km)が抜本的見直し区間**となる。
-
- 12月26日 **県道麻生古屋梅ノ木線**、朽木村麻生字高橋から地子原字菖蒲まで、延長L=1,029.1m、供用開始
-
- 12月31日 滋賀県の**交通事故発生件数が1万276件**となり、初めて1万件を越える
-

県道麻生古屋梅ノ木線

■ 12月6日

大津市梅ノ木、道路改良
バイパスおよび針畑大橋、
PC橋、4径間連続曲線箱桁橋
橋梁上部工、片持ち架設、
延長L=223.0m、
幅員W=7.0m、
総幅員W=8.2m、

事業完成に伴う新道の供用開始



■ 1月

維持管理実施団体設立に向け**愛知川左岸河畔林管理協議会結成**。
平成17年12月3日、愛知川河畔林の会結成

■ 3月13日

近江鉄道「河辺の森駅」開業

滋賀県立大学人間看護学部棟新築工事竣工

■ 3月20日

彦根市八坂町、
学部棟:RC造一部S造2階
延べ面積7,840㎡
渡り廊下棟:S造1階
延べ面積377.82㎡
総請負額費23億4,893万円
平成15年7月25日着工



■ 3月30日

国道8号米原バイパス、長浜市加田町～彦根市佐和山町、L=10.3km。近江町顔戸～米原町中多良(県道朝妻筑摩近江線交点)まで暫定竣工。(延長L=3,200m、高架部L=1.2km、W=9.5m、土工部L=2.0km、W=13.0m、天野川橋含む、事業費約180億円)、平成2年着手

■ 3月31日

滋賀県下水道普及率75.6% 全国平均普及率66.7%

■

八日市新川広域基幹河川改修事業着工、(計画延長L=3.9km、流域面積20.1km²、計画高水流量260m³/s)

■

滋賀県CALS/EC運用開始

平成16年(2004年)度

記

事

- 4月1日 湖南中部浄化センターでオゾンと生物活性炭を導入した**超高度処理実証施設の運転を開始**
- 4月1日 **「公共事業環境こだわり指針」本格運用開始**
- 4月28日 **都市計画道路大津湖南幹線**、県道草津守山線、草津市川原二丁目字小久保から駒井沢町字下鯨尾まで、延長L=1,400.0m、都市計画街路事業の完了に伴う供用開始
- 5月12日 滋賀県告示第286号、**洪水予報区間の指定**
淀川水系日野川 左岸、蒲生町葛巻字上原から琵琶湖まで
右岸、蒲生町横山字川原口から琵琶湖まで
- 6月25日 **県道下笠大路井線**、草津市大路町字笠ノ庄から字西浦まで、延長L=106.6m、地下道新設に伴う道路区域の変更
- 6月28日 **県道伊賀信楽線**、信楽町神山字畑ヶ平から字柿ヶ谷まで、延長L=1,221.8m、道路改良(現道拡幅+バイパス)事業の完了に伴う供用開始
- 9月8日 **伯母川ビオ・パークが水環境回復創出部門で、いきいき下水道賞(国土交通省)を受賞**
- 9月29日 **県道彦根八日市甲西線**、甲西町岩根字徳行から吉永字上川原まで、延長L=667.7m、野洲川に架かる、**神生橋開通**(延長L=269.9m、総幅員W=16.0m、PC橋)、道路改良(バイパス)事業の完了に伴い午後1時に供用開始
- 9月 **JR草津線手原駅橋上化完成**
- 10月1日 水口町、土山町、甲賀町、甲南町、信楽町が新設合併し、**甲賀市が誕生**、人口93,853人、面積482km²(H17国勢調査)
- 10月1日 中主町、野洲町が新設合併し、**野洲市が誕生**、人口49,486人、61km²(H17国勢調査)
- 10月1日 石部町、甲西町が新設合併し、**湖南市が誕生**、人口55,325人、面積70km²(H17国勢調査)
- 10月8日 **JR草津線が、近畿地方交通審議会答申で「全線複線化の可能性を検討すべき路線」に位置づけ**。びわこ京阪奈線(仮称)構想が、近畿地方交通審議会答申で「構想路線」として認知
- 10月29日～11月4日 新潟県中越地震により被災した**建築物の応急危険度判定業務**のため、建築職員を小千谷市、栃尾市(現長岡市)、越路町に派遣した。
- 10月 JR堅田～守山駅間を最短で結ぶ**「びわこ横断エコバス」運行開始**
- 12月4日 湖東振興局建設管理部が、**台風10号による湖岸のごみ・流木清掃のイベント**を開催、2,000人を越す参加者があった。回収された流木をチップ化し無償提供したところ大反響があった。
- 12月 **一般土木工事等必携、共通仕様書、施工管理基準、発行**
- 1月1日 マキノ町、今津町、朽木村、安曇川町、高島町、新旭町が新設合併し、**高島市が誕生**、人口53,950人、面積511km²(H17国勢調査)

「オランダ堰堤」が社団法人土木学会の土木学会推奨土木遺産に認定

- 1月20日 高さ7m、長さ34m、切石空積み堰堤
着工1886年(明治19年)
完成1889年(明治22年)
草津川上流の大津市上田上桐生町
県内では、
南郷洗堰(H14、大津市)
柳ヶ瀬隧道(H15、余呉町)に次いで
3件目の認定



- 2月11日 八日市市、永源寺町、五個荘町、愛東町、湖東町が新設合併し、**東近江市が誕生**
- 2月14日 山東町、伊吹町、米原町が新設合併し、**米原市誕生**

滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター新築工事竣工

- 3月18日
 - 大津市柳が崎5
 - RC造一部S造
 - 地下1階地上4階
 - 延べ床面積7,935.87㎡
 - 総請負額33億6,262万円
 - 平成15年10月15日着工



- 3月18日 **県道草津田上インター線**、草津市野路町字亀ヶ谷から字笠ヶ谷まで 延長L=211.5m、供用開始、(重用)県道大津能登川長浜線L=23.3m

**名神高速道路
草津田上インターチェンジ開設**

- 3月19日
 - 県道342号草津田上インター線
に接続(草津市野路町)



- 3月28日 **県道大津信楽線**、大津市上田上大鳥居町字大鳥居山から字上ノ宮山まで 延長L=1,875.0m、ダム建設工事に伴う供用開始

- 3月31日 **国有財産法定外公共物(いわゆる里道・水路)**は、本年度末まで法定受託事務として知事が行ってきたが、4月1日より県下全市町にほぼ全ての**財産が譲与**され、各市町はその管理、及び処分事務を行うことになった。

- 3月31日 **滋賀県下水道普及率78.2%**、全国平均普及率68.1%、滋賀県が全国平均を10%上回る

- **国道422号大石東バイパス改築事業着工**、大津市、(L=3,090m、W=11.0m)

- **国道307号長野バイパス改築事業着工**、信楽町長野、(L=6,800m、W=12.0m)

- **草津市大路中央地区市街地再開発事業工事完了**、組合施工、0.7ha、TOWER111

平成17年(2005年)度

記 事

- 4月1日 土木交通部河港課河川適正利用対策班は、琵琶湖不法占用対策室に昇格
- 4月 設計便覧(案)急傾斜地編発行
- 5月30日 **滋賀県告示第575号、洪水予報区間の指定**
淀川水系、野洲川、左岸、甲賀市水口町巖峨字大鳥居(岩上橋)から湖南市石部北四丁目2193(石部頭首工)まで、右岸、甲賀市水口町今郷字尾畑(岩上橋)から湖南市菩提寺字平尾2111-9(石部頭首工)まで
淀川水系、杣川、左岸、甲賀市甲南町杉谷字前野(矢川橋)から野洲川合流点まで、右岸、甲賀市甲南町森尻字馬場崎(矢川橋)から野洲川合流点まで
- 6月12日 **大津放水路(1期工区)通水式**、大津市石山寺(瀬田川合流点)～若葉台(盛越川)、(延長L=2,443m、流域面積15.19km²、浸水面積の解消155ha、開削水路249m、ナトム区間411m、シールド区間1,783m、最大トンネル径10.8m、)、琵琶湖総合開発事業として、三田川、狐川、盛越川が位置づけられ、平成3年に局部改良事業として採択、平成4年に直轄化された。全体計画、L=4,713m、トンネル部4,464m(シールド部4,053m、NATM部411m、)開削水路部249m、最大トンネル径D=10.8m、)、(2期工区)兵田川、篠津川、相模川、堂の川、諸子川を流入させる計画、流域面積7.46km²。年度末頁に概略図添付
- 6月 栗東新駅促進協議会の「調整会議」において地元費用負担の枠組みを合意
- 6月 長浜新川 琵琶湖から山階町まで通水(右支川4km)
- 7月 淀川水系河川整備計画策定作業の中で、整備局が【国直轄】大戸川ダムなど淀川水系5ダムについての方針発表
- 8月1日 湖西道路が無料開放、旧161号琵琶湖大橋北側の真野5丁目では、交通量が平日24%減、休日29%減となった、また旧国道161号木の岡町では、平日33%、休日37%減となった。なお、湖西道路仰木雄琴IC付近は平日310%、休日180%の増となった。
- 8月1日 淀川水系 東近江圏河川整備計画策定公告
- 8月10日 県道加田田村線、長浜市田村町字大町から字仙堂垣内浦まで、延長L=335.0m、道路改良(バイパス)事業の完了に伴い午後1時供用開始(JR北陸線 田村アンダー開通)
- 8月31日 県道中河内木之本線、余呉町中河内字里ノ内から字カソ谷まで、延長L=1,251.4m、道路改良(バイパス)事業の完了に伴う供用開始
- 9月5日 県道彦根八日市甲西線、東近江市小田苧町字柳林から建部北町字堤外まで、延長L=302.4m、八千代橋(橋長L=285.8m、総幅員W=11.6m、PC橋)、道路改良(橋梁拡幅+歩道設置)事業に伴う供用開始
- 10月1日 米原市に近江町が編入合併、人口41,009人、面積223km²(H17国勢調査)
- 10月16日 JR北陸本線高月駅、北に150m移設・改築橋上化完成

「和南放水路(平成川)」完成

- 10月 蛇砂川の治水対策として、八年間の取り組み
東近江市山上町松張地先(和南川との合流点)で竣工式と記念碑除幕式が行われた



- 11月5日 JR草津線甲賀駅改築橋上化完成

県道湖東八日市線

■ 12月16日

東近江市鯉江町字油屋から中小路町字下巾まで延長1,621.2m、東近江大橋L=339.7m、総幅員W=14.0m、PC橋道路改良(バイパス)事業の完了に伴う供用開始、平成9年度着工



■ 12月20日

県道今津マキノ線石田川橋(石田川)完成、高島市今津町弘川、(橋長L=62.3m、幅員12.0m(11.0m)、2径間連続PC中空床版橋、工事費3億1,883万円)

■ 12月

びわこ栗東新駅設置の工事協定を締結(県、栗東市、促進協議会、JR東海)

■ 1月1日

東近江市に蒲生町、能登川町が編入合併、人口116,797人、面積383km²(H17国勢調査)

■ 2月13日

長浜市が浅井町・びわ町と新設合併

■ 2月13日

秦荘町、愛知川町が新設合併し、**愛荘町が誕生**、人口19,729人、面積38km²(H17国勢調査)

■ 2月13日

滋賀県電子入札システムによる工事入札第1号の開札業務を知事立ち会いのもとに**実施**

■ 2月19日



天川ダム試験湛水、サーチャージ水位到達

平成17年11月1日試験湛水開始(仮排水路鋼製ゲート締め切り)、試験湛水期間130日、平成18年3月10日に常時満水位まで水位低下、天川ダム関連総事業費51億4,102万円

国道367号、道路法面で大規模地滑り災害発生、高島市朽木村井、(延長127m、崩壊高さ100m、崩壊幅120m、崩壊土量約4万m³、公共土木施設被害額は8億3,372万円、現地災害査定、平成18年10月19~20日、保留解除(災害復旧)及び関連事業採択、平成18年12月26日

災害復旧区間、延長L=127m、鉄筋挿入工303本(L=2.0m~5.5m)、現場吹き付け法砕工(□150)6,928m、現場吹き付け法砕工(□300)8,602m、現場吹き付け法砕工(□400)514m、現場吹き付け法砕工(□500)462m、植生基材吹き付け工1万2,090m²、集排水ボーリング工197m、用地買収(山林)1万2,907m²

■ 3月8日

災害関連区間、延長L=127m、アンカー工293本(L=18.5~32.0m)、鉄筋挿入工303本(L=2.0m~5.5m)、現場吹き付け法砕工(□150)6,928m、現場吹き付け法砕工(□300)8,602m、現場吹き付け法砕工(□500)1,401m、植生基材吹き付け工1万1,980m²、集排水ボーリング工434m、用地買収(山林)1万6,255m²

災害復旧工事期間、平成19年5月12日~平成21年3月27日

NETIS(新技術提供システム)に登録されている高所斜面掘削工法高揚程吹き付け工法を採用している



- 3月18日 **近江鉄道線「フジテック前駅」開業**

- 3月20日 **大津市が志賀町を編入合併、人口323,719人、面積374km²(H17国勢調査)**

- 3月31日 **天川ダム竣工** 高島市今津町大供、(重力式コンクリートダム、堤高35.3m、堤頂長105.0m、堤頂幅4.5m、堤体積3万7,000m³、流域面積5.18km²、洪水調節容量132万3,000m³、洪水調節量60m³/s、事業費61億5,990万円、うちダム関連51億4,100万円、下流河川改修関連10億1,890万円)、昭和60年着手、平成17年3月12日、天川ダム試験湛水委員会第1回開催(全4回)

- 3月31日 **滋賀県下水道普及率80.3%、全国平均普及率69.3%**

大津放水路計画の概要

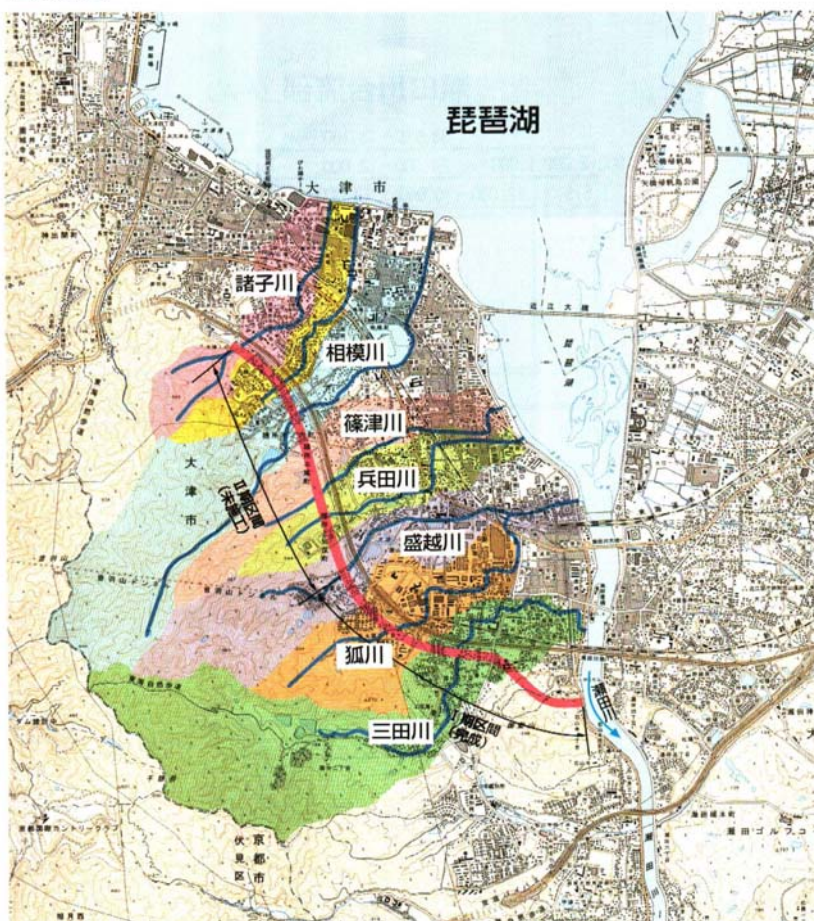
三田川を始めとする南部8河川は、その治水対策の必要性が求められており、昭和47年琵琶湖総合開発計画に、三田川及び盛越川が大津放水路として位置づけられました。その後滋賀県によって基礎調査が行われ、同様に改修が必要な隣接する河川とあわせ、その計画を諸子川まで延伸することとし、8河川を対象とする計画となりました。

8河川は、音羽山、千頭岳を水源として、流域面積15.2km²で、その流域下流部は古くから東海道の要衝として栄え、今日でも旧街道筋はそのたたずまいを残しています。上流部は県都として、又京阪神の近郊住宅地として急速に発展し、河口から水源まで市街化の様相を呈しています。

流域の中央部では名神高速道路、国道1号、JR東海道新幹線、京阪鉄道石山坂本線等の主要幹線道路、鉄道が河川を横断し、学校、病院、事業所が集中しており、極めて重要な地域であります。しかし、一方で中上流域の宅地開発により保水能力が低下し、洪水量の増大に伴い、河川の安全度が相対的に低下していきます。このため計画地域の治水に対して、早急な対策が望まれるところです。

計画は現河川の中流部で、放水路トンネルを建設し、下流部への洪水カットを行い被害を防止するとともに、上流部の改修促進を図るというものです。計画治水安全度は、計画地域が県内の行政・経済の中心であることや東西交通の要衝の地であることを考慮し、100年に1回の大規模洪水災害にも耐えられるよう設計されています。

■流域図



平成18年(2006年)度

記

事

-
- 4月1日 滋賀県が指定管理者制度を導入し、平成22年3月31日までの5年間、**下水道公社を琵琶湖流域下水道の指定管理者**に指定

 - 4月1日 **景観行政を都市計画課で担当**

 - 4月 **県道市場野田鴨線、船橋歩道橋(安曇川)完成**、高島市朽木市場～宮前坊、(橋長L=115.8m、幅員3.0m、5径間連続非合成鉄桁橋、工事費2億8,200万円)

 - 5月12日 **国道365号**、米原市藤川字芋谷から字大角豆野まで、延長L=608.0m、冬雪害防止工事(耐雪帯の設置)の完了に伴う供用開始

 - 5月23日 **県道甲賀土山線**、甲賀市甲賀町岩室字立から甲賀市土山町頓宮字上出まで、延長L=767.0m、道路改良(バイパス+橋梁+現道拡幅)事業の完了に伴い午後2時供用開始(**瀧樹大橋** 橋長L=131.5m、総幅員W=13.0m、PC橋)

 - 5月31日 **洪水予報区間の指定** 淀川水系
姉川： 右岸、長浜市野村町(野村橋)から琵琶湖まで
左岸、長浜市東上坂町(野村橋)から琵琶湖まで
高時川： 右岸および左岸、木之本町川合字里ノ内(川合橋)から姉川合流点まで

 - 5月 **びわこ栗東新駅設置工事起工**、栗東市下鉤地先(東京起点452k050m付近)、駅設備、2面5線、(上り相対式ホーム、下り島式ホーム:16両編成対応)、仮線工法、工事費、238.25億円、ダイヤ、米原駅と同程度1日67本(ひかり36本、こだま31本)停車予定

 - 6月16日 **県道藤川春照線**、米原市大清水字井ノ久保から春照字野畑まで、延長L=1,755.0m、道路改良(現道拡幅)事業の完了に伴う供用開始

 - 7月20日 **嘉田由紀子氏が第51代滋賀県知事に就任**(知事選挙は7月2日執行)

 - 7月26日 **嘉田知事が県議会で、新幹線新駅の「限りなく中止に近い凍結」を表明**

 - 7月 湖上輸送拠点整備のための地域再生計画が決定され、大津港、大浦港の整備と共に、**彦根港で岸壁の耐震補強工事**を行う、(延長121m、工事費約1億4,000万円)、臨港緑地の整備方針について、地元・関係者からなる「彦根港緑地整備検討会」が組織された。

 - 7月 **県道市場野田鴨線、中道橋(鴨川)完成**、(橋長L=65.6m、幅員10.25m、2径間連続PC中空床版橋(セグメント)、工事費4億3,400万円)

 - 9月1日 **県道新海上稲葉線**、彦根市田附町字二十坪から南三ツ谷町字裏ノ門まで延長L=1,457.6m、供用開始

 - 9月1日 **新幹線新駅問題対策室設置**
新幹線新駅問題に係る対策に関する事務を処理するため、政策調整部に新幹線新駅問題対策室を設置する

 - 9月15日 **流域治水政策室設置**
流域治水政策に関する事務を処理するため、土木交通部に流域治水政策室を設置する

 - 10月10日 **県道海津今津線**、高島市今津町南新保字町田から引川字中野まで延長L=1,408.0m、道路改良(バイパス)事業の完了に伴う供用開始

 - 10月14日 **JR北陸線、新快速電車が長浜から敦賀まで延伸**

 - 10月14日 **JR北陸本線長浜駅改築橋上化完成**

 - 10月21日 **琵琶湖環状線(北陸本線・湖西線直流通事業)開業**、長浜～近江塩津23.7km、近江塩津～永原5.8km、計29.5km

 - 12月15日 **県道中里山上日野線**、東近江市高木町字平尻から字堂山まで、延長L=1,131.0m、道路改良(現道拡幅)事業の完了に伴う供用開始
-

国道422号大石バイパス

供用開始、大津市大石富川一丁目字岩井谷から四丁目字南出まで、

■ 12月20日

全体延長L=3,090m
 今回供用L=2,430m
 車道2車線W=3.5×2
 歩道片側W=3.0m
 トンネル1箇所L=852m
 橋梁8箇所L=383m
 総事業費約97億円
 平成15年4月1日に
 信楽町境から一部
 (L=660m)供用済み



■ 12月20日 **高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)施行**
 ※高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律(旧ハートビル法)はバリアフリー新法の施行に伴い廃止

■ 12月 **設計便覧(案)第1編、土木工事共通編の運用事項発行**

■ 12月 **設計便覧(案)第3編、道路編の運用事項発行**

■ 12月 **土木設計業務等委託必携発行**

■ 2月25日 6月10日、8月5日、**芹川川づくり会議を開催**、湖東建設管理部と芹谷ダム建設事務所の合同開催、芹谷ダム中止の方針で次回開催決まらず

■ 3月19日 **JR東海道本線彦根駅東口開設**

■ 3月21日 **長浜港港湾環境整備事業第1期工事着手**、長浜市港町、(通路、駐車場・普通車83台、牽引車44台、遊歩道の舗装、客土整地、ベンチ設置など)、平成19年8月20日竣工

■ 3月30日 県道の路線認定558 **高島大津線**、起点、高島市、終点、大津市、延長L=19.795km(重用国道161号ほか9路線L=336.0m)
 県道の路線認定558 **新旭高島線**、起点、高島市新旭町饗庭、終点、高島市勝野

■ 3月31日 **滋賀県下水道普及率82.2%、全国平均普及率70.5%**

■ 3月31日 **水環境科学館の管理を指定管理者に委託**

■ 3月 愛知川河畔林整備について、**愛知川右岸河畔林の会**が結成され活動

■ 3月 **滋賀県既存建築物耐震改修促進計画を定める**

■ 3月 **滋賀県住生活基本計画策定** (計画期間：平成18年度～27年度)

■ **景観マスタープラン策定**

■ 県道近江八幡竜王線**安吉橋竣工**、近江八幡市倉橋部町、(橋長L=106.3m、総幅員W=12.0m、PC橋)

■ **土木の入札において、総合評価方式入札を導入**

河川愛護制度の中で、「川ざらえ」制度の創設

■



平成19年(2007年)度

記

事

-
- 4月6日 県道下笠大路井線(下笠踏切地下道)供用開始、草津市大路一丁目西浦906から西大路町字西浦、延長202.6m、東側部(階段L=10m、W=1.7m、折り返し斜路約L=62m、W=4m、勾配8%)、中央地下道部(約L=68m、W=4m、H=2.5m)、西側斜路(約L=40m、W=4m、勾配8%)、事業費約30億円、平成15年度末より工事着手。ピーク時踏切遮断最大45分、工事中は踏切両側にガードマン24時間配置し交通安全に務めた。

 - 5月30日 県道湖東八日市線、東近江市鯉江町字雨溝から上岸本町字岸ノ下まで延長L=1,448.5m、供用開始

 - 6月1日 土砂災害警戒情報を、彦根地方气象台と連携し提供

 - 6月8日 浸水想定区域の指定(滋賀県告示第406号および407号) 高時川および安曇川、浸水した場合に想定される水深(図省略)

 - 7月19日 新潟県中越沖地震により被災した建築物の応急危険度判定業務のため、建築職員を柏崎市に派遣した。
～23日

 - 8月31日 看護専門学校新築工事竣工
長浜市八幡東町、RC造4階、S造1階、延べ床面積5,199㎡、総請負額11億4,399万円 平成17年12月22日着工
- 
-
- 8月 国土交通省が淀川水系河川整備基本方針を策定

 - 8月 国土交通省近畿地方整備局が淀川水系河川整備計画(原案)を公表

 - 10月1日 県道木之本高月線、木之本町石道字四畔から高月町雨森字上川原まで延長L=1,052.0m、道路改良(バイパス)事業に伴う供用開始

 - 10月22日 県道中里山上日野線、東近江市永源寺高野町字藪原から字新海まで延長L=1,009.6m、河川改良事業に伴う供用開始

 - 10月31日 JR東海との協定類終了、これにより栗東新駅建設が中止となる。

 - 11月13日 長浜港港湾環境整備事業第2期工事着手、長浜市港町、(芝生及び低木植栽)、平成20年1月31日竣工

 - 11月26日 県道の路線認定340 甲賀土山インター線、起点:甲賀市甲賀町岩室、終点:甲賀土山インター
県道の路線認定341 信楽インター線、起点:甲賀市信楽町黄瀬、終点:信楽インター、L=141.6m、(重用)国道307号L=33.3m

 - 12月26日 国道1号水口道路、第2工区暫定供用開始、甲賀市水口町里北脇～泉、(延長L=2,600m、第3種第1級、暫定3車線、京都市行2車線、名古屋行1車線、5交差点に右折レーン設置)

 - 1月 電子入札の運用開始 建設工事および設計業務の全て

 - 1月 電子納品の本格運用 土木工事(500万円未満は一部本運用)と委託業務の全てを対象
-

家棟川河床切り下げ完了

(砂防事業 国道8号付近
L=893m H=約9m H2~H19)

■ 1月15日



■ 1月16日

大津駅西第一土地区画整理事業、事業計画決定、大津市春日町、御幸町、(面積3.2ha、総事業費71億5,000万円、市施行)、施工期間、平成19年~28年

■ 2月1日

県道小浜朽木高島線、高島市朽木麻生字筒淵から字下大島まで、延長L=2,033.1m、大島橋(橋長L=52.1m、総幅員W=8.2m)、供用開始(ダム関連BP及び橋梁工事)

■ 2月23日

新名神高速道路草津田上IC~亀山ジャンクション間約50km開通

事業効果: 県庁から甲賀市役所土山支所までの移動時間短縮、
開通前・約70分
(大津IC~栗東IC間名神利用)、
開通後・約40分
(大津IC~甲賀土山IC間第2名神利用)
時間短縮・約30分



■ 2月23日

国道307号信楽道路(権限代行事業)、甲賀市信楽町黄瀬~勅旨、L=2.9km、第三種二級、W=25.5m、設計速度60km/h、信楽IC取り付け暫定供用、(L=80m)

■ 3月10日

食肉衛生検査所新築工事完成、近江八幡市長光寺町、(S造1階、延べ床面積500.0㎡、総工事費8,177.4万円)、平成19年10月24日着手

■ 3月15日

近江鉄道「スクリーン駅」開業**甲賀広域都市計画道路事業公告**

■ 3月17日

1. 甲賀広域都市計画道路事業3・5・302号 葛木竜法師線
2. 施行者の名称、滋賀県
3. (1) 収用の部分、甲賀市甲南町竜法師字沢ノ尻および川原、甲南町野田字藪之内および字上 川原、甲南町寺庄字下川原ならびに甲南町葛木字馬川、字桧川および字百々地内
(2) 使用の部分、無し

■ 3月29日

国道1号栗東水口道路Ⅱ、湖南市岩根~栗東市上砥山、L=11.2km、W=19.0m、側道8.5m×2、うち湖南市岩根~菩提寺間、延長L=6,200mを暫定2車線供用開始、第三種一級、設計速度80km/h

■ 3月31日

甲賀市が単独公共下水道(信楽水再生センター)の運転を開始

■ 3月31日

滋賀県下水道普及率83.5%、全国平均普及率71.7%

■

中の井川住宅市街地整備基盤事業、中の井川放水路竣工、栗東市糺~中沢、(延長L=960m、超過確率1/50)

平成20年(2008年)度

記 事

-
- 4月1日 **土木交通部交通政策担当の理事を廃止し、河川担当の技監を設ける。**

 - 4月1日 **守山栗東雨水幹線が「新世代下水道支援事業制度」水循環創造事業に選定**

 - 4月1日 **長浜港の有料化計画**について長浜市や、地元等と『快適な長浜港をつくる会』で議論を重ね、マリーナとして斜路、駐車場等の利用料徴収が開始される

 - 5月2日 **滋賀県景観計画図書の縦覧**

 - 5月 **道路特定財源制度を廃止し、平成21年度より一般財源化することが、閣議決定された**

 - 6月13日 **一般競争入札の公告**
 1. 入札に付する事項、
 - (1) 賃借物品名および数量、**滋賀県電子入札システム機器等借入 一式**、
 - (2) 賃借期間、平成20年10月1日(水)から平成25年9月30日(月)まで、
 - (3) 入札書の受領期限、平成20年7月22日(火)、
 - (4) 開札の日時、平成20年7月23日(水)落札者決定の公告、平成20年8月15日
 1. 落札者を決定した日、平成20年7月23日(水)、
 2. 落札者の氏名、NECリース株式会社京都支店、
 3. 落札金額、1億2,250.9万円

 - 6月20日 **国土交通省近畿地方整備局が淀川水系河川整備計画(案)を公表**するとともに、河川整備計画(案)に対する関係府県知事意見を照会

 - 6月 **滋賀県道路整備アクションプログラム2008(平成20年度～平成29年度)**
どのような道路が何時までに必要かを計画し、改築系・交通安全系事業の前期5年分として約630億円を想定、また維持系事業として約280億円を想定

 - 7月18日 日本海の前線に南から温かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となり、長浜市平方町の湖北地域振興局の雨量計は、午前7時から8時の一時間に**84mmの豪雨を記録した。長浜市で床上浸水11棟、床下浸水203棟の被害があった。**

 - 7月18日 **滋賀県告示第410号、浸水想定区域の指定**
 1. 天野川、浸水した場合に想定される水深(図省略)
 2. 指定年月日、平成20年7月18日

 - 7月29日 滋賀県が公共事業評価監視委員会を開催、**栗東新都心土地区画整理事業について「事業は中止が妥当」の評価**

 - 7月 **近畿地方整備局事業評価監視委員会(再評価)**

 - 9月24日 **大津湖南都市計画道路事業の公告**
 1. 大津湖南都市計画道路事業3・2・3号大津湖南幹線
 2. 施行者の名称、滋賀県
 3. 事業地、(1)収用の部分、変更なし、(2)使用の部分 なし

 - 10月3日 **「滋賀県中長期整備実施河川の検討」結果の公表**

 - 10月30日 **クリーンセンター滋賀オープン、甲賀市甲賀町神(産業廃棄物の管理型最終処分場)**

国道303号金居原バイパス完成式

木之本町金居原～岐阜県揖斐川町坂内広瀬、全体計画延長L=5,140m(事業費66億2,900万円)を3工区に分け、事業期間は平成6年度～20年度まで。

○集落バイパス工区

L=1,735m、
関西電力施行、
平成14年11月供用開始

○アプローチ工区

L=1,964m、
滋賀県施行：
八草大橋
(橋長L=192.0m、総幅員W=9.7m、
PC橋、平成20年11月竣工)、

○八草トンネル工区

L=3,025m、
滋賀県施行、関西電力負担あり、
平成13年4月供用開始

八草トンネル滋賀県側出口には、地下熱を利用した融雪装置が整備



■ 11月14日

■ 11月14日

国道303号、木之本町金居原字オゲツツから字明後谷まで、延長L=1,459.0m、八草大橋を含む道路改良(バイパス)事業の完成に伴い午後3時供用開始

裁決手続開始決定公告

1. 起業者の名称、滋賀県
2. 事業の種類、一般国道365改築工事
(椿坂道路・余呉町椿坂字坂本谷地内から字中島地内まで)
3. 土地に関して権利を有する関係人の氏名、表のとおり(省略)
4. 裁決手続きの開始を決定した年月日、平成20年11月10日

■ 11月19日

芹谷ダム建設事業について、県の諮問機関「公共事業評価監視委員会」が事業計画の中止方針を了承し、中止が正式に決定した。

同委員会が嘉田知事に提出した意見書では、「社会・経済情勢の変化から、優先的に達成すべき治水安全度を30分の1に下げ、ダム事業を中止し、堆積土砂撤去事業を実施することは妥当」と中止を一応は支持。しかし、「撤去事業の完成後は、速やかに住民の安全を保障する治水安全度100分の1の確保を目指したダム事業及び河川改修、あるいはそれに替わる治水対策の推進を図ること」とし、ダム計画に伴う水没予定地区の住民の生活再建や、地域振興にも早急に取り組むよう求めた。

■ 1月9日

■ 1月14日

芹谷治水ダム建設事業 中止決定発表

■ 1月21日

県道近江八幡大津線、大津市萱野浦字萱野浦から玉野浦字玉野浦まで延長L=1,027.0m、道路改良(現道拡幅)事業の完成に伴う供用開始

警察本部が新築庁舎に移転

大津市打出浜1丁目
SRC造地下2階地上10階、
延べ床面積2万8,700㎡

■ 1月26日



石樽トンネル貫通

■ 1月30日



■ 1月31日 芹谷ダム建設事務所を廃止

■ 2月1日 芹谷地域振興推進対策本部(本部長:知事)を設置 芹谷地域振興事務所を発足

■ 2月17日 滋賀県景観行政団体協議会設立

■ 3月18日 県道柑子塩野線、甲賀市甲南町竜法師字山垣外から新治字水谷まで延長1,045.5m、道路改良(バイパス)事業完成に伴い午前10時供用開始

■ 3月19日 国道367号道路災害関連事業竣工、高島市朽木村井、(施行延長L=127m、高さ100m、現場吹き付け法砕工1万6,044㎡、グラウンドアンカー工301本、ロックボルト工375本、集排水ボーリング工434m、工事費11億1,000万円)

■ 3月20日 県道甲南インター線、甲賀市甲南町新治字砂山から杉谷字都谷まで延長L=1,120.9m、道路改良(バイパス)事業完成に伴い午後3時供用開始

■ 3月20日 新名神高速道路甲南ICが開通(地域活性化IC)

■ 3月21日 JR東海道本線米原駅改築橋上化完成、自由通路・在来線橋上駅舎供用開始。

■ 3月27日 滋賀県景観計画施行

■ 3月31日 滋賀県下水道普及率84.7%、全国平均普及率72.7%

■ 3月31日 国土交通省近畿地方整備局が淀川水系河川整備計画策定、【国直轄】大戸川ダムは利水の撤退に伴って、利水容量を廃止した洪水調節専用目的の流水型ダムとして、本体工事の実施時期は検討。県道大津信楽線はコスト縮減の上継続実施。

草津川放水路概成

■ 3月



平成21年(2009年)度

記

事

- 4月1日 地域振興局は平成20年度で終了となり、局内の建設管理部は平成13年に設立以来8年間で幕を閉じ、**土木事務所が復活**した。

- 4月1日 建築課の教育施設担当と行政施設担当を建築営繕担当に統合し、**建築課建築指導担当および住宅課住宅まちづくり担当の一部を統合して建築指導室を新設**する。

草津川浸水想定区域の指定

- 4月1日 1. 区域および浸水した場合に想定される水深、(図省略)
2. 指定年月日、平成21年4月1日

草津川について、滋賀県に移管されることから、知事が水防警報しなければならない河川として次のように指定する

- 4月1日 1. 指定区域 草津川
左岸 草津市青地町字堤24番地先の市道旧岡部端下流端から琵琶湖流入点まで
右岸 草津市青地町字堤24番地先の市道旧岡部端下流端から琵琶湖流入点まで

- 4月8日 **近江鉄道「ひこね芹川駅」開業**

- 4月28日 **高速道路土・日、片道上限1,000円に値下げ**、期間は平成23(2011)年3月31日迄

- 4月 草津川放水路完成に伴い、国は廃川となった**旧草津川河川敷の管理を滋賀県に移譲**

- 4月 **淀川水系における水資源開発基本計画(全部変更)が閣議決定**される。
水資源機構の丹生ダム建設事業は計画より除外される
事業計画見直しに係る諸調査は、当面の間「水資源機構」が行うこととされる

県道大津能登川長浜線

野洲市小南字仁保橋1629から近江八幡市十王町字田堂前353-2まで、
延長L=393.0m

県道大津能登川長浜線

野洲市小南字仁保橋1661-11から字仁保橋1629まで、延長L=166.0m、
仁保橋架替、延長L=88.0m、
鋼橋道路改良事業の
完成に伴う供用開始

- 5月13日



- 6月24日 **滋賀県告示第427号、犬上川浸水想定区域の指定**
1. 区域および浸水した場合に想定される水深、(図省略)
2. 指定年月日、平成21年6月24日

- 6月24日 **芹川浸水想定区域の指定**
1. 区域および浸水した場合に想定される水深、(図省略)
2. 指定年月日、平成21年6月24日

- 6月24日 **余呉川浸水想定区域の指定**
1. 区域および浸水した場合に想定される水深、(図省略)
2. 指定年月日、平成21年6月24日

- 6月30日 **(仮称)蒲生、湖東三山スマートインターチェンジの連結許可**

■ 7月1日	守山栗東雨水幹線一部(古高・勝部工区)供用開始
■ 7月3日	国道477号 、日野町村井三丁目から河原一丁目まで、延長L=732.2m、 県道土山蒲生近江八幡線 、日野町大窪字北目黒から河原一丁目16まで、延長L=491.6m、(重用)国道L=287.8m、何れも土地区画整理事業(現道拡幅)完成に伴う供用開始
■ 9月16日	民主党鳩山政権誕生 、のキャッチフレーズは「 コンクリートから人へ 」
■ 11月	竜王岡屋工業団地環境影響調査開始
■ 12月10日	国道367号 、途中谷バイパス供用開始、高島市朽木途中谷、(延長L=1,200m、幅員9.0m(車道6.0m)、事業費10億5,000万円
■ 12月28日	県道中河内木之本線 、余呉町下丹生字前田から字平篠まで、延長L=545.1m、平篠橋(橋長L=50.4m)、12月28日午後3時供用開始
■ 12月	国道365号椿坂トンネル工事着手 、余呉町椿坂(延長1,836m)、平成21年3月契約
■ 12月	「滋賀県の河川整備方針」の公表
■ 1月1日	長浜市が虎姫町、湖北町、高月町、木之本町、余呉町、西浅井町を編入合併 。人口124,498人、面積539km ² (H17国勢調査)、県内人口では、大津市、草津市に次ぐ
■ 3月21日	近江八幡市、安土町が合併し、近江八幡市誕生 、人口80,610人、面積101km ² (H17国勢調査)
■ 3月31日	県道南土山甲賀線 、甲賀市甲賀町神字唐戸川から字深山口まで、延長L=1,371.0m、道路改良事業に伴う供用開始
■ 3月31日	滋賀県下水道普及率85.4% 、全国平均73.7%、マザーレイク計画の目標値85%に到達

平成22年(2010年)度

記

事

-
- 4月1日 滋賀県規則第20号、滋賀県建築基準法等施行細則の一部を改正する規則
建築確認事務を所管する土木事務所を、甲賀・湖東、高島の3土木事務所に整理統合する

 - 6月28日 全国の**高速道路37路線の50区間で無料化の社会実験開始**、近畿地方では、伊勢・紀勢(津～大内山間L=78km)、舞鶴若狭(小浜西～吉川JCT間L=112km)、京都丹波(丹波～沓掛間L=31km)の3路線

 - 6月30日 **国道477号**、竜王町小口字ノ川原1039-1から1054-34まで、延長L=394.6m、道路法24条工事(現道拡幅)の完成に伴う供用開始
県道水口竜王線、水口町春日字芳谷から竜王町山之上字ヒフリシまで延長L=740.0m、道路改良(現道拡幅)事業に伴う供用開始
県道水口竜王線、竜王町山之上切倒4360-1から山之上6705-2まで延長L=2,853.4m、道路改良(現道拡幅)事業に伴う供用開始

 - 7月11日 **嘉田由紀子氏が第52代滋賀県知事に再任**

 - 9月1日 **淀川水系東近江圏域河川整備計画変更公告**

 - 9月8日 **県道大津信楽線**、大津市上田上大鳥居町字大鳥居山から字上ノ宮山まで延長L=1,875.0m、河川管理者と管理区域調整に伴う供用開始

 - 9月28日 「ダム事業の検証に係る検討について」の通知により、**国から北川ダム事業の検証を要請される。**

 - 9月29日 **吉川浄水場管理本館新築工事完成**、野洲市吉川、(RC造地下1階地上2階、延べ面積1,667.99㎡、総請負額3億2,392.5万円)、平成21年11月27日着手

 - 9月 **【水資源機構】丹生ダム**について「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」における、新たな評価基準としての「中間取りまとめ」が確定
「中間取りまとめ」の考え方に基づき、**ダム事業の検証に係る検討を実施**するよう、国土交通大臣より水資源機構理事長宛指示される。

 - 10月1日 **途中トンネル有料道路無料開放**、料金徴収期間 昭和63年4月5日から平成22年9月30日まで

 - 10月5日 **日野水口有料道路無料開放**、料金徴収期間 昭和55年10月5日から平成22年10月4日まで

 - 10月13日 **滋賀県告示第587号、大戸川浸水想定区域の指定**
 1. 指定の区域および浸水した場合に想定される水深、次図に示すとおり(省略)
 2. 指定年月日、平成22年10月13日

 - 10月18日 **滋賀県訓令第9号、芹谷地域振興推進室設置規定**
 1. 土木交通部に芹谷地域振興推進室を設置する
 2. 平成22年10月18日から施行する

 - 11月16日 **都市計画道路大津湖南幹線**(県道草津守山線)木川町交差点～野村中央交差点間約1.1kmを4車線で供用開始

 - 12月10日 **淀川水系甲賀・湖南圏域河川整備計画策定公告**

 - 12月20日 **都市計画道路大津湖南幹線**(県道草津守山線)野村中央交差点～駒井沢東交差点間約1.9kmを4車線で供用開始

 - 12月22日 **葉山川の国道1号横架事業、近畿地方整備局への施行委託基本協定を締結**

 - 1月18日 **芹谷地域振興計画基本方針に知事・町長が合意、調印**

 - 2月10日 **湖西線耐震補強工事完成**

 - 2月14日 **滋賀県とJR西日本との間で包括的連携協定を締結**

北川ダム建設事業

H24年1月まで検討の場3回、知事地元訪問、パブリックコメント、地域別意見交換会、淡海の川づくり検討委員会、報告の場、H23年9月11日 第三回検討の場
知事が北川ダム建設事業の一旦中止を表明

■ 2月～

- ①北川第一、第二ダムと河道改修(約487億円)を行う方法、
 - ②第一ダムと河道改修(約243億円)を行う方法、
 - ③河道改修単独(約65億円)を行う方法
- の3案を提示し、当面の整備目標(約1/30)達成のためには、ダムよりも河道改修を先行する③案が効果的・効率的と説明

■ 3月7日

県道近江八幡安土能登川自転車道線、東近江市大中町407-1から285-1まで
延長L=1,485.8m、供用開始

■ 3月11日

東日本大震災発生、14時46分18.1秒(金)に宮城県牡鹿半島の東南東沖130kmの海底を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生した。地震の規模はマグニチュード(Mw)9.0で、日本周辺における観測史上最大の地震である。最大震度は宮城県栗原市で観測された震度7で、震源域は岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmのおよそ10万平方キロメートルという広範囲に及んだ。また、宮城・栃木・福島・茨城の4県36市町村と仙台市内の1区で震度6強を観測した。また地震に伴って発生した津波により甚大な被害を及ぼした。
2013年(平成25年)1月16日時点で、震災による死者・行方不明者は約19,000人、建築物の全壊・半壊は合わせて39万戸以上、ピーク時の避難者は40万人以上に上っている。復興庁によると、2012年12月6日時点の避難者等の数は32万1,433人となっている。

■ 3月12日

全ての新快速電車が南草津駅に停車
停車本数 170本/日(土日祝:156本/日) → 293本/日(同:266本/日)

■ 3月22日

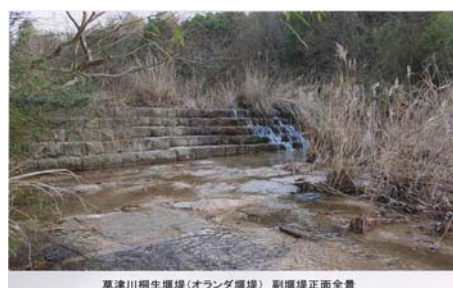
湖南水道用水供給事業大臣認可(南部上水道供給事業と東南部上水道供給事業の統合、H23.4.1事業開始)

草津川桐生堰堤(オランダ堰堤)の本堰堤と副堰堤が滋賀県有形文化財に指定される

■ 3月24日



草津川桐生堰堤(オランダ堰堤) 本堰堤正面全景



草津川桐生堰堤(オランダ堰堤) 副堰堤正面全景

■ 3月26日

国道421号石樽峠道路(権限代行)開通

いなべ市大安町～東近江市黄和田町
延長L=4.5km、石樽峠トンネル、L=4,157m
第三種三級、設計速度50km/h
トンネル部幅員7.5m+両側歩道0.75m×2)
狭小幅員、急勾配・急カーブ、大型車2t以上の通行規制の解除
平成15年度事業着手



■ 3月28日

県道大津草津線、大津市由美浜5から2まで、延長L=426.6m、大津市丸の内町57-17地先、延長L=39.9m、道路改良(現道拡幅)および橋梁拡幅工事に伴う供用開始

■ 3月29日

国道161号西大津バイパス開通、大津市近江神宮ランプ～藤尾南ランプ、(延長L=5.6km、4車線化完成、第3種第1級、設計速度80km/時、4車線)、効果、西大津バイパスの渋滞緩和および国道1号、国道161号など幹線道路の渋滞緩和、事故の減少

■ 3月31日

滋賀県下水道普及率85.8%、全国平均普及率75.1%、農業集落排水施設や合併処理浄化槽などを含めた人口普及率は97.8%となる

平成23年(2011年)度

記 事

-
- 4月1日 滋賀県規則第17号、滋賀県行政組織規則の一部を改正する規則
土木交通部に流域政策局を新設する。河港課、河川開発課、流域政策室、琵琶湖不法占用対策室は整理統合し、流域政策局の流域治水政策室、広域河川政策室、河川・港湾室、琵琶湖不法占用対策室、水源地域対策室に変更する。

 - 4月1日 **木之本土木事務所は、長浜土木事務所の支所**となり、名称は長浜土木事務所木之本支所に変更

 - 4月1日 流域下水道4処理区のうち、**湖西浄化センター(汚泥焼却処理業務を除く)および高島浄化センターの運転管理業務を包括的民間委託**とする

 - 4月18日 **大津湖南都市計画道路事業の公告**
 1. 大津湖南都市計画道路事業3・2・3号大津湖南幹線
 2. 施行者の名称、滋賀県
 3. 事業地、
(1)収用の部分、守山市三宅町字高畑を削り、同市大門町字西海道、字アコネ、字後出および同市金森町字鳥塚地内において事業地を変更する。
(2)使用の部分 なし

 - 5月10日 **JR西日本は、信楽高原鐵道に対する11億円余の補償債権の放棄を発表**。事故後20年を経過し、JR西日本との争いが終結した。

 - 5月18日 **国道477号**、日野町三十坪字番場から東近江市鑄物師町字堀越まで延長L=1,830.0m、供用開始
県道土山蒲生近江八幡線、日野町三十坪字番場から東近江市鑄物師町字堀越まで延長L=1,830.0m、供用開始

 - 5月27日 国土交通大臣がJRに対し**リニア中央新幹線建設を指示**

 - 6月19日 **高速道路土・日、片道上限1,000円と、無料化社会実験を6月19日(日)で終了**

 - 6月20日 **環境影響評価事後調査報告書の縦覧公告**
 1. 公告する事業者、国土交通省近畿地方整備局
 2. 事業者の名称、国土交通省近畿地方整備局
 3. 対象事業の名称等、
 - (1) **一般国道421号石樽峠道路**、
 - (2) 種類、一般国道改築の事業、
 - (3) 規模、2車線 延長4.5km、
 - (4) 対象事業実施区域、三重県いなべ市大安町石樽南～東近江市黄和田
 4. 事後調査の実施期間、平成21年12月から平成23年3月まで

 - 7月1日 **東日本大震災の災害復旧事業支援のため、土木技術職員を福島県に長期派遣**

 - 8月10日 **県道伊香立浜大津線**、大津市仰木二丁目字前村から千野二丁目字奥まで延長L=1,444.2m、道路改良(現道拡幅)事業の完成に伴う供用開始

 - 8月26日 県総合交通ネットワーク構想の後継プランとしての「**滋賀交通ビジョン**」の策定を諮問

 - 9月11日 **国道1号栗東水口道路Ⅱ**、湖南市菩提寺～石部、**石部大橋(側道部)開通**、延長L=0.7km、W=10.5m、石部口交差点の慢性的な交通混雑の緩和、および、野洲川右岸地域の利便性向上

 - 9月11日 **知事が北川ダムについて県・市・地元住民による「第3回検討の場会議」で凍結表明**。
①北川第一、第二ダムと河道改修(約487億円)を行う方法、②第1ダムと河道改修(約243億円)を行う方法、③河道改修単独(約65億円)を行う方法の3案を提示し、安全度を考えると河道改修が一番早く、コストも最善と③案で進める考えを示した。

 - 10月1日 台風12号紀伊半島大水害による災害復旧事業支援のため、**土木技術職員を奈良県、和歌山県に中長期派遣**(H24年度末まで)。のべ7名
-

- 12月9日 **県道桜川西中在寺線**、日野町蓮花寺字常古から日野町蓮花寺字寺門之下まで延長L=1,328.3m、供用開始

- 1月30日 北川ダム事業 国にダム事業の検証の結果として滋賀県の対応方針を報告「**北川治水ダム建設事業を一旦中止し、河道改修を先行する。**」

- 2月13日 **環境影響評価準備書の縦覧公告** 事業者、滋賀県土地開発公社理事長
 (1)、名称、(仮称) **竜王岡屋工業団地造成事業**、
 (2)、種類、工業団地の造成事業、
 (3)、規模、事業区域、約70.3ha、
 (4)、対象事業実施区域、竜王町岡屋地先
 (5)関係地域の範囲、竜王町西川、弓削、須恵、山面、七里、鶴川、橋本、加与丁、島、川守、綾戸、薬師、岩井、田中、小口、山之上、岡屋および山中、湖南市下田、日枝町、岩根および正福寺

- 2月15日 **近江大橋有料道路の料金の徴収期間の変更公告**
 料金の徴収期間 (旧)供用開始の日(昭和49年9月26日)から38年間
 (新)供用開始の日(昭和49年9月26日)から平成25年12月25日まで

県道野洲中主線

野洲市小堤字七ノ坪から上屋字高藏まで
 延長L=888.5m

- 3月19日 道路改良(JR立体交差)工事に伴う供用開始



- 3月23日 **滋賀県流域治水基本方針策定**(平成24年2月定例会 議第95号可決)

- 3月29日 23年度に設置した滋賀県自転車利用促進協議会から、21世紀の県民生活を支える自転車の利用を推進するための総合的なプランとして「**自転車がかえる湖国の暮らし(プラスサイクル推進プラン)**」の提言を得た。

- 3月29日 23年度に設置した新交通システム検討協議会から、LRTや湖上交通等**新たな交通システムの導入可能性をまとめた提言**を得た。

- 3月31日 **滋賀県下水道普及率86.4%**、全国平均普及率75.8%

- 3月 **滋賀県道路整備マスタープラン(第2次)**

- 3月 **滋賀県住生活基本計画改定** 計画期間:平成23年度～32年度

- 3月 **琵琶湖(守山地区)河川再生事業完了**

- 3月 **滋賀県高齢者居住安定確保計画策定** 計画期間:平成24年度～26年度(健康福祉部共管)

平成24年(2012年)度

記 事

- 4月1日 滋賀県職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則
知事が指定する区域に係る危機管理および防災に関する事務を整理するため、**地域防災監(次長級)**を設け、土木事務所長(大津を除く)が就任することとなった
- 4月1日 **建設技術センターが公益財団法人へ移行**
- 4月17日 **(仮称)小谷城スマートインターチェンジ連結許可**
- 4月20日 **新名神高速道路(大津市～城陽市 約25km)に事業許可**が出される
- 5月11日 **湖西浄化センター下水汚泥の燃料化事業**をDBOで公告(滋賀県初、維持管理・運営を30年間含む)
- 6月29日 **北陸新幹線金沢～敦賀間認可・着工**、敦賀から西は路線未定
- 7月11日 **北川ダム建設事業のダム事業の検証**は、国の「第25回今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」で審議され、「今後の治水対策のあり方について中間とりまとめ」で示した「共通な考え方」に沿って検討されたものであると理解された。
- 7月30日 **北川ダム建設事業**に対して、国土交通省は有識者会議の審議結果をもとに補助金交付に係る対応方針を「**中止**」と決定した。

瀬田唐橋 塗装塗り替え※、銘板設置

■ 8月2日



※塗り替えにあたり、地域住民や学識経験者からなる「瀬田唐橋景観検討委員会」を立ち上げて検討した結果、塗装色は歴史的・文化的景観に配慮し、木造橋をイメージできる「唐茶」を基調とした色合いとした。



大津南部豪雨災害

■ 8月13日
～14日

大津市南部では時間雨量約80mmの「記録的」大雨により、国道422号、県道大津南郷宇治線や国分川などが被災した他、大津市石山外畑町では土石流によりプロパンガス庫が損傷し、火災が発生。土砂に巻き込まれた負傷者も出た。山間部を中心に158カ所の土砂崩れが起こり、約15億2千万円の被害となった。



写真:鹿跳橋附近R422

- 8月31日 **近江大橋有料道路 西詰渋滞対策事業完成**(西詰6車線化工事・事業費39億円)許可
年月日:平成17年4月5日
- 9月18日 **流域治水政策の基礎データである「地先の安全度」マップが9市町で公表**される、以後、順次公表予定
- 12月8日 **国道161号志賀バイパス、大津市北比良～北小松間開通**、(延長L=3.4km、暫定2車線、第3種1級、W=11.75m)、国道比良山口交差点の交通混雑の緩和、国道161号現道の交通事故の減少および、沿道騒音の低減を図る
- 12月26日 **自民党安倍政権誕生**、キャッチフレーズは「**日本を、取り戻す。**」 **—日本経済再生—**
- 3月31日 **財団法人下水道公社解散**

付 録

歴代土木部長等一覧	頁
<input type="checkbox"/> 本庁・企業庁・公社（部長・次長・課長級）等	98
<input type="checkbox"/> 土木事務所長等	104
<input type="checkbox"/> 企業庁・公社（課長・参事級）等	106
<input type="checkbox"/> 建設事務所長等	108
滋賀の変遷	
<input type="checkbox"/> 予算（県、土木、下水道特別会計）	110
<input type="checkbox"/> 土木部、土木交通部の人員	110
<input type="checkbox"/> 滋賀県の人口・世帯数	110
<input type="checkbox"/> 市町村合併の状況	111
滋賀県の世界資本整備状況	112
滋賀県の全国比較	113

歴代土木部長等一覽

※各表左欄は歴代を表す。

土 木 部 長

25	土木部長	伏木 敏郎	昭和47.4.21
26	土木部長	藤村 実	昭和50.1.1
27	土木部長	山田 祐一	昭和52.7.1
28	土木部長	高木 徹	昭和56.4.1
29	土木部長	高橋 彌	昭和57.6.1
30	土木部長	城島 誠之	昭和61.5.16
31	土木部長	植村 忠嗣	昭和63.7.26
32	土木部長	宮尾 悦夫	平成2.11.1
33	土木部長	亀田 泰武	平成6.4.1
34	土木部長	渡辺 浩	平成8.4.1
35	土木部長	中村 昭	平成10.4.1
36	土木交通部長	栗原 秀人	平成13.4.1
37	土木交通部長	河崎 和明	平成15.8.1
38	土木交通部長	吉岡 淳	平成18.7.11
39	土木交通部長	田村 秀夫	平成20.4.1
40	土木交通部長	川那部 隆二	平成21.7.18
41	土木交通部長	竹中 喜彦	平成22.4.1
42	土木交通部長	美濃部 博	平成24.4.1

土木交通部理事

	土木交通部理事(交通政策担当)	南部 宏幸	平成14.4.1
	土木交通部理事(交通政策担当)	山本 良助	平成18.4.1

他 部 ・ 部 長 級

	企画県民部理事(空港整備局長)	堤 丈一	平成11.4.1
--	-----------------	------	----------

	琵琶湖環境部理事(環境政策)	今井 紘一	平成11.4.1
--	----------------	-------	----------

	会計管理者・兼出納局長	加藤 晴吾	平成19.4.1
--	-------------	-------	----------

	直轄・防災危機管理局長	小笠原 俊明	平成24.4.1
--	-------------	--------	----------

企業庁・部長級

	企業庁長	今井 幹夫	平成元.4.1
	企業庁長	箕浦 正	平成15.4.1
	企業庁長	川那部 隆二	平成21.4.1
	企業庁長	山下 和幸	平成21.7.18

地域振興局・部長級

	湖西地域振興局長	箕浦 正	平成13.4.1
	湖北地域振興局長	三嶋 一博	平成15.4.1
	東近江地域振興局長	古川 太郎	平成17.4.1
	湖東地域振興局長	川那部 隆二	平成20.4.1

公社副理事長・部長級

	住宅供給公社副理事長	山本 藤雄	昭和51.4.1
--	------------	-------	----------

	道路公社副理事長	斎藤 暹	平成4.4.1
--	----------	------	---------

	下水道公社副理事長	中村 傳一郎	平成22.4.1
--	-----------	--------	----------

技術センター・部長級

	建設技術センター副理事長	田中 伊三雄	平成6.4.1
	建設技術センター副理事長	吉井 昌三	平成10.4.1

土木部次長(事務)

5	土木部次長(事務)	中川 寅吉	昭和47.4.1
6	土木部次長(事務)	阪田 久司	昭和48.4.1
7	土木部次長(事務)	田中 弥三郎	昭和50.4.1
8	土木部次長(事務)	竹中 誠	昭和52.4.1
9	土木部次長(事務)	墨谷 敏雄	昭和54.4.1
10	土木部次長(事務)	山田 新二	昭和56.4.1

11	土木部次長(事務)	中川 源吾	昭和58.4.1
12	土木部次長(事務)	八木 巖	昭和60.4.1
13	土木部次長(事務)	辻本 昭	昭和62.4.1
14	土木部次長(事務)	戸田 弘	昭和63.4.1
15	土木部次長(事務)	山脇 康典	平成3.4.1
16	土木部次長(事務)	平田 耕三	平成4.4.1
17	土木部次長(事務)	村西 俊雄	平成6.4.1
18	土木部次長(事務)	岸本 正一	平成8.4.1
19	土木部次長(事務)	西川 豊弘	平成9.4.1
20	土木部次長(事務)	嶋 忠久	平成10.4.1
21	土木部次長(事務)	山田 和久	平成11.4.1
22	土木部次長(事務)	細矢 五郎	平成12.4.1
23	土木交通部次長(事務)	湯本 嘉博	平成13.4.1
24	土木交通部次長(事務)	久田 勇	平成15.4.1
25	土木交通部次長(事務)	小川 義隆	平成17.4.1
26	土木交通部次長(事務)	吉田 敏雄	平成19.4.1
27	土木交通部次長(事務)	山田 兵衛門	平成21.4.1
28	土木交通部次長(事務)	多胡 豊章	平成22.4.1
29	土木交通部次長(事務)	山中 隆	平成23.4.1
30	土木交通部次長(事務)	高砂 利夫	平成24.4.1

土木部次長(技術)

1	土木部次長(技術)	山本 藤雄	昭和49.4.1
2	土木部次長(技術)	山本 祐親	昭和51.4.1
3	土木部次長(技術)	本田 昭郎	昭和52.4.1
4	土木部次長(技術)	徳田 作蔵	昭和57.4.1
5	土木部次長(技術)	紀本 信二郎	昭和60.4.1
6	土木部次長(技術)	市丸 誠	昭和63.4.1
7	土木部次長(技術)	宮尾 悦夫	平成元.4.1
8	土木部次長(技術)	田中 伊三雄	平成2.11.15
9	土木部次長(技術)	古谷 有一	平成6.4.1
10	土木部次長(技術)	吉井 昌三	平成8.4.1
11	土木部次長(技術)	乾 淳一	平成10.4.1
12	土木部次長(技術)	樋口 寛	平成11.4.1
13	土木交通部次長(技術)	田中 健晴	平成13.4.1
14	土木交通部次長(技術)	三嶋 一博	平成14.4.1
15	土木交通部次長(技術)	西村 貞雄	平成15.4.1
16	土木交通部次長(技術)	加藤 晴吾	平成17.4.1
17	土木交通部次長(技術)	川那部 隆二	平成19.4.1
18	土木交通部次長(技術)	山下 和幸	平成20.4.1
19	土木交通部次長(技術)	竹中 喜彦	平成21.7.18
20	土木交通部次長(技術)	小笠原 俊明	平成22.4.1
21	土木交通部次長(技術)	桑山 勝則	平成24.4.1

土木部次長(都市計画)

1	土木部次長(都市計画)	小川 裕章	昭和55.
2	土木部次長(都市計画)	曾田 欽嗣	昭和57.
3	土木部次長(都市計画)	高橋 信行	昭和60.8.16
4	土木部次長(都市計画)	山田 勝己	平成元.6.1
5	土木部次長(都市計画)	大貫 誠二	平成4.
6	土木部次長(都市計画)	山本 教夫	平成7.
7	土木部次長(都市計画)	水戸川 将行	平成8.4.1
8	土木部次長(都市計画)	西川 清	平成11.4.1

土木部次長(下水道)

	土木部次長(下水道)	福田 速水	昭和49.4.1
--	------------	-------	----------

土木部次長(道路公社派遣)

	土木部次長(道路公社派遣)	後藤 博芳	昭和49.4.1
--	---------------	-------	----------

土木交通部管理監

土木交通部管理監(交通政策課長)	南部 宏幸	平成13.4.1
土木交通部管理監(交通政策課長)	山本 良助	平成16.4.1

他部・次長級

7 総務部技監(検査課長)	川田 渡	昭和62.4.1
8 総務部技監(検査課長)	千葉 米三	平成2.4.1
9 総務部技監(検査課長)	横江 武彦	平成3.4.1
10 総務部技監(検査課長)	高橋 啓	平成5.4.1
11 総務部技監(検査課長)	篠原 悠	平成8.4.1
12 総務部技監(検査課長)	遠野 喜郎	平成9.4.1
13 総務部技監(検査課長)	澤 幸司	平成10.4.1
14 総務部技監(検査課長)	安藤 悦充	平成11.4.1

企画部次長(土地開発公社)	山本 祐親	昭和49.4.1
企画部次長	坂本 新太郎	昭和53.4.1
企画部次長(水政室長)	市丸 誠	平成元.4.1
企画県民部管理監(交通政策課長)	南部 宏幸	平成12.4.1

国体高校総体事務局長	大野 豊	昭和52.4.1
教委委員会文化部長	本城 博一	昭和55.4.1

土木部・琵琶湖環境部・次長級

技監(住宅課長事務取扱)	山本 藤雄	昭和47.4.1
技監(道路公社派遣)	後藤 博芳	昭和48.4.1
下水道局長	福田 速水	昭和48.4.1
技監(技術管理室長)	杉本 良作	平成5.4.1
管理監(交通政策課長)	野坂 尚宏	平成21.4.1
技監(道路公社派遣・工務部長)	後藤 博芳	昭和48.4.1
技監(道路課長)	宮尾 悦夫	昭和62.4.1
技監(道路課長)	乾 淳一	平成7.4.1
技監(野洲川・廃川敷地)	遠野 喜郎	平成8.4.1
技監(道路課長)	初田 哲男	平成10.4.1
技監(道路課長)	井上 浩三	平成11.4.1
技監(河港課長)	勢田 昌功	平成18.9.8
技監(河川担当)	清水 重郎	平成20.4.1
技監(河川担当)	中谷 惠剛	平成22.4.1
流域政策局長	美濃部 博	平成23.4.1
流域政策局長	西川 美則	平成24.4.1
技監(河川開発課長)	澤 幸司	平成8.4.1
技監(都市計画課長)	竹島 恭一	平成14.7.1
技監(都市計画課長)	黒崎 道雄	平成16.4.1
技監(都市計画担当)	古澤 達也	平成20.7.3
技監(安心と活力の地域づくり担当)	松本 勝正	平成23.8.1
技監(住宅課長事務取扱)	山本 藤雄	昭和47.4.1
技監(建築課長)	田中英俊	昭和62.4
技監(建築課長)	二階堂 彦一	平成4.4.1
技監(建築課長)	宮川 皖	平成7.4.1
技監(建築課長)	西村 敏	平成12.4.1

環境管理監	今井 紘一	平成4.4.1
直属・統括環境管理監	今井 紘一	平成9.4.1
1 環境監	山本 重治	平成9.4.1
2 環境監	前川 幸志	平成10.4.1
3 環境監	安川 澄雄	平成11.4.1
4 環境監	神浦 一昭	平成13.4.1
5 環境監	吉川 邦生	平成14.4.1
6 環境監	望月 健太郎	平成15.4.1
1 技監(下水道担当)	中島 満喜治	昭和51.4.1
2 技監(下水道担当)	宮川 稔	昭和53.4.1
3 技監(下水道担当)	中川 幸男	昭和57.4.1
4 技監(下水道担当)	千畑 敏造	昭和59.4.1
5 技監(下水道担当)	市丸 誠	昭和62.4.1

6 技監(下水道担当)	出野上 忠孝	昭和63.4.1
7 技監(下水道担当)	田中 伊三雄	平成2.4.1
8 技監(下水道担当)	平尾 吉一	平成2.11.15
9 技監(下水道担当)	吉井 昌三	平成7.4.1
10 技監(下水道担当)	日高 明敏	平成8.4.1
琵琶湖環境部技監(下水道担当)	日高 明敏	平成9.4.1
11 琵琶湖環境部技監(下水道担当)	田中 健晴	平成12.4.1
12 琵琶湖環境部技監(下水道担当)	大迫 修	平成13.4.1
13 琵琶湖環境部技監(下水道担当)	澤井 源市	平成15.4.1
14 琵琶湖環境部技監(下水道担当)	中山 繁	平成18.4.1
15 琵琶湖環境部技監(下水道担当)	佃 学	平成19.4.1
16 琵琶湖環境部技監(下水道担当)	中村 傳一郎	平成20.4.1
17 琵琶湖環境部技監(下水道担当)	今堀 吉一	平成23.4.1

企業庁・次長級

1 企業庁次長	小林 清秀	昭和51.4.1
2 企業庁次長	伊藤 益三郎	昭和56.4.1
3 企業庁次長	紀本 信二郎	昭和57.4.1
4 企業庁次長	饗庭 宏(事)	昭和60.4.1
5 企業庁次長	河村 泰男(事)	昭和61.4.1
6 企業庁次長	千葉 米三	平成3.4.1
企業庁技監	吉川 宗利	平成3.4.1
7 企業庁次長	平松 稔三	平成5.4.1
8 企業庁次長	鈴木 密之	平成7.4.1
9 企業庁次長	松永 淳正	平成9.4.1
10 企業庁次長	前川 幸志	平成12.4.1
11 企業庁次長	矢幡 博利	平成13.4.1
12 企業庁次長	三谷 健太郎(事)	平成15.4.1
13 企業庁次長	久村 幸彦	平成16.4.1
14 企業庁次長	中野 勇	平成18.4.1
15 企業庁次長	北牧 義照	平成20.4.1
16 企業庁次長	山中 隆(事)	平成21.4.1
17 企業庁次長	今堀 吉一	平成22.4.1
18 企業庁次長	辻井 孝司	平成23.4.1
19 企業庁次長	西村 忠員(農)	平成24.4.1

県事務所・地域振興局次長級

長浜県事務所長	中島 満喜治	昭和50.4.1
長浜県事務所長	森川 忠雄	昭和59.年度途中
八日市県事務所長	今井 幹夫	昭和61.4.1
水口県事務所長	森田 實	平成3.4.1
水口県事務所長	樋口 寛	平成8.4.1
八日市県事務所長	堤 丈一	平成9.4.1
水口県事務所長	初田 哲男	平成11.4.1
東近江地域振興局技監・東近江建設管理部長	望月 健太郎	平成13.4.1
長浜地域振興局技監・湖北建設管理部長	三嶋 一博	平成13.4.1
東近江地域振興局技監・東近江建設管理部長	大西 日出夫	平成14.4.1
長浜地域振興局技監・建設管理部長	岩寄 正彰	平成14.4.1
南部地域振興局技監・南部建設管理部長	古川 太郎	平成15.4.1

高島環境総合事務所所長	北牧 義照	平成21.4.1
-------------	-------	----------

土木事務所・次長級

36 大津土木事務所長	吉田 力	平成4.4.1
37 大津土木事務所長	植田 一	平成5.4.1
38 大津土木事務所長	吉井 昌三	平成6.4.1
39 大津土木事務所長	松永 淳正	平成7.4.1
40 大津土木事務所長	安藤 悦充	平成9.4.1
41 大津土木事務所長	前川 幸志	平成11.4.1
42 大津土木事務所長	箕浦 正	平成12.4.1
43 大津土木事務所長	中川 伊左雄	平成13.4.1
44 大津土木事務所長	神浦 一昭	平成14.4.1
45 大津土木事務所長	南部 忠昭	平成15.4.1

46	大津土木事務所長	谷 和彦	平成17.4.1
47	大津土木事務所長	川那部 隆二	平成18.4.1
48	大津土木事務所長	山下 和幸	平成19.4.1
49	大津土木事務所長	小井 克己	平成20.4.1
50	大津土木事務所長	美濃部 博	平成22.4.1
51	大津土木事務所長	樋口 洋一	平成23.4.1

	南部土木事務所長・地域防災監	徳島 英和	平成24.4.1
	甲賀土木事務所長・地域防災監	辻井 孝司	平成24.4.1
	東近江土木事務所長・地域防災監	清水 雅昭	平成24.4.1
	湖東土木事務所長・地域防災監	橋本 重一	平成24.4.1
	長浜土木事務所長・地域防災監	森野 久栄	平成24.4.1
	高島土木事務所・地域防災監	斉内 正俊	平成24.4.1

公社理事・次長級

1	土地開発公社理事	山本 祐親	昭和48.4.1
2	土地開発公社理事	徳富 兼一郎	昭和51.4.1
3	土地開発公社理事	阿部 兼房	昭和52.4.1
4	土地開発公社理事	七里 徳蔵	昭和57.4.1
5	土地開発公社理事	今井 隆(農)	昭和57.
6	土地開発公社理事	田中 伊三雄	昭和63.4.1
7	土地開発公社理事	吉田 力	平成2.4.1
8	土地開発公社理事	平松 稔三	平成4.4.1
	土地開発公社技監	鈴木 密之	平成4.4.1
9	土地開発・住宅供給公社理事	横江 武彦	平成5.4.1
10	土地開発・住宅供給公社理事	土橋 忍	平成7.4.1
11	土地開発・住宅供給公社理事	樋口 寛	平成9.4.1
12	土地開発・住宅供給公社理事	田中 健晴	平成11.4.1
13	土地開発・住宅供給公社理事	神浦 一昭	平成12.4.1
14	土地開発・住宅供給公社理事	音居 友三	平成13.4.1
15	土地開発・住宅供給公社理事	望月 健太郎	平成14.4.1
16	土地開発・住宅供給公社理事	矢幡 博利	平成15.4.1
17	土地開発・住宅供給公社理事	谷 和彦	平成18.4.1
18	土地開発・住宅供給公社理事	井町 建夫	平成19.4.1
19	土地開発・住宅供給公社理事	今堀 吉一	平成21.4.1
20	土地開発・住宅供給公社理事	橋本 重一	平成22.4.1
21	土地開発・住宅供給公社理事	外村 剛	平成24.4.1

	住宅供給公社理事	大野 豊	昭和53.4.1
	住宅供給公社理事	竹内 昭二	昭和56.4.1
	住宅供給公社理事	林 英三	昭和61.4.1

1	下水道公社常務理事	北村 博	昭和58.4.1
2	下水道公社常務理事	浦部 卓士	昭和59.4.1
3	下水道公社常務理事	出野上 忠孝	昭和61.4.1
4	下水道公社常務理事	今井 幹夫	昭和63.4.1
5	下水道公社常務理事	平松 稔三	平成元.4.1
6	下水道公社常務理事	植田 一	平成4.4.1
7	下水道公社常務理事	吉田 力	平成5.4.1
8	下水道公社常務理事	篠原 悠	平成6.4.1
9	下水道公社理事	前川 幸志	平成8.4.1
10	下水道公社理事	池 明	平成10.4.1
11	下水道公社理事	大迫 修	平成15.4.1
12	下水道公社理事	中山 繁	平成16.4.1
13	下水道公社理事	久村 幸彦	平成18.4.1
14	下水道公社理事	小井 克己	平成19.4.1
15	下水道公社理事	田井中 善雄	平成20.4.1
16	下水道公社常務理事	村田 康弘	平成23.4.1

1	道路公社理事	岡部 義賢	昭和47.4.1
2	道路公社理事(工務部長)	後藤 博芳	昭和47.4.1
3	道路公社理事(工務部長事務取扱)	中島 萬喜治	昭和53.4.1

4	道路公社理事	松野 英三	昭和56.4.1
5	道路公社理事	川田 渡	昭和59.4.1
6	道路公社理事	斎藤 暹	昭和62.4.1
7	道路公社理事(工務)	古谷 有一	平成5.4.1
8	道路公社理事(工務)	土橋 忍	平成6.4.1
9	道路公社理事(工務)	前川 勝巳	平成7.4.1
	道路公社理事	前川 勝巳	平成8.4.1
10	道路公社理事	山岡 重厚	平成10.4.1
11	道路公社理事	大塚 克爾	平成12.4.1
12	道路公社理事	中川 伊左雄	平成14.4.1
13	道路公社理事	大西 日出夫	平成16.4.1
14	道路公社理事	山下 和幸	平成18.4.1
15	道路公社理事	山邊 吉蔵	平成19.4.1
16	道路公社理事	竹中 喜彦	平成21.4.1
17	道路公社理事	今堀 吉一	平成21.7.18
18	道路公社理事	清水 雅昭	平成22.4.1
19	道路公社理事	平林 光彦	平成24.4.1

	環境事業公社専務理事(兼甲賀支社長)	中野 勇	平成16.4.1
	環境事業公社専務理事(兼甲賀支社長)	清水 重郎	平成18.4.1
	完成により廃止		平成20.3.31

監 理 課 長

13	監理課長	久泉 正之	昭和47.4.1
14	監理課長	森地 善夫	昭和48.4.1
15	監理課長	中村 次男	昭和50.4.1
16	監理課長	墨谷 敏雄	昭和51.4.1
17	監理課長	森田 雅也	昭和52.4.1
18	監理課長	山本 衆一	昭和53.4.1
19	監理課長	野村 宏成	昭和54.4.1
20	監理課長	木田 源三郎	昭和55.4.1
21	監理課長	前川 利夫	昭和58.4.1
22	監理課長	青地 宗一郎	昭和60.4.1
23	監理課長	桑原 留男	昭和62.4.1
24	監理課長	平田 耕三	昭和63.4.1
25	監理課長	村西 俊雄	平成2.4.1
26	監理課長	西堀 護	平成3.4.1
27	監理課長	岸本 正一	平成4.4.1
28	監理課長	沖野 年昭	平成6.4.1
29	監理課長	吉岡 武彦	平成8.4.1
30	監理課長	馬場 章	平成9.4.1
31	監理課長	湯本 嘉博	平成10.4.1
32	監理課長	小川 啓雄	平成13.4.1
33	監理課長	沢井 進一	平成14.4.1
34	監理課長	平山 勘保	平成16.4.1
35	監理課長	吉田 敏雄	平成17.4.1
36	監理課長	阪口 榮	平成19.4.1
37	監理課長	山田 兵衛門	平成20.4.1
38	監理課長	多胡 豊章	平成21.4.1
39	監理課長	藤本 英樹	平成22.4.1
40	監理課長	拾井 泰彦	平成23.4.1
41	監理課長	八田 敬次	平成24.4.1

技 術 管 理 室 長

1	技術管理室長	鈴木 密之	平成3.4.1
2	技術管理室長(次長)	田中 伊三雄	平成4.4.1
3	技術管理室長(技監)	杉本 良作	平成5.4.1
4	技術管理室長	山本 重治	平成7.4.1
5	技術管理室長	安川 澄雄	平成9.4.1
6	技術管理室長	中川 伊左雄	平成11.4.1
7	技術管理室長	古川 太郎	平成13.4.1
8	技術管理室長	久村 幸彦	平成14.4.1

9	技術管理室長	川那部 隆二	平成16.4.1
10	技術管理室長	馬場 敏彦	平成18.4.1
11	技術管理室長	樋口 洋一	平成20.4.1
12	技術管理室長	三浦 良勝	平成22.4.1

用地課長・用地対策室長

1	用地課長(事)	馬場 春男	昭和48.4.1
2	用地課長(事)	沢井 栄一	昭和49.4.1
3	用地課長(事)	山本 栄一	昭和50.4.1
4	用地課長(事)	藤井 雅哉	昭和53.4.1
5	用地課長(事)	松井 清	昭和56.4.1
6	用地課長(事)	桂田 繁	昭和57.4.1
	監理課用地補償係・公共用地整理係に改編		昭和59.4.1
1	用地対策室長	高橋 啓	平成4.4.1
2	用地対策室長	吉井 昌三	平成5.4.1
3	用地対策室長	福原 満男	平成6.4.1
4	用地対策室長	安川 澄雄	平成7.4.1
5	用地対策室長	吉川 邦生	平成9.4.1
6	用地対策室長	竹島 恭一	平成11.4.1
7	用地対策室長	日永 清重	平成15.4.1
8	用地対策室長	尾本 克實	平成16.4.1
9	用地対策室長	中村 傳一郎	平成17.4.1
10	用地対策室長	三田村 治	平成18.4.1
11	用地対策室長	阿部 義正	平成20.4.1
12	用地対策室長(事)	小林 福夫	平成22.4.1
13	用地対策室長(事)	居森 敏夫	平成24.4.1

交通政策課長

	企画部交通対策課長	宮尾 悦夫	昭和55.4.1
	企画部交通対策課長	斎藤 暹	昭和58.4.1
	交通政策課長(事)	山本 良助	平成14.4.1
	交通政策課長(事)	堺井 拓	平成18.4.1
	交通政策課長(技)	川田 昌利	平成18.10.16
	交通政策課長(事)	竹本 重幸	平成19.4.1
	交通政策課長(事)	野坂 尚宏	平成20.4.1
	交通政策課長(事)	谷村 定義	平成24.4.1

道路課長

8	道路課長	渡辺 恭平	昭和46.11.1
9	道路課長	波田野 義孝	昭和51.
10	道路課長	近藤 修	昭和54.4.1
11	道路課長	斎藤 喜栄治	昭和57.6.17
12	道路課長	宮尾 悦夫	昭和59.4.1
	道路課長(技監)	宮尾 悦夫	昭和62.4.1
	道路課長(次長)	宮尾 悦夫	平成元.4.1
13	道路課長	鎌田 徹	平成元.9.1.
14	道路課長	乾 淳一	平成4.4.1
	道路課長(技監)	乾 淳一	平成7.4.1
15	道路課長(技監)	初田 哲男	平成10.4.1
16	道路課長(技監)	井上 浩三	平成11.4.1
17	道路課長	大西 日出夫	平成13.4.1
18	道路課長	古川 太郎	平成14.4.1
19	道路課長	山下 和幸	平成15.4.1
20	道路課長	山邊 吉蔵	平成18.4.1
21	道路課長	遠藤 司郎	平成19.4.1
22	道路課長	川那邊 修	平成21.4.1
23	道路課長	桑山 勝則	平成23.4.1
24	道路課長	川浦 雅彦	平成24.4.1

高速道路対策室

1	高速道路対策室長	堤 丈一	平成6.4.1
---	----------	------	---------

2	高速道路対策室長	太田 剛	平成7.4.1
3	高速道路対策室長	仲岸 明三郎	平成9.4.1
4	高速道路対策室長	金森 保明	平成12.4.1
5	高速道路推進室長	吉田 敏雄	平成14.4.1
6	高速道路推進室長	竹本 重幸	平成16.4.1

河港課長

8	河港課長	沢 慶一郎	昭和47.4.21
9	河港課長	伊藤 益三郎	昭和50.4.1
10	河港課長	小野 悟史	昭和56.4.1
11	河港課長	林 正夫	昭和58.5.1
12	河港課長	大西 典生	昭和61.4.1
13	河港課長	杉本 良作	平成元.7.1
14	河港課長	尾作 悦男	平成5.4.1
15	河港課長	篠田 孝	平成7.7.15
16	河港課長	加本 実	平成10.11.1
17	河港課長	澤野 久弥	平成13.7.1
18	河港課長	植田 彰	平成16.4.1
19	河港課長(技監)	勢田 昌功	平成18.9.8
20	河港課長	中谷 惠剛	平成20.4.1
21	河港課長	徳島 英和	平成22.4.1

河港課・流域政策局室長

	河港課琵琶湖不法占用対策室長(事)	大伴 泰明	平成17.4.1
	河港課琵琶湖不法占用対策室長(事)	脇坂 清七	平成19.4.1
	河港課琵琶湖不法占用対策室長(事)	植田 武弘	平成21.4.1
1	流域治水政策室長	中谷 惠剛	平成18.9.15
2	流域治水政策室長	中川 元男	平成20.4.1
3	流域治水政策室長	西 崑 照毅	平成21.4.1
	流域政策局流域治水政策室長	西 崑 照毅	平成23.4.1
	流域政策局副局長・広域河川政策室長	松野 克樹	平成23.4.1
	流域政策局河川・港湾室長	西川 美則	平成23.4.1
	流域政策局河川・港湾室長	野崎 信宏	平成24.4.1
	流域政策局水源地域対策室	寺田 建吉	平成23.4.1

河川開発室長・課長

	河川開発室長	宮川 稔	昭和48.4.1
1	河川開発課長	宮川 稔	昭和51.4.1
2	河川開発課長	徳田 作蔵	昭和52.4.1
3	河川開発課長	河村 鐵男	昭和53.4.1
4	河川開発課長	浦部 卓士	昭和55.4.1
5	河川開発課長	渡辺 一	昭和57.4.1
6	河川開発課長	出野上 忠孝	昭和58.4.1
7	河川開発課長	千葉 米三	昭和61.4.1
8	河川開発課長	吉田 力	昭和62.4.1
9	河川開発課長	高橋 啓	平成2.4.1
10	河川開発課長	篠原 悠	平成4.4.1
11	河川開発課長	澤 幸司	平成6.4.1
	河川開発課長(技監)	澤 幸司	平成8.4.1
12	河川開発課長	大塚 克爾	平成10.4.1
13	河川開発課長	大迫 修	平成12.4.1
14	河川開発課長	加藤 晴吾	平成13.4.1
15	河川開発課長	清水 重郎	平成17.4.1
16	河川開発課長	小井 克己	平成18.4.1
17	河川開発課長	藤原 敏雄	平成19.4.1
18	河川開発課長	美濃部 博	平成20.4.1
19	河川開発課長	西川 美則	平成22.4.1

計画課長・都市計画課長

4	計画課長	中島 萬喜治	昭和46.4.1
5	計画課長	大野 豊	昭和50.4.1

6	計画課長	七里 徳蔵	昭和52.4.1
7	計画課長	徳田 作蔵	昭和54.4.1
8	計画課長	出野上 忠孝	昭和57.4.1
9	計画課長	森田 實	昭和58.4.1
9	都市計画課に改称・課長	森田 實	昭和59.4.1
10	都市計画課長	倉田 昭一郎	昭和62.4.1
11	都市計画課長	平松 稔三	昭和63.4.1
12	都市計画課長	鈴木 密之	平成元.4.1
13	都市計画課長	古谷 有一	平成3.4.1
14	都市計画課長	土橋 忍	平成5.4.1
15	都市計画課長	前川 勝巳	平成6.4.1
16	都市計画課長	前川 幸志	平成7.4.1
17	都市計画課長	初田 哲男	平成8.4.1
18	都市計画課長	井上 浩三	平成10.4.1
19	都市計画課長	音居 友三	平成11.4.1
20	都市計画課長(技監)	西川 清	平成13.4.1
21	都市計画課長(技監)	竹島 恭一	平成14.7.1
22	都市計画課長	黒崎 道雄	平成15.4.1
22	都市計画課長(技監)	黒崎 道雄	平成16.4.1
23	都市計画課長	井町 建夫	平成18.4.1
24	都市計画課長	中村 傳一郎	平成19.4.1
25	都市計画課長	竹中 喜彦	平成20.4.1
26	都市計画課長	辻井 孝司	平成21.4.1
27	都市計画課長	嶋寺 源一	平成23.4.1

砂防課長

5	砂防課長	福田 速水	昭和43.12.10
6	砂防課長	本田 昭郎	昭和48.4.1
7	砂防課長	藤原 敏明	昭和52.4.1
8	砂防課長	紀本 信二郎	昭和55.4.1
9	砂防課長	川田 渡	昭和57.4.1
10	砂防課長	市丸 誠	昭和59.4.1
11	砂防課長	千葉 米三	昭和62.4.1
12	砂防課長	澤 幸司	平成2.4.1
13	砂防課長	山内 修	平成6.4.1
14	砂防課長	三嶋 一博	平成8.8.16
15	砂防課長	中野 勇	平成12.4.1
16	砂防課長	塩 耕重郎	平成16.4.1
17	砂防課長	桑山 勝則	平成20.4.1
18	砂防課長	阿部 義正	平成22.4.1
19	砂防課長	石田 良明	平成24.4.1

住宅課長

1	住宅課長	山本 藤雄	昭和44.4.1
2	住宅課長	大野 豊	昭和48.4.1
3	住宅課長	阿部 兼隆	昭和50.4.1
4	住宅課長	竹内 昭二	昭和52.4.1
5	住宅課長(事)	奥村 諷信	昭和56.4.1
6	住宅課長(事)	安本 晋次	昭和58.4.1
7	住宅課長(事)	横井 藤夫	昭和60.4.1
8	住宅課長(事)	平田 耕三	昭和62.4.1
9	住宅課長(事)	村西 俊雄	昭和63.4.1
10	住宅課長(事)	川上 明成	平成2.4.1
11	住宅課長(事)	向川 通雄	平成3.4.1
12	住宅課長(事)	吉岡 武彦	平成6.4.1
13	住宅課長(事)	湯本 嘉博	平成8.4.1
14	住宅課長(事)	三谷 健太郎	平成10.4.1
15	住宅課長(事)	上原 正男	平成12.4.1
16	住宅課長(事)	久田 勇	平成14.4.1
17	住宅課長(事)	吉田 正子	平成15.4.1
18	住宅課長(事)	清水 礼子	平成17.4.1
19	住宅課長(事)	山田 兵右衛門	平成19.4.1
20	住宅課長(事)	東 清信	平成20.4.1
21	住宅課長(事)	藤本 英樹	平成21.4.1
22	住宅課長(事)	丸尾 勉	平成22.4.1

23	住宅課長(事)	大谷 陽彦	平成23.4.1
24	住宅課長(事)	北川 久和	平成24.4.1

建築課長

1	建築課長	大野 豊	昭和44.4.1
2	建築課長	阿部 兼房	昭和48.4.1
3	建築課長	竹内 昭二	昭和50.4.1
4	建築課長	本城 博一	昭和52.4.1
5	建築課長	三谷 弘	昭和54.4.1
6	建築課長	村井 淳二	昭和55.4.1
7	建築課長	林 英三	昭和57.4.1
8	建築課長	田中 英俊	昭和60.4.1
	建築課長(技監)	田中 英俊	昭和62.4.1
9	建築課長	福井 滋	昭和63.4.1
10	建築課長	二階堂 彦一	平成3.4.1
	建築課長(技監)	二階堂 彦一	平成4.4.1
11	建築課長	宮川 皖	平成5.4.1
	建築課長(技監)	宮川 皖	平成7.4.1
12	建築課長	西村 敏	平成8.4.1
	建築課長(技監)	西村 敏	平成12.4.1
13	建築課長	藤本 晃央	平成13.4.1
14	建築課長	市田 重昭	平成15.4.1
15	建築課長(心得)	東 周次	平成15.10.15
	建築課長	東 周次	平成16.4.1
16	建築課長	平尾 政良	平成17.4.1
17	建築課長	梅影 義明	平成19.4.1
18	建築課長	西川 慎司	平成21.4.1
19	建築課長	我孫子 三男	平成22.4.1
20	建築課長	大野 喜晶	平成24.4.1

建築指導室長

1	建築指導室長	我孫子 三男	平成21.4.1
2	建築指導室長(心得)	大野 喜晶	平成22.4.1
	建築指導室長	大野 喜晶	平成23.4.1
3	建築指導室長	建部 雅俊	平成24.4.1

下水道課長・下水道計画課長

1	下水道課長	小林 清秀	昭和47.4.1
2	下水道指導課長	田中 利一	昭和48.4.1
3	下水道計画課長	沢井 栄一	昭和50.4.1
4	下水道計画課長	中村 良弘	昭和52.4.1
5	下水道計画課長	廣瀬 喜一	昭和55.4.1
6	下水道計画課長	上木 徹	昭和58.4.1
7	下水道計画課長	山脇 康典	昭和60.4.1
8	下水道計画課長	今井 清	昭和61.4.1
9	下水道計画課長	田野 嘉男	昭和62.4.1
10	下水道計画課長	富澤 健二	平成2.1.16
11	下水道計画課長	中村 栄一	平成5.4.1
12	下水道計画課長	高橋 正宏	平成8.4.1
13	下水道計画課長	榊原 隆	平成10.6.11
14	下水道計画課長	加藤 裕之	平成12.7.18
15	下水道計画課長	植松 龍二	平成15.4.1
16	下水道計画課長	白崎 亮	平成16.10.21
18	下水道課に改称・課長	白崎 亮	平成18.4.1
19	下水道課長	田井中 善雄	平成19.4.1
20	下水道課長	吉澤 正宏	平成20.4.1
21	下水道課長	齊内 正俊	平成22.4.1
22	下水道課長	川嶋 幸徳	平成24.4.1

下水道建設課長

1	下水道建設課に改称・課長	小林 清秀	昭和48.4.1
2	下水道建設課長	七里 徳蔵	昭和50.4.1
3	下水道建設課長	宮川 稔	昭和52.4.1
4	下水道建設課長	徳田 作蔵	昭和53.4.1
5	下水道建設課長	松井 大悟	昭和54.4.1

6	下水道建設課長	千畑 敏造	昭和55.4.1
7	下水道建設課長	田中 伊三雄	昭和59.4.1
8	下水道建設課長	平尾 吉一	昭和63.4.1
8	下水道建設課長(技監)	平尾 吉一	平成2.11.16
9	下水道建設課長	土橋 忍	平成3.4.1
10	下水道建設課長	松永 淳正	平成5.4.1
11	下水道建設課長	日高 明敏	平成7.4.1
12	下水道建設課長	山岡 重厚	平成8.4.1
13	下水道建設課長	田中 健晴	平成10.4.1
14	下水道建設課長	成宮 純一	平成11.4.1
15	下水道建設課長	澤井 源市	平成13.4.1
16	下水道建設課長	中山 繁	平成15.4.1
17	下水道建設課長	大原 甚造	平成16.4.1
	下水道課に統合		平成18.4.1

検 査 課 長

1	土木部検査室長	山本 祐親	昭和47.4.1
2	土木部検査室長	徳富 兼一郎	昭和48.4.1
3	総務部検査課長	曾我 繁司	昭和51.4.1
4	総務部検査課長	七里 徳蔵	昭和54.4.1
5	総務部検査課長	浦部 卓士	昭和57.4.1
6	総務部検査課長	斎藤 暹	昭和59.4.1
7	総務部検査課長(技監)	川田 渡	昭和62.4.1
8	総務部検査課長(技監)	千葉 米三	平成2.4.1
9	総務部検査課長(技監)	横江 武彦	平成3.4.1
10	総務部検査課長(技監)	高橋 啓	平成5.4.1
11	総務部検査課長(技監)	篠原 悠	平成8.4.1
12	総務部検査課長(技監)	遠野 喜郎	平成9.4.1
13	総務部検査課長(技監)	澤 幸司	平成10.4.1
14	総務部検査課長(技監)	安藤 悦充	平成11.4.1
15	総務部検査課長	寺田 明	平成13.4.1
16	総務部検査課長	南部 忠昭	平成14.4.1
17	総務部検査課長	藤本 晃央	平成15.4.1
18	総務部検査課長	市田 重明	平成16.4.1
19	総務部検査課長	田中 正男	平成17.4.1
20	総務部検査課長	馬場 敏一	平成18.4.1
21	総務部検査課長	那須 孝雄	平成20.4.1
22	総務部検査課長	北川 利幸	平成23.4.1

東京事務所・課長級

1	東京事務所副所長	箕浦 正	平成9.4.1
2	東京事務所副所長	大西 日出夫	平成11.4.1
3	東京事務所副所長	佃 学	平成13.4.1
4	東京事務所副所長	井町 建夫	平成15.4.1

東京事務所・補佐級

1	東京事務所課長	西寫 照毅	平成17.4.1
2	東京事務所課長	中寺 啓之	平成19.4.1
3	東京事務所課長	岸田 孝史	平成21.4.1
4	東京事務所課長	橋本 聡	平成23.4.1

県警本部・参事級

1	交通部交通調査官	徳田 作蔵	昭和43.4.1
2	交通部交通調査官	松野 英三	昭和45.4.1
3	交通部交通調査官	渡辺 一	昭和46.4.1
4	交通部交通調査官	進藤 幸男	昭和48.4.1
5	交通部交通調査官	北村 博	昭和50.4.1
6	交通部交通調査官	斎藤 暹	昭和51.4.1
7	交通部交通調査官	沢野 忠	昭和53.4.1
8	交通部交通調査官	平松 稔三	昭和55.4.1
9	交通部交通調査官	鈴木 密之	昭和57.4.1
10	交通部交通調査官	古谷 有一	昭和59.4.1
11	交通部交通調査官	高橋 啓	昭和61.4.1
12	交通部交通調査官	前川 勝巳	昭和63.4.1
13	交通部交通調査官	山際 欣次	平成2.4.1
14	交通部交通調査官	井上 浩三	平成4.4.1
15	交通部交通調査官	音居 友三	平成6.4.1
16	交通部交通調査官	望月 健太郎	平成8.4.1
17	交通部交通調査官	南部 忠昭	平成10.4.1
18	交通部交通調査官	大原 甚造	平成12.4.1
19	交通部交通調査官	堀井 佐登司	平成14.4.1
20	交通部交通調査官	阿部 義正	平成16.4.1
21	交通部交通調査官	清水 雅昭	平成18.4.1
22	交通部交通調査官	石田 良明	平成20.4.1
23	交通部交通調査官	嶋寺 源一	平成22.4.1
24	交通部交通調査官	国友 政幸	平成23.4.1

土木事務所所長・地域防災監
(大津)

23	大津土木事務所所長	徳富 兼一郎	昭和47.4.1
24	大津土木事務所所長	七里 徳藏	昭和48.4.1
25	大津土木事務所所長	徳田 作蔵	昭和50.4.1
26	大津土木事務所所長	河村 鐵男	昭和52.4.1
27	大津土木事務所所長	岡澤 重利	昭和53.4.1
28	大津土木事務所所長	松野 英三	昭和54.4.1
29	大津土木事務所所長	渡辺 一	昭和56.4.1
30	大津土木事務所所長	進藤 幸男	昭和57.4.1
31	大津土木事務所所長	千葉 米三	昭和59.4.1
32	大津土木事務所所長	平松 稔三	昭和61.4.1
33	大津土木事務所所長	内田 米一	昭和63.4.1
34	大津土木事務所所長	森田 實	平成元.4.1
35	大津土木事務所所長	真田 忠男	平成2.4.1
36	大津土木事務所所長	吉田 力	平成4.4.1
37	大津土木事務所所長	植田 一	平成5.4.1
38	大津土木事務所所長	吉井 昌三	平成6.4.1
39	大津土木事務所所長	松永 淳正	平成7.4.1
40	大津土木事務所所長	安藤 悦充	平成9.4.1
41	大津土木事務所所長	前川 幸志	平成11.4.1
42	大津土木事務所所長	箕浦 正	平成12.4.1
43	大津土木事務所所長	中川 伊左雄	平成13.4.1
44	大津土木事務所所長	神浦 一昭	平成14.4.1
45	大津土木事務所所長	南部 忠昭	平成15.4.1
46	大津土木事務所所長	谷 和彦	平成17.4.1
47	大津土木事務所所長	川那部 隆二	平成18.4.1
48	大津土木事務所所長	山下 和幸	平成19.4.1
49	大津土木事務所所長	小井 克己	平成20.4.1
50	大津土木事務所所長	美濃部 博	平成22.4.1
51	大津土木事務所所長	樋口 洋一	平成23.4.1

(草津・湖南・南部)

24	草津土木事務所所長	河村 鉄男	昭和46.4.1
25	草津土木事務所所長	藤田 光治	昭和48.4.1
26	草津土木事務所所長	徳田 作蔵	昭和49.4.1
27	草津土木事務所所長	松野 英三	昭和50.4.1
28	草津土木事務所所長	渡辺 一	昭和54.4.1
29	草津土木事務所所長	北村 博	昭和56.4.1
30	草津土木事務所所長	平松 稔三	昭和58.4.1
31	草津土木事務所所長	鈴木 密之	昭和59.4.1
32	草津土木事務所所長	倉田 昭一郎	昭和60.4.1
33	草津土木事務所所長	森田 實	昭和62.4.1
34	草津土木事務所所長	土橋 忍	平成元.4.1
35	草津土木事務所所長	前川 勝巳	平成3.4.1
36	草津土木事務所所長	初田 哲男	平成6.4.1
37	草津土木事務所所長	井上 浩三	平成8.4.1
38	草津土木事務所所長	神浦 一昭	平成10.4.1
39	草津土木事務所所長	岡田 勲	平成12.4.1
40	湖南地域振興局建設管理部長	吉川 邦生	平成13.4.1
41	湖南地域振興局建設管理部長	西村 貞雄	平成14.4.1
42	湖南地域振興局建設管理部長(技監)	古川 太郎	平成15.4.1
43	南部地域振興局建設管理部長	尾本 克實	平成17.4.1
44	南部地域振興局建設管理部長	堀井 孝郎	平成18.4.1
45	南部地域振興局建設管理部長	堀井 佐登司	平成19.4.1
46	南部土木事務所所長	小笠 原俊明	平成21.4.1
47	南部土木事務所所長	樋口 洋一	平成22.4.1
48	南部土木事務所所長	徳島 英和	平成23.4.1
48	南部土木事務所所長(地域防災監)	徳島 英和	平成24.4.1

(水口・甲賀)

27	水口土木事務所所長	七里 徳藏	昭和46.4.1
28	水口土木事務所所長	松野 英三	昭和48.4.1
29	水口土木事務所所長	後藤 博芳	昭和50.4.1
30	水口土木事務所所長	進藤 幸男	昭和52.4.1
31	水口土木事務所所長	北村 博	昭和53.4.1
32	水口土木事務所所長	斎藤 暹	昭和56.4.1
33	水口土木事務所所長	横江 武彦	昭和58.4.1
34	水口土木事務所所長	鈴木 密之	昭和61.4.1
35	水口土木事務所所長	真田 忠男	昭和63.4.1
36	水口土木事務所所長	松永 淳正	平成2.4.1
37	水口土木事務所所長	山本 重治	平成3.4.1
38	水口土木事務所所長	前川 幸志	平成5.4.1
39	水口土木事務所所長	安藤 悦充	平成7.4.1
40	水口土木事務所所長	西村 公雄	平成9.4.1
41	甲賀地域振興局建設管理部長	久村 幸彦	平成13.4.1
42	甲賀地域振興局建設管理部長	山下 和幸	平成14.4.1
43	甲賀地域振興局建設管理部長	清水 重郎	平成15.4.1
44	甲賀県事務所建設管理部長	服部 啓治	平成17.4.1
45	甲賀県事務所建設管理部長	阿部 義正	平成18.4.1
46	甲賀県事務所建設管理部長	藤原 敏雄	平成20.4.1
46	甲賀土木事務所所長	藤原 敏雄	平成21.4.1
47	甲賀土木事務所所長	石田 良明	平成23.4.1
48	甲賀土木事務所所長(地域防災監)	辻井 孝司	平成24.4.1

(八日市・東近江)

27	八日市土木事務所所長	伏木 末一	昭和47.4.1
28	八日市土木事務所所長	徳田 作蔵	昭和48.4.1
29	八日市土木事務所所長	岡沢 重利	昭和49.4.1
30	八日市土木事務所所長	渡辺 一	昭和51.4.1
31	八日市土木事務所所長	曾我 繁司	昭和54.4.1
32	八日市土木事務所所長	今井 幹夫	昭和57.4.1
33	八日市土木事務所所長	内田 米一	昭和61.4.1
34	八日市土木事務所所長	古谷 有一	昭和63.4.1
35	八日市土木事務所所長	吉井 昌三	平成3.4.1
36	八日市土木事務所所長	山本 重治	平成5.4.1
37	八日市土木事務所所長	堤 丈一	平成7.4.1
38	八日市土木事務所所長	中江 善雄	平成9.4.1
39	八日市土木事務所所長	望月 健太郎	平成12.4.1
39	東近江地域振興局建設管理部長(技監)	望月 健太郎	平成13.4.1
40	東近江地域振興局建設管理部長(技監)	大西 日出夫	平成14.4.1
41	東近江地域振興局建設管理部長	谷 和彦	平成16.4.1
42	東近江地域振興局建設管理部長	山邊 吉蔵	平成17.4.1
43	東近江地域振興局建設管理部長	服部 啓治	平成18.4.1
44	東近江地域振興局建設管理部長	堀井 孝郎	平成19.4.1
44	東近江土木事務所所長	堀井 孝郎	平成21.4.1
45	東近江土木事務所所長	若山 雄一	平成22.4.1
46	東近江土木事務所所長(地域防災監)	清水 雅昭	平成24.4.1

(彦根・湖東)

24	彦根土木事務所所長	藤田 光治	昭和47.4.1
25	彦根土木事務所所長	河村 鉄男	昭和48.4.1
26	彦根土木事務所所長	岡沢 重利	昭和51.4.1
27	彦根土木事務所所長	進藤 幸男	昭和53.4.1
28	彦根土木事務所所長	千葉 米三	昭和57.4.1
29	彦根土木事務所所長	平松 稔三	昭和59.4.1
30	彦根土木事務所所長	横江 武彦	昭和61.4.1
31	彦根土木事務所所長	鈴木 密之	昭和63.4.1
32	彦根土木事務所所長	篠原 悠	平成元.4.1
33	彦根土木事務所所長	日高 明敏	平成4.4.1
34	彦根土木事務所所長	中堀 正儀	平成7.4.1

35	彦根土木事務所長	成宮 純一	平成9.4.1
36	彦根土木事務所長	吉川 邦生	平成11.4.1
37	湖東地域振興局建設管理部長	南部 忠昭	平成13.4.1
38	湖東地域振興局建設管理部長	谷 和彦	平成14.4.1
39	湖東地域振興局建設管理部長	日永 清重	平成16.4.1
40	湖東地域振興局建設管理部長	中村 傳一郎	平成18.4.1
41	湖東地域振興局建設管理部長	竹中 喜彦	平成19.4.1
42	湖東地域振興局建設管理部長	清水 雅昭	平成20.4.1
42	湖東土木事務所長	清水 雅昭	平成21.4.1
43	湖東土木事務所長	森野 久栄	平成22.4.1
44	湖東土木事務所長(地域防災監)	橋本 重一	平成24.4.1

(長 浜)

27	長浜土木事務所長	徳田 作蔵	昭和46.4.1
28	長浜土木事務所長	渡辺 一	昭和48.4.1
29	長浜土木事務所長	河村 鉄男	昭和51.4.1
30	長浜土木事務所長	浦部 卓士	昭和52.4.1
31	長浜土木事務所長	出野上 忠孝	昭和55.4.1
32	長浜土木事務所長	森川 忠雄	昭和57.4.1
33	長浜土木事務所長	力石 六郎	昭和59.途中
34	長浜土木事務所長	吉井 昌三	平成元.4.1
35	長浜土木事務所長	松永 淳正	平成3.4.1
36	長浜土木事務所長	初田 哲男	平成5.4.1
37	長浜土木事務所長	樋口 寛	平成6.4.1
38	長浜土木事務所長	大塚 克爾	平成8.4.1
39	長浜土木事務所長	岡田 勲	平成10.4.1
40	長浜土木事務所長	三嶋 一博	平成12.4.1
40	長浜地域振興局建設管理部(技監)	三嶋 一博	平成13.4.1
41	長浜地域振興局建設管理部(技監)	岩寄 正彰	平成14.4.1
42	長浜地域振興局建設管理部長	山邊 吉蔵	平成15.4.1
43	長浜地域振興局建設管理部長	遠藤 司郎	平成17.4.1
44	長浜地域振興局建設管理部長	辻井 孝司	平成19.4.1
45	長浜土木事務所長	西川 美則	平成21.4.1
46	長浜土木事務所長	桑山 勝則	平成22.4.1
47	長浜土木事務所長	村井 孝義	平成23.4.1
48	長浜土木事務所長(地域防災監)	森野 久栄	平成24.4.1

(木 之 本)

19	木之本土木事務所長	岡沢 重利	昭和46.4.1
20	木之本土木事務所長	千畑 敏造	昭和49.4.1
21	木之本土木事務所長	赤井 昭	昭和52.4.1
22	木之本土木事務所長	伊藤 史郎	昭和55.4.1
23	木之本土木事務所長	平松 稔三	昭和57.4.1
24	木之本土木事務所長	吉田 力	昭和58.4.1
25	木之本土木事務所長	内田 米一	昭和60.4.1
26	木之本土木事務所長	古谷 有一	昭和61.4.1
27	木之本土木事務所長	橋爪 芳郎	昭和63.4.1
28	木之本土木事務所長	前川 勝巳	平成2.4.1
29	木之本土木事務所長	植田 一	平成3.4.1
30	木之本土木事務所長	福原 満男	平成4.4.1
31	木之本土木事務所長	井上 浩三	平成6.4.1
32	木之本土木事務所長	池 明	平成8.4.1
33	木之本土木事務所長	望月 健太郎	平成10.4.1
34	木之本土木事務所長	岩寄 正彰	平成12.4.1
34	長浜地域振興局木之本建設管理部長	岩寄 正彰	平成13.4.1
35	長浜地域振興局木之本建設管理部長	川那辺 隆二	平成14.4.1
36	長浜地域振興局木之本建設管理部長	馬場 敏彦	平成16.4.1
37	長浜地域振興局木之本建設管理部長	竹中 喜彦	平成18.4.1

38	長浜地域振興局木之本建設管理部長	小笠原 俊明	平成19.4.1
39	木之本土木事務所長	森野 久栄	平成21.4.1
40	木之本土木事務所長	石田 良明	平成22.4.1
41	長浜土木事務所木之本支所長	中川 元男	平成23.4.1

(今 津 ・ 高 島)

29	今津土木事務所長	松野 英三	昭和46.4.1
30	今津土木事務所長	藤田 要士雄	昭和48.4.1
31	今津土木事務所長	北村 博	昭和51.4.1
32	今津土木事務所長	出野上 忠孝	昭和53.4.1
33	今津土木事務所長	澤野 忠	昭和55.4.1
34	今津土木事務所長	竹内 正澄	昭和57.4.1
35	今津土木事務所長	倉田 昭一郎	昭和58.4.1
36	今津土木事務所長	吉田 力	昭和60.4.1
37	今津土木事務所長	平尾 吉一	昭和62.4.1
38	今津土木事務所長	高橋 啓	昭和63.4.1
39	今津土木事務所長	横江 武彦	平成2.4.1
40	今津土木事務所長	樋口 寛	平成3.4.1
41	今津土木事務所長	遠野 喜郎	平成6.4.1
42	今津土木事務所長	音居 友三	平成8.4.1
43	今津土木事務所長	岩崎 正彰	平成11.4.1
44	今津土木事務所長	南部 忠昭	平成12.4.1
45	高島地域振興局建設管理部長	岡 顕朗	平成13.4.1
46	高島地域振興局建設管理部長	吉田 隆昌	平成15.4.1
47	高島県事務所建設管理部長	小井 克己	平成16.4.1
48	高島県事務所建設管理部長	那須 孝雄	平成18.4.1
49	高島県事務所建設管理部長	若山 雄一	平成20.4.1
49	高島土木事務所長	若山 雄一	平成21.4.1
50	高島土木事務所長	松野 克樹	平成22.4.1
51	高島土木事務所長	外村 剛	平成23.4.1
52	高島土木事務所長(地域防災監)	齊内 正俊	平成24.4.1

企業庁課長

1	企業局建設課長	曾我 繁司	昭和47.4.1
	企業局建設課長・工務1課	曾我 繁司	昭和48.4.1
2	企業庁建設課長・工務2課	赤井 昭	昭和48.4.1
3	企業庁建設課長・工務2課	松本 光三	昭和50.4.1
4	企業庁建設課長	増田 正直	昭和51.4.1
5	企業庁建設課長	浜田 康敬	昭和52.4.1
6	企業庁建設課長	岡澤 和好	昭和54.4.1
7	企業庁建設課長	鈴木 繁	昭和57.4.1
8	企業庁建設課長	早川 哲夫	昭和59.4.1
9	企業庁建設課長	赤坂 博治	昭和60.4.1
10	企業庁建設課長	雨森 利彦	昭和61.4.1
11	企業庁建設課長	真田 忠男	昭和62.4.1
12	企業庁建設課長	吉川 宗利	昭和63.4.1
	企業庁建設課長(技監)	吉川 宗利	平成3.4.1
13	企業庁建設課長	山際 欣次	平成4.4.1
14	企業庁建設課長	田中 健晴	平成7.4.1
15	企業庁建設課長	矢幡 博利	平成10.4.1
	企業庁建設課長(次長)	矢幡 博利	平成13.4.1
16	企業庁建設課長	塩 耕重郎	平成15.4.1
17	企業庁建設課長	田中 正男	平成16.4.1
18	企業庁建設課長	北牧 義照	平成17.4.1
19	企業庁建設課長	望月 正人	平成20.4.1
20	企業庁施設整備課に改称・課長	湊 紀夫	平成23.4.1
21	企業庁施設整備課長	村井 孝義	平成24.4.1

企業庁事務所長

	湖南工業用水道・彦根工業用水道管理事務所長(兼務)	曾我 繁司	昭和47.4.1
	水道事務所長	田口 敬一	昭和53.4.1

(南 部)

1	企業庁南部用水道建設事務所長	松本 光三	昭和51.4.1
2	企業庁南部用水道建設事務所長	太田 憲三	昭和53.4.1
3	企業庁南部水道事務所長	赤坂 博治	昭和56.4.1
4	企業庁南部水道事務所長	雨森 利彦	昭和60.4.1
5	企業庁南部水道事務所長	吉川 宗利	昭和61.4.1
6	企業庁南部水道事務所長	宮崎 卓	昭和63.4.1
7	企業庁南部水道事務所長	橋本 照司	平成3.4.1
8	企業庁南部水道事務所長	川崎 榮一	平成7.4.1
9	企業庁南部水道事務所長	大迫 修	平成10.4.1
10	企業庁南部水道事務所長	加納 忠雄	平成12.4.1
11	企業庁南部水道事務所長	谷 和彦	平成13.4.1
12	企業庁南部水道事務所長	村田 欣治	平成14.4.1
13	企業庁南部水道事務所長	中谷 惠剛	平成17.4.1
14	企業庁南部水道事務所長	川中 悦雄	平成18.9.15
15	企業庁南部水道事務所長	湊 紀夫	平成21.4.1

(中 部)

1	企業庁中部用水道建設事務所長	前田 庄助	昭和51.4.1
2	企業庁中部水道建設事務所長	岡地 昭二	昭和56.4.1
3	企業庁中部水道事務所長	岩井 四郎	昭和57.4.1
4	企業庁中部水道事務所長	西塾 長昌	昭和60.4.1
5	企業庁中部水道事務所長	真田 忠男	昭和61.4.1
6	企業庁中部水道事務所長	遠野 喜郎	昭和62.4.1
7	企業庁中部水道事務所長	吉永 茂之	昭和63.4.1
8	企業庁中部水道事務所長	清水 健	平成3.4.1
9	企業庁中部水道事務所長	石橋 良樹	平成5.4.1
	企業庁中部水道事務所次長	谷口 正夫	平成7.4.1
	企業庁中部水道事務所次長	澤 庄吾	平成9.4.1
	企業庁中部水道事務所次長	近藤 登資太	平成11.4.1
	企業庁中部水道事務所次長	後藤 喜市	平成13.4.1
10	企業庁中部水道事務所長	伊吹 敏政	平成14.4.1

	企業庁中部水道事務所次長	山本 勝正	平成15.4.1
	企業庁中部水道事務所次長	古田 肇	平成17.4.1
11	企業庁中部水道事務所長	中野 雄介(水)	平成18.4.1
12	企業庁中部水道事務所長	澤村 金蔵(農)	平成21.4.1

(甲 賀)

1	企業庁甲賀用水道建設事務所長	赤坂 博治	昭和54.4.1
2	企業庁甲賀水道建設事務所長	外村 修	昭和56.4.1
2	企業庁甲賀水道事務所長	外村 修	昭和57.4.1
3	企業庁甲賀水道事務所長	吉川 宗利	昭和58.4.1
4	企業庁甲賀水道事務所長	森川 芳治	昭和61.4.1
5	企業庁甲賀水道事務所長	橋本 照司	平成元.4.1
6	企業庁甲賀水道事務所長	石橋 良樹	平成3.4.1
7	企業庁甲賀水道事務所長	今井 亮壹	平成5.4.1
8	企業庁甲賀水道事務所長	北川 久雄	平成7.4.1
9	企業庁甲賀水道事務所長	谷口 正夫	平成9.4.1
10	企業庁甲賀水道事務所長	池内 叶(農)	平成13.4.1
	企業庁甲賀水道事務所次長	古田 肇	平成16.4.1
	企業庁甲賀水道事務所次長	三宅 幹郎	平成17.4.1
11	企業庁甲賀水道事務所長	中野 雄介(水)	平成21.4.1

土地開発公社部長(課長級)

	土地開発公社技術部長	山本 祐親	昭和48.4.1
	土地開発公社技術部長	徳富 兼一郎	昭和51.4.1
	土地開発公社用地部長	小川 一夫	昭和60.4.1
	土地開発公社部長	重森 明	昭和63.4.1
	土地開発公社部長	宮川 皖	平成4.4.1
	土地開発公社部長	二階堂 彦一	平成5.4.1
	土地開発公社部長	西村 敏	平成6.4.1
	土地開発公社部長(総務用地)	岡田 勲	平成7.4.1
	土地開発公社部長	吉川 邦生	平成8.4.1
	土地開発公社部長(総務用地)	奥村 嘉章	平成8.4.1
	土地開発公社部長	奥村 嘉章	平成9.4.1
	土地開発公社部長	市田 重昭	平成15.10.15

住宅供給公社部長(課長級)

	住宅供給公社部長	阿部 兼隆	昭和47.4.1
	住宅供給公社部長	角野 辰雄	昭和48.4.1
	住宅供給公社事務局次長	本城 博一	昭和50.4.1
	住宅供給公社事務局次長	三谷 茂	昭和52.4.1
	住宅供給公社部長	林 英三	昭和60.4.1
	住宅供給公社部長	重森 明	昭和63.4.1
	住宅供給公社部長	宮川 皖	平成4.4.1
	住宅供給公社部長	二階堂 彦一	平成5.4.1
	住宅供給公社部長	西村 敏	平成6.4.1
	住宅供給公社部長	吉川 邦生	平成8.4.1
	住宅供給公社部長	奥村 嘉章	平成9.4.1
	住宅供給公社部長	市田 重昭	平成15.10.15

下水道公社

(湖 西)

1	下水道公社湖西処理場開設準備室長	関口 英巧	昭和59.11.1
2	下水道公社湖西事務所長	岩田 昌之	昭和61.4.1
3	下水道公社湖西事務所長	松永 淳正	昭和63.4.1
4	下水道公社湖西事務所長	山際 欣次	平成元.4.1
5	下水道公社湖西事務所長	安藤 悦充	平成2.4.1
6	下水道公社湖西事務所長	八幡 博利	平成5.4.1
7	下水道公社湖西事務所長	北村 邦夫	平成8.4.1
8	下水道公社湖西事務所長	井上 藤太郎	平成11.4.1
9	下水道公社湖西事務所長	藤野 徹行	平成14.4.1
10	下水道公社湖西事務所長	村田 哲也	平成17.4.1
11	下水道公社湖西事務所長	原田 孝	平成20.4.1
12	下水道公社湖西事務所長	上坂 良夫	平成21.4.1
13	下水道公社湖西事務所長	村田 康弘	平成22.4.1

(東 北 部)

	下水道公社東北部事務所開設準備室長	西村 公雄	平成2.4.1
1	下水道公社東北部事務所長	西村 公雄	平成4.4.1
2	下水道公社東北部事務所長	岡島 良弘	平成6.4.1
3	下水道公社東北部事務所長	清水 正秋	平成8.4.1
4	下水道公社東北部事務所長	井上 藤太郎	平成10.4.1
5	下水道公社東北部事務所長	奥村 嘉章	平成11.4.1
6	下水道公社東北部事務所長	西村 貞雄	平成12.4.1
7	下水道公社東北部事務所長	杉本 博之	平成13.4.1
8	下水道公社東北部事務所長	川村 吉雄	平成16.4.1
9	下水道公社東北部事務所長	吉田 周一郎	平成17.4.1
10	下水道公社東北部事務所長	川口 敏廣	平成19.4.1
11	下水道公社東北部事務所長	吉田 周一郎	平成20.4.1
12	下水道公社東北部事務所長	間壁 誠	平成21.4.1
13	下水道公社東北部事務所長	大喜多 秀哉	平成23.4.1

(高 島)

1	下水道公社高島事務所長	加納 忠雄	平成9.4.1
2	下水道公社高島事務所長	川崎 喜一	平成12.4.1
3	下水道公社高島事務所長	上原 秀介	平成14.4.1
4	下水道公社高島事務所長	吉田 周一郎	平成15.4.1
5	下水道公社高島事務所長	出 茂夫	平成17.4.1
6	下水道公社高島事務所長	川口 敏廣	平成19.4.1
7	下水道公社高島事務所長	吉田 周一郎	平成20.4.1
8	下水道公社高島事務所長	間壁 誠	平成21.4.1

日本下水道事業団
(滋 賀 事 務 所)

1	下水道事業団滋賀事務所長	宇野 幸彦	平成4.4.1
2	下水道事業団滋賀事務所長	成宮 純一	平成6.4.1
3	下水道事業団滋賀事務所長	岡 顕朗	平成9.4.1
4	下水道事業団滋賀事務所長	中山 繁	平成13.4.1
5	下水道事業団滋賀事務所長	大原 甚造	平成15.4.1
6	下水道事業団滋賀事務所長	川口 敏廣	平成17.4.1
7	下水道事業団滋賀事務所長	間壁 誠	平成19.4.1
8	下水道事業団滋賀事務所長	今堀 嘉一	平成21.4.1
9	下水道事業団滋賀事務所長	奥村 茂信	平成23.4.1

(西 日 本 設 計 セ ン タ ー)

1	下水道事業団 西日本設計センター 計画設計課長	田井中 善雄	平成16.4.1
2	下水道事業団 西日本設計センター 計画設計課長	今堀 吉一	平成18.4.1
3	下水道事業団 西日本設計センター 計画設計課長	川嶋 幸徳	平成20.4.1

**建設事務所所長
(大津港建設)**

1	大津港建設事務所所長	宮崎 卓	昭和62.4.1
2	大津港建設事務所所長	植田 一	昭和63.4.1
3	大津港建設事務所所長	樋口 寛	平成2.4.1
4	大津港建設事務所所長	成宮 純一	平成3.4.1
5	大津港建設事務所所長	音居 友三	平成4.4.1
6	大津港建設事務所所長	上野 利一	平成6.4.1
7	大津港建設事務所所長	野村 喜一郎	平成7.4.1
8	大津港建設事務所所長	南部 忠昭	平成8.4.1
9	大津港建設事務所所長	石塚 将隆	平成10.4.1

(湖東ダム・芹谷地域振興)

1	湖東ダム管理事務所所長(兼)	河村 鐵男	昭和48.4.1
2	湖東ダム管理事務所所長	紀本 信二郎	昭和49.4.1
3	湖東ダム建設事務所所長	赤井 昭	昭和51.4.1
4	湖東ダム建設事務所所長	川田 渡	昭和52.4.1
5	湖東ダム建設事務所所長	千葉 米三	昭和55.4.1
6	湖東ダム建設事務所所長	宮崎 卓	昭和57.4.1
7	湖東ダム建設事務所所長	篠原 悠	昭和60.4.1
8	湖東ダム建設事務所所長	田中 釀一郎	昭和61.4.1
9	湖東ダム建設事務所所長	澤 幸司	昭和63.4.1
10	湖東ダム建設事務所所長	前川 幸志	平成2.4.1
11	湖東ダム建設事務所所長	池 明	平成5.4.1
12	湖東ダム建設事務所所長	岡田 勲	平成8.4.1
13	湖東ダム建設事務所所長	中村 健	平成10.4.1
14	湖東ダム建設事務所所長	日永 清重	平成13.4.1
15	湖東ダム建設事務所所長	服部 啓治	平成14.4.1
16	芹谷ダム建設事務所所長	服部 啓治	平成16.4.1
17	芹谷ダム建設事務所所長	藤原 敏雄	平成17.4.1
18	芹谷ダム建設事務所所長	橋本 重一	平成19.4.1
19	芹谷地域振興事務所所長	橋本 重一	平成21.2.1
20	芹谷地域振興事務所所長	川浦 雅彦	平成22.4.1
21	芹谷地域振興事務所所長	中寺 啓之	平成24.4.1

(青土ダム)

1	青土ダム建設事務所所長	紀本 信二郎	昭和51.4.1
2	青土ダム建設事務所所長	川田 渡	昭和55.4.1
3	青土ダム建設事務所所長	高橋 啓	昭和57.4.1
4	青土ダム建設事務所所長	篠原 悠	昭和61.4.1

(北川ダム・北川水源地域振興)

1	北川ダム建設事務所所長	樋口 寛	平成元.4.1
2	北川ダム建設事務所所長	池 明	平成2.4.1
3	北川ダム建設事務所所長	大塚 克爾	平成5.4.1
4	北川ダム建設事務所所長	神浦 一昭	平成8.4.1
5	北川ダム建設事務所所長	寺田 明	平成10.4.1
6	北川ダム建設事務所所長	加納 忠雄	平成13.4.1
7	北川ダム建設事務所所長	高橋 國雄	平成15.4.1
8	北川ダム建設事務所所長	那須 孝雄	平成17.4.1
9	北川ダム建設事務所所長	上坂 良夫	平成18.4.1
10	北川ダム建設事務所所長	外村 剛	平成21.4.1
11	北川ダム建設事務所所長	饗庭 啓良	平成23.4.1
12	北川水源地域振興事務所所長	饗庭 啓良	平成24.4.1

(公園緑地)

1	公園緑地事務所所長	竹内 正澄	昭和58.4.1
2	公園緑地事務所所長	植田 一	昭和61.4.1
3	公園緑地事務所所長	田中 釀一郎	昭和63.4.1
4	公園緑地事務所所長	落合 三男	平成元.4.1
5	公園緑地事務所所長	福原 満男	平成2.4.1
6	公園緑地事務所所長	奥村 嘉章	平成4.4.1

7	公園緑地事務所所長	中堀 正儀	平成6.4.1
8	公園緑地事務所所長	中江 善雄	平成7.4.1
9	公園緑地事務所所長	山本 順一郎	平成9.4.1
10	公園緑地事務所所長	田中 乙美	平成13.4.1
11	公園緑地事務所所長	三田村 治	平成15.4.1
12	公園緑地事務所所長	原田 孝	平成18.4.1
13	廃止		平成20.3.31

(湖南中部流域下水道)

1	湖南中部流域下水道事務所所長	北村 博	昭和49.4.1
2	湖南中部流域下水道事務所所長	浦部 卓	昭和50.4.1
3	湖南中部流域下水道事務所所長	千畑 敏造	昭和52.4.1
4	湖南中部流域下水道事務所所長	赤井 昭	昭和55.4.1
5	湖南中部流域下水道事務所所長	田中 伊三雄	昭和57.4.1
6	湖南中部流域下水道事務所所長	平尾 吉一	昭和59.4.1
7	湖南中部流域下水道事務所所長	岩田 昌之	昭和62.4.1
8	湖南中部流域下水道事務所所長	遠野 喜郎	平成2.4.1
9	湖南中部流域下水道事務所所長	日高 明敏	平成3.4.1
10	湖南中部流域下水道事務所所長	真田 忠男	平成4.4.1
11	湖南中部流域下水道事務所所長	山際 欣次	平成7.4.1
12	湖南中部流域下水道事務所所長	宇野 幸彦	平成11.4.1
13	湖南中部流域下水道事務所所長	西村 貞雄	平成13.4.1
14	湖南中部流域下水道事務所所長	大原 甚造	平成14.4.1
15	湖南中部流域下水道事務所所長	宮田 茂雄	平成15.4.1
16	湖南中部流域下水道事務所所長	佃 学	平成17.4.1
17	湖南中部流域下水道事務所所長	川那邊 修	平成19.4.1
18	湖南中部流域下水道事務所所長	川中 悦雄	平成21.4.1
19	湖南中部流域下水道事務所所長	山岡 和則	平成24.4.1

(湖西流域下水道)

1	湖西流域下水道事務所所長	森川 忠雄	昭和53.4.1
2	湖西流域下水道事務所所長	平尾 吉一	昭和55.4.1
3	湖西流域下水道事務所所長	真田 忠男	昭和57.4.1
4	廃止		昭和61.3.31

(東北部流域下水道)

1	東北部流域下水道事務所所長	川田 渡	昭和49.4.1
2	東北部流域下水道事務所所長	田中 忠雄	昭和52.4.1
3	東北部流域下水道事務所所長	森川 忠雄	昭和55.4.1
4	東北部流域下水道事務所所長	雨森 利彦	昭和57.4.1
5	東北部流域下水道事務所所長	橋爪 芳郎	昭和60.4.1
6	東北部流域下水道事務所所長	篠原 悠	昭和63.4.1
7	東北部流域下水道事務所所長	日高 明敏	平成元.4.1
8	東北部流域下水道事務所所長	植田 一	平成2.4.1
9	東北部流域下水道事務所所長	遠野 喜郎	平成3.4.1
10	東北部流域下水道事務所所長	山岡 重厚	平成6.4.1
11	東北部流域下水道事務所所長	宇野 幸彦	平成8.4.1
12	東北部流域下水道事務所所長	杉本 博之	平成11.4.1
13	東北部流域下水道事務所所長	田中 正男	平成13.4.1
14	東北部流域下水道事務所所長	堀井 佐登司	平成16.4.1
15	東北部流域下水道事務所所長	吉田 周一郎	平成19.4.1
16	東北部流域下水道事務所所長	徳島 英和	平成20.4.1
17	東北部流域下水道事務所所長	山岡 和則	平成22.4.1
18	東北部流域下水道事務所所長	田中 長信	平成24.4.1

(高島流域下水道)

1	高島流域下水道事務所所長	山岡 重厚	平成2.4.1
2	高島流域下水道事務所所長	安川 澄雄	平成4.4.1
3	高島流域下水道事務所所長	奥村 嘉章	平成7.4.1
4	高島流域下水道事務所所長	岡 顕朗	平成8.4.1
5	高島流域下水道事務所所長	大迫 修	平成9.4.1

6	高島流域下水道事務所長	中川 伊左雄	平成10.4.1
7	高島流域下水道事務所長	石居 康成	平成12.4.1
8	高島流域下水道事務所長	川崎 喜一	平成14.4.1
	廃止		平成15.3.31

(日野水口有料道路建設)

1	日野水口有料道路建設事務所長	前川 勝己	昭和54.4.1
	廃止		昭和56.3.31

(近江大橋建設)

1	近江大橋建設事務所長	土橋 忍	昭和56.4.1
2	近江大橋建設事務所長	乾 淳一	昭和58.4.1
3	近江大橋建設事務所長	岡 顕朗	昭和61.4.1
	廃止		昭和62.3.31

(途中トンネル有料道路建設)

1	途中トンネル有料道路建設事務所	岡 顕朗	昭和62.4.1
	廃止		昭和63.3.31

(琵琶湖大橋建設)

1	琵琶湖大橋建設事務所長	松永 淳正	平成元.4.1
2	琵琶湖大橋建設事務所長	初田 哲男	平成2.4.1
3	琵琶湖大橋建設事務所長	安藤 悦充	平成5.4.1
	廃止		平成7.3.31

(環境事業公社甲賀支社)

1	環境事業公社専務理事兼甲賀支社長	中野 勇	平成16.4.1
2	環境事業公社専務理事兼甲賀支社長	清水 重郎	平成18.4.1
	廃止		平成20.3.31

滋賀県の人口・世帯数

年	人口		世帯数
	総数	男女	
S47 (1972)	924,479	449,328	224,246
S48 (1973)	944,223	480,361	228,217
S49 (1974)	967,078	472,831	232,519
S50 (1975)	985,621	481,733	250,944
S51 (1976)	1,005,593	492,082	255,270
S52 (1977)	1,025,638	502,429	259,473
S53 (1978)	1,043,492	511,357	263,270
S54 (1979)	1,063,037	521,333	267,675
S55 (1980)	1,079,898	529,208	302,635
S56 (1981)	1,095,584	537,038	306,459
S57 (1982)	1,110,793	544,649	310,336
S58 (1983)	1,125,155	551,775	314,410
S59 (1984)	1,137,932	558,246	318,407
S60 (1985)	1,155,844	568,735	330,012
S61 (1986)	1,166,928	574,080	333,557
S62 (1987)	1,178,854	579,928	337,798
S63 (1988)	1,192,558	586,576	343,574
H元 (1989)	1,208,856	594,785	350,763
H 2 (1990)	1,222,411	601,082	362,253
H 3 (1991)	1,236,085	608,061	369,731
H 4 (1992)	1,248,552	614,541	376,878
H 5 (1993)	1,261,342	621,001	384,495
H 6 (1994)	1,274,787	627,834	392,366
H 7 (1995)	1,287,005	634,648	405,349
H 8 (1996)	1,299,045	641,137	412,937
H 9 (1997)	1,311,514	647,486	421,330
H10 (1998)	1,324,148	654,021	430,185
H11 (1999)	1,334,166	659,110	438,253
H12 (2000)	1,342,832	663,432	453,695
H13 (2001)	1,352,361	667,940	461,672
H14 (2002)	1,359,773	671,107	468,125
H15 (2003)	1,366,415	673,808	474,435
H16 (2004)	1,374,182	677,303	482,112
H17 (2005)	1,380,361	681,474	495,960
H18 (2006)	1,387,110	685,723	506,434
H19 (2007)	1,394,809	689,872	516,221
H20 (2008)	1,401,073	693,106	525,008
H21 (2009)	1,402,132	692,886	530,281
H22 (2010)	1,410,777	696,769	535,606
H23 (2011)	1,414,398	698,585	542,752
H24 (2012)	1,456,546	699,480	548,814

※毎年10月1日現在

土木・土木交通部 人員の変遷

本庁	土木事務所等		計		合計				
	事務 技術	現業	事務 技術	現業					
89	126	5	134	292	120	223	418	125	766
90	138	1	160	339	58	250	477	59	786
92	138	1	165	339	50	257	477	51	785
92	142	0	171	347	40	263	489	40	792
95	149	0	168	353	39	263	502	39	804
91	154	0	165	361	37	256	515	37	808
96	154	0	165	362	38	261	516	38	815
95	152	0	164	367	38	259	519	38	816
93	154	0	166	370	38	259	524	38	821
83	133	0	151	331	37	234	464	37	735
83	132	0	150	325	36	233	457	36	726
81	132	0	149	325	37	230	457	37	724
81	130	0	148	327	36	229	457	36	722
91	127	0	135	330	36	226	457	36	719
90	130	0	132	324	38	222	454	38	714
96	129	0	129	317	36	225	446	36	707
95	128	0	125	316	34	220	444	34	698
94	126	0	111	300	35	205	426	35	666
94	125	0	103	292	35	197	417	35	649
92	122	0	102	287	34	194	409	34	637
93	124	0	99	275	34	192	399	34	625
95	125	0	97	268	33	192	393	33	618
95	121	0	98	257	30	193	378	30	601
96	122	0	90	255	29	186	377	29	592
94	121	0	101	245	28	195	366	28	589

※H9 4月1日から下水道は琵琶湖環境部(本表に含まず)

※H13 4月1日から土木交通部に名称変更

予算等の変遷

年度	県一般会計	土木一般会計	下水道特別会計		普及率(%)
			決算額	普及率(%)	
S47 (1972)	74,431,000	14,907,410	1,320,000	2.6	
S48 (1973)	97,941,430	19,588,286	2,986,460	3.0	
S49 (1974)	115,751,000	20,920,280	3,756,619	3.0	
S50 (1975)	128,937,150	18,945,640	4,361,589	3.2	
S51 (1976)	142,780,000	21,381,240	3,021,212	3.6	
S52 (1977)	168,650,000	25,589,100	4,470,098	3.8	
S53 (1978)	201,588,000	34,249,880	7,659,352	4.1	
S54 (1979)	228,078,000	41,615,890	13,378,863	4.3	
S55 (1980)	242,428,000	41,939,860	14,812,915	4.6	
S56 (1981)	262,208,000	44,510,650	14,034,930	4.8	
S57 (1982)	275,230,000	45,388,330	9,847,109	7.8	
S58 (1983)	281,430,000	46,100,000	9,631,844	8.9	
S59 (1984)	290,730,000	47,760,800	9,633,969	11.0	
S60 (1985)	303,060,000	52,479,330	10,815,860	12.9	
S61 (1986)	320,670,000	57,247,340	11,290,945	15.2	
S62 (1987)	332,770,000	61,401,190	14,223,576	17.1	
S63 (1988)	361,300,000	65,180,390	13,351,424	20.4	
H元 (1989)	390,388,000	70,231,010	14,136,629	23.5	
H 2 (1990)	430,218,000	74,887,940	15,422,265	28.2	
H 3 (1991)	477,032,000	88,801,550	16,725,926	30.5	
H 4 (1992)	501,630,000	97,490,240	21,698,634	33.9	
H 5 (1993)	534,380,000	103,014,430	28,202,057	36.1	
H 6 (1994)	584,430,000	113,858,690	21,696,674	39.3	
H 7 (1995)	581,243,000	114,683,510	26,620,951	43.0	
H 8 (1996)	586,980,000	117,592,470	23,912,154	46.7	
H 9 (1997)	590,345,000	114,697,290	21,784,557	50.5	
H10 (1998)	586,840,000	102,308,910	29,239,914	55.0	
H11 (1999)	582,880,000	95,154,370	23,127,484	58.8	
H12 (2000)	579,570,000	93,508,820	22,552,606	64.5	
H13 (2001)	579,630,000	93,639,410	20,543,098	69.5	
H14 (2002)	564,890,000	86,639,430	18,982,286	72.6	
H15 (2003)	548,070,000	78,083,000	16,282,275	75.6	
H16 (2004)	544,820,000	79,771,680	16,555,814	78.2	
H17 (2005)	510,770,000	66,293,990	15,848,483	80.3	
H18 (2006)	504,980,000	67,656,310	12,470,383	82.2	
H19 (2007)	507,310,000	61,859,340	8,817,433	83.5	
H20 (2008)	493,557,360	55,449,250	10,207,667	84.7	
H21 (2009)	493,890,610	54,733,070	6,365,081	85.4	
H22 (2010)	494,630,000	47,662,680	6,653,736	85.8	
H23 (2011)	498,380,000	46,516,720	6,087,015	86.4	
H24 (2012)	490,080,000	44,763,080			

※平成13年度末には全国平均を上回る

※普及率は年度末数値 (郡市区域内人口/行政区域域内人口) x 100

※H9 4月1日から下水道は琵琶湖環境部

※H13 4月1日から土木交通部に名称変更

滋賀県の社会資本整備状況

事業 目標	整備にあたっての 課題と方針	整備状況				
		整備項目	滋賀県	全国平均	順位	備考
道 路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域ネットワークの形成 ・ 主要渋滞ポイントの解消 ・ 交通結節点（駅等）の強化 ・ 安全で快適な歩行空間の創出 	国道の整備率	53.6%	66.0%	39	H22年度末
		県道の整備率	49.9%	58.3%	34	
		歩道の設置率	43.0%	44.7%	24	
治水等	県土豊かな自然との共生を目指した安全・安心な川づくりのための治水事業の推進	河川の整備率	55.5%	—	—	H23年度末 ※50mm/h対応
	土砂災害からの安全・安心の確保をめざす砂防事業の推進	土石流危険渓流の整備率	17.0%	約22%	—	滋賀県は H23年度末 全国平均は H21年度末
		急傾斜地危険箇所	22.9%	約26%	—	
下水道	安全・安心、快適な暮らしの実現と良好な環境の創造	下水道普及率	86.4%	75.8%	7	H23年度末
		高度処理普及率	85.4%	20.2%	1	H22年度末
都 市 計 画	全国水準の街路・公園整備を目標に“人も元気、街も元気な都市作り”の推進	街路の整備率	40.3%	60.1%	46	H22年度末
		1人当たりの都市公園面積	8.6m ²	9.9m ²	40	H23年度末
住 宅	市街地の再開発により中心市街地を活性化	市街地再開発整備済面積	4.50ha	9.73ha	22	H23年度末

滋賀県の全国比較

元気に伸びゆく滋賀県	参考				
<p>平成22年10月から平成23年9月の人口増加率は0.19%で全国3位です。 自然増減率（0.11%）は全国3位、社会増減率（0.08%）は全国5位です。</p>	<p>人口増減率 1位 沖縄県 0.59% 2位 東京都 0.28% 全国平均 Δ0.20% （平成23年推計人口年報／総務省）</p>				
<p>人口増加率</p> <table border="0"> <tr> <td> <p><平成17年～平成22年></p> <p>1位 東京都 2.6% 2位 沖縄県 2.4% 3位 神奈川県 1.9% 4位 滋賀県 1.5% 全国平均 -0.5%</p> </td> <td> <p><平成22年～平成27年></p> <p>1位 沖縄県 1.6% 2位 東京都 1.2% 3位 神奈川県 0.6% 4位 滋賀県 0.4% 全国平均 -1.4%</p> </td> </tr> <tr> <td> <p><平成27年～平成32年></p> <p>1位 沖縄県 0.9% 2位 東京都 0.3% 3位 滋賀県 -0.3% 全国平均 -2.1%</p> </td> <td> <p><平成32年～平成37年></p> <p>1位 沖縄県 0.3% 2位 東京都 -0.4% 3位 滋賀県 -0.9% 全国平均 -1.4%</p> </td> </tr> </table>	<p><平成17年～平成22年></p> <p>1位 東京都 2.6% 2位 沖縄県 2.4% 3位 神奈川県 1.9% 4位 滋賀県 1.5% 全国平均 -0.5%</p>	<p><平成22年～平成27年></p> <p>1位 沖縄県 1.6% 2位 東京都 1.2% 3位 神奈川県 0.6% 4位 滋賀県 0.4% 全国平均 -1.4%</p>	<p><平成27年～平成32年></p> <p>1位 沖縄県 0.9% 2位 東京都 0.3% 3位 滋賀県 -0.3% 全国平均 -2.1%</p>	<p><平成32年～平成37年></p> <p>1位 沖縄県 0.3% 2位 東京都 -0.4% 3位 滋賀県 -0.9% 全国平均 -1.4%</p>	<p>国立社会保障・人口問題研究所 （平成19年5月推計）</p>
<p><平成17年～平成22年></p> <p>1位 東京都 2.6% 2位 沖縄県 2.4% 3位 神奈川県 1.9% 4位 滋賀県 1.5% 全国平均 -0.5%</p>	<p><平成22年～平成27年></p> <p>1位 沖縄県 1.6% 2位 東京都 1.2% 3位 神奈川県 0.6% 4位 滋賀県 0.4% 全国平均 -1.4%</p>				
<p><平成27年～平成32年></p> <p>1位 沖縄県 0.9% 2位 東京都 0.3% 3位 滋賀県 -0.3% 全国平均 -2.1%</p>	<p><平成32年～平成37年></p> <p>1位 沖縄県 0.3% 2位 東京都 -0.4% 3位 滋賀県 -0.9% 全国平均 -1.4%</p>				
<p>出生率は9.6で全国2位(同率)です。（人口千対）</p>	<p>1位 沖縄県 12.3 2位 愛知県 9.6 全国平均 8.5 （平成22年人口動態統計／厚生労働省）</p>				
<p>年少人口割合は15.1%で全国2位です。 （年少人口割合：15歳未満の総人口に占める割合）</p>	<p>1位 沖縄県 17.8% 3位 佐賀県 14.6% 全国平均 13.2% （平成22年国勢調査／総務省）</p>				
<p>経済も元気です。滋賀県は全国有数の内陸工業県 県内総生産に占める第2次産業の割合は41.2%で全国1位です。</p>	<p>2位 静岡県 38.3% 3位 三重県 38.2% 全国平均 23.7% （平成21年度県民経済計算／内閣府）</p>				
<p>一人あたり県民所得は295万5千円で全国4位です。</p>	<p>1位 東京都 390万7千円 2位 神奈川県 308万6千円 3位 愛知県 297万0千円 全国平均 279万1千円 （平成22年国勢調査／総務省）</p>				
<p>付加価値額は1事業所当たり8億4550万円で全国1位です。 製造品出荷額等は1事業所当たり22億8825万円で全国4位です。</p>	<p>2位 山口県 8億1600万円 3位 三重県 7億3000万円 全国平均 4億0400万円 （平成22年工業統計調査概要版／経済産業省）</p>				
<p>平成15年から20年までの5年間の総住宅数の増加率は12.6%で全国1位です。</p>	<p>2位 東京都 9.6% 3位 栃木県 9.1% 全国平均 6.9% （平成20年住宅・土地統計調査確報／総務省）</p>				



瀬田唐橋

滋賀県土木百年表 (続編)

平成 25 年 (2013 年) 3 月 第 1 版 第 1 刷

編 纂

一般社団法人 全日本建設技術協会滋賀県支部

滋賀県建設技術協会・滋賀県特別会員支会